

デジタル HD ビデオ カメラレコーダー

HXR-NX5J

取扱説明書

NXCAM

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故に
なることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを
示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いくださ
い。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

AVCHD



InfoLITHIUM™
SERIES

PROGRESSIVE

MEMORY STICK™

CLASS 4

CLASS 4

HDMI®
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。
す。

本機で記録した画像をパソコンで扱う 方法は

付属のCD-ROM「Content
Management Utility」収録の「ヘルプ」を
ご覧ください。

本機で使えるメモリーカード

- 本機で使えるメモリーカードは、“メモリスティック PRO デュオ” (Mark2)、“メモリスティック PRO-HG デュオ”、およびスピードClass 4以上のSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードです。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- 本機で動作確認されている“メモリスティック PRO デュオ”は32GB、SDカードは64GBまでです。
- 本書では、“メモリスティック PRO デュオ” (Mark2)、“メモリスティック PRO-HG デュオ”を「メモリスティック PRO デュオ」、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードを「SDカード」と表現しています。
- メモリーカード1枚あたりの撮影可能時間は、99ページをご覧ください。

⓪注意

- マルチメディアカードは使用できません。
- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFAT*に対応していないパソコンやAV機器などに、本機をUSBケーブルで接続して取り込んだり、再生したりできません。接続する機器がexFATに対応しているからあらかじめご確認ください。対応していない機器に接続した場合、初期化画面が表示される場合がありますが、決して実行しないでください。記録した内容が全て失われます。

* exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。

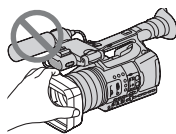
本機で使えるメモリーカードのサイズ



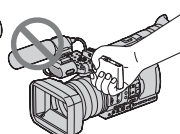
- 標準の“メモリスティック”の約半分の大きさの“メモリスティック PRO デュオ”、または標準の大きさのSDカードのみ使えます。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。故障の原因になります。

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください

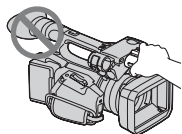
- 次の部分をつかんで持たないでください。



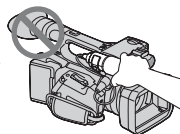
レンズカバー付き
フード



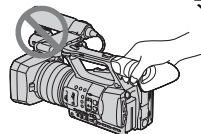
液晶パネル



内蔵マイク



マイクまたは
マイクホルダー



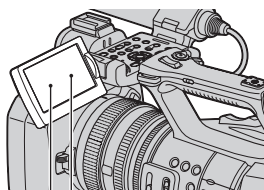
ファインダー

●ご注意

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」もご覧ください(106ページ)。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは端子の向きを確認して接続してください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。
- 本機の電源が入っていても、GPSスイッチが「ON」になっているとGPSは動作していません。飛行機の離着陸時は、GPSスイッチを「OFF」にしてください。

メニュー項目、液晶画面、ファインダーおよびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では使えません(同時に選べません)。
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかつたりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



黒い点

白や赤、青、緑の点

ファインダー、レンズ、および液晶画面を絶対に太陽や強い光源に向けたままにしない

- 特にファインダー、レンズを太陽や強い光源に向けたままにすると、集光により内部部品の破損の原因となります。使用しないときには、太陽や強い光源に向かないように置き場所を工夫するか、レンズカバー、バッグなどを使用して保護してください。

本機やバッテリーの温度に関するご注意

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面およびファインダーにメッセージが表示されます(97ページ)。

録画/録音に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるためにメモリーカードを本機で初めてお使いになる場合には、まず、本機で初期化することをおすすめします。初期化すると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、または性能の限界により画像や音声がか乱れた場合、画像や音声などの記録内容および撮影機会の損失に対する補償についてはご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、以下の現象が発生する場合があります。
 - 撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見える(特に、動解像度表現に優れたモニターなどの場合)。
 - 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見える。このような場合は、シャッタースピードを調整することで現象が軽減されます(28ページ)。
 - 被写体にフラッシュを当てると、画面が上下分割されたように見える。このような場合は、なるべく遅いシャッタースピードで撮影すると画面が分割されて見える確率が下がる可能性があります。

使用前に必ずお読みください(つづき)

再生に際してのご注意

- 本機は、ハイビジョン画質(HD)の記録にMPEG-4 AVC/H.264のHigh Profileを採用しております。このため、本機でハイビジョン画質(HD)で記録した映像は、次の機器では再生できません。
 - High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器
 - AVCHD規格に対応していない機器
- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。
- SDカードに記録した標準画質(SD)の動画は、他社製のAV機器では再生できません。

ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクは

- AVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレイヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、作成したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れられないください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。

撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データは定期的に保存してください。画像データは付属のソフトウェアを使ってパソコンに保存することをおすすめします。

画像が正しく記録/再生されないときは [MEDIA FORMAT] してください

- 長時間、画像の撮影/消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化(フラグメンテーション)されて、画像が正しく記録、保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存したあと、[MEDIA FORMAT] (62ページ)を行ってください。

記録メディアを廃棄/譲渡するときの注意

- 本機やパソコンの機能による「MEDIA FORMAT」や「DELETE ALL」では、記録メディア内のデータは完全に消去されないこと

があります。記録メディアを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、記録メディアを廃棄するときは、記録メディア本体を物理的に破壊することをおすすめします。

本機の操作方法について

- 本機では、SEL/PUSH EXECダイヤル/◀/▶ボタン(16ページ)、▶/◀/▶/▶/EXEC ボタン(64ページ)、タッチパネルで操作が行えます。ただし、MENUの設定など一部の操作はタッチパネルでは行えません。

本書について

- 本書では、メモリーカード、フラッシュメモリーユニットを「記録メディア」といいます。
- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。
- 記録メディアやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

目次

使用前に必ずお読みください	2
---------------------	---

準備する

準備 1:付属品を確かめる	8
準備 2:マイクやレンズカバー付きフードを取り付ける	9
準備 3:バッテリーを充電する	11
準備 4:電源を入れて正しく持つ	13
準備 5:液晶画面とファインダーを調節する	14
準備 6:日付時刻を合わせる	16
準備 7:メモリーカードを入れる / フラッシュメモリーユニットを 取り付ける	17







撮る / 見る

撮る	20
録画ボタン / ハンドル録画ボタンの設定を変える	22
ハイビジョン画質 (HD)、標準画質 (SD) の設定を変える	23
記録フォーマットを選ぶ	23
思い通りの設定で撮る	25
ズームする	25
ピントを手動調節する	26
明るさを調節する	27
自然な色合いに調節する (ホワイトバランス)	30
あらかじめ設定した画質で撮る (ピクチャープロフィール)	31
音の設定をする	38
測位情報を取得する (GPS)	40
SMOOTH SLOW REC を使って撮影する	41
タイムデータを設定する	42
ASSIGN ボタンに機能を設定する	44
見る	46
静止画を見る	48
本機の設定を変更 / 確認する	50
画面表示を切り換える	50
再生時に情報を表示する (データコード)	50
本機の設定を確認する (ステータスチェック)	51
モニターやテレビにつなぐ	52

編集する

モードの使いかた	54
記録した画像を保護する(プロテクト)	55
動画のプレイリストを使う	56
プレイリストを作る	56
プレイリストを再生する	56
動画から静止画を作成する	57
動画を分割する	58
動画・静止画を削除する	59
動画ダビング・静止画コピー	60
動画をダビングする	60
静止画をコピーする	61
記録メディアを初期化する	62
記録メディア上のデータを復元しにくくする	62
管理ファイルを修復する	63

メニューで設定を変更する

メニューの使いかた	64
メニュー一覧	66
 (CAMERA SET)メニュー	68
撮影状況に合わせるための設定(GAIN SET/BACK LIGHT/ STEADYSHOT など)	
 (REC/OUT SET)メニュー	73
録画、入出力に関する設定(REC SET/MIDEO OUT)	
 (AUDIO SET)メニュー	75
録音に関する設定(AUDIO FORMAT/XLR SET など)	
 (DISPLAY SET)メニュー	77
画面 / ファインダーの表示設定(MARKER/VF BACKLIGHT/ DISPLAY OUTPUT など)	
 (TC/UB SET)メニュー	81
タイムコードの設定(TC PRESET/UB PRESET/TC FORMAT など)	
 (OTHERS)メニュー	82
撮影時の設定や、各種基本設定(AREA SET/BEEP など)	

他機器と接続する

レコーダーを使ってディスクを作る	84
ハイビジョン画質(HD)のディスクを作る(USB ケーブル接続)	84
標準画質(SD)のディスクを作る(A/V 接続ケーブル接続)	84
パソコンを使って保存する	86

困ったときは

故障かな?と思ったら	88
警告表示とお知らせメッセージ	97

その他

記録時間について	99
海外で使う	101
メモリーカード / フラッシュメモリーユニットのファイル / フォルダー構成	102
使用上のご注意とお手入れ	103
AVCHD 規格について	103
GPSについて	103
メモリーカードについて	104
InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて	105
x.v.Color(エクスペイ・カラー)について	106
本機の取り扱いについて	106
主な仕様	109
保証書とアフターサービス	111

各部のなまえ・索引

各部のなまえ	112
ワイヤレスリモコン	117
画面表示	118
索引	120

準備する

準備 1:付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

()内は個数。

- メモリーカード、リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャーは別売です。本機で使えるメモリーカードについては2ページ、104ページをご覧ください。

ワイヤレスリモコン(RMT-845)(1)(117ページ)

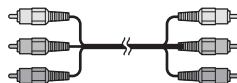


ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

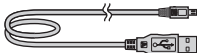
コンポーネントビデオケーブル(1)(52ページ)



A/V接続ケーブル(1)(52, 84ページ)



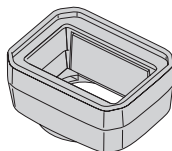
USBケーブル(1)(84ページ)



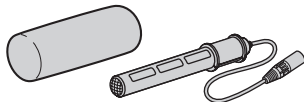
大型アイカップ(1)(15ページ)



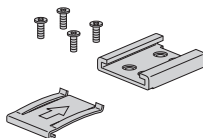
レンズカバー付きフード(1)(9ページ)
本機にあらかじめ取り付けられています。



ウインドスクリーン(1)、マイク(ECM-XM1)(1)(9ページ)



アクセサリースューキット(アクセサリースュー(1)、シューパネ(1)、ネジ(4))(112ページ)



接続コード(DK-415)(1)(12ページ)

CD-ROM「Content Management Utility」(1)

CD-ROM「Manuals for Digital HD Video Camera Recorder」(1)

取扱説明書(2)

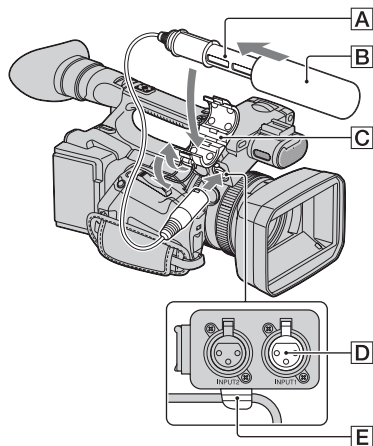
保証書(1)

ソニー業務用商品相談窓口のご案内(1)

準備 2: マイクやレンズカバー付きフードを取り付ける

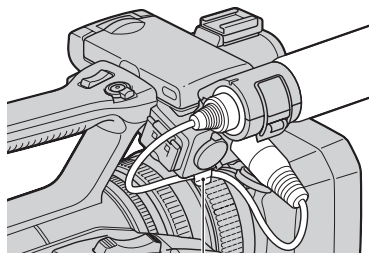
マイクを取り付ける

付属のマイク(ECM-XM1)を使って音声を記録するときは、次の手順を行ってください。



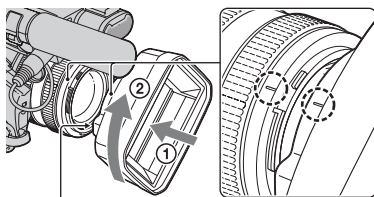
- 1 付属のマイク[A]にウインドスクリーン[B]をかぶせる。
- 2 マイク[A]を、型名が上になるようにマイクホルダー[C]に取り付ける。
- 3 マイクケーブルをINPUT1端子[D]につなぐ。

- 4 図のように、マイクケーブルをケーブルホルダー[E]に取り付ける。



外側のホルダーに取り付ける。

レンズカバー付きフードを取り付ける



PUSH(レンズフード取り外し)ボタン

本体とフードの印を合わせて、矢印②の方向にロックされるまで回す。

準備 2: マイクやレンズカバー付きフードを取り付ける(つづき)

レンズカバー付きフードを取り外すには

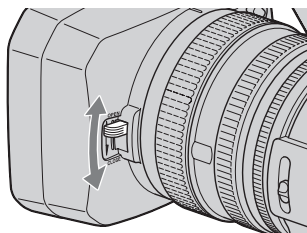
PUSH(レンズフード取り外し)ボタンを押しながら、取り付け方向と反対方向に回す。

👁️ちょっと一言

- 直径72ミリの偏光フィルターや保護フィルターを取り付けたり取り外したりするときは、レンズカバー付きフードを取り外してください。

レンズカバーを開閉するには

レンズカバーを開けるときはレンズカバーレバーを「OPEN」に、閉じるときは「CLOSE」に動かす。



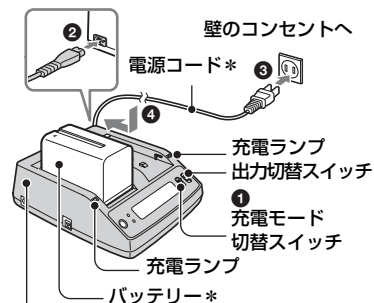
準備 3: バッテリーを充電する

別売のアクセサリキットの取扱説明書もあわせてご覧ください。

専用の“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)をACアダプター/チャージャーに取り付けて充電します。

⦿ご注意

- “インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)(105ページ)以外のバッテリーは使えません。



ACアダプター/チャージャー
AC-VQ1051D*

*別売のACCKIT-D12Bに付属

1 出力切替スイッチをCHARGEに、充電モード切替スイッチを「NORMAL CHARGE」(実用充電)または「FULL CHARGE」(満充電)にする。


2 電源コードをACアダプター/チャージャーにつなぐ。

3 電源コードをコンセントにつなぐ。

4 バッテリーを押しながら、矢印の方向にずらして取り付ける。

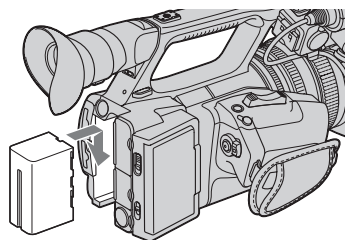
充電ランプが点灯し、充電が始まります。

充電について

充電モード切替スイッチを「NORMAL CHARGE」にすると実用充電まで、「FULL CHARGE」にすると若干長く使える満充電まで充電します。充電が終わると表示窓のバッテリーマーク()がすべて点灯します。

本機にバッテリーを取り付けるには

バッテリーを押しながら、下にずらして取り付ける。



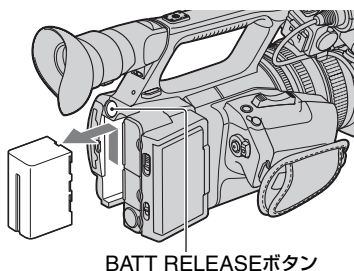
⦿ちょっと一言

- ステータスチェックでバッテリー残量を確認できます(51ページ)。

準備3:バッテリーを充電する(つづき)

バッテリーを取り外すには

POWERスイッチを「OFF」にする。BATT RELEASEボタンを押しながら、バッテリーを取り外す。



保管するときは

長い間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管してください。(保管について詳しくは106ページをご覧ください。)

充電時間

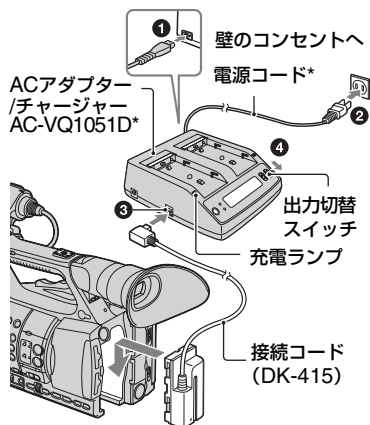
ACアダプター/チャージャーの取扱説明書を参照してください。

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、POWERスイッチを「OFF」にしてから行ってください。
- 次のとき、バッテリーインフォ(51ページ)が正しく表示されないことがあります。
 - バッテリーを正しく取り付けしていないとき
 - バッテリーが故障しているとき
 - バッテリーが劣化しているとき

コンセントにつないで使うには

バッテリーが切れることを心配しないで使えます。



* 別売のACCKIT-D12Bに付属

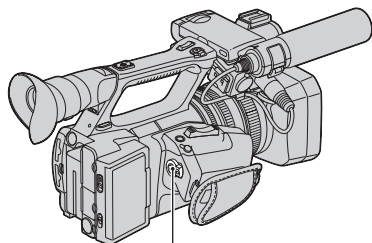
- ① 電源コードをACアダプター/チャージャーにつなぐ。
- ② 電源コードをコンセントにつなぐ。
- ③ 接続コード(DK-415)をACアダプター/チャージャーにつなぐ。
- ④ ACアダプター/チャージャーの出力切替スイッチを「VCR/CAMERA」側にする。
- ⑤ 接続コード(DK-415)の取り付け部を、本機のバッテリー取り付け部に押しながら、下にずらして取り付ける。

ACアダプター/チャージャーについて

- ACアダプター/チャージャーは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプター/チャージャーを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプター/チャージャーのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

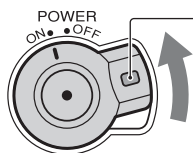
準備 4:電源を入れて正しく持つ

撮影や再生時は、POWERスイッチを「ON」にします。
初めて電源を入れると自動的に[CLOCK SET]画面になります(16ページ)。



POWERスイッチ

1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「ON」にする。

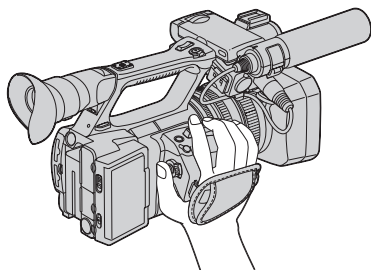


押しながら矢印の方向へずらす。

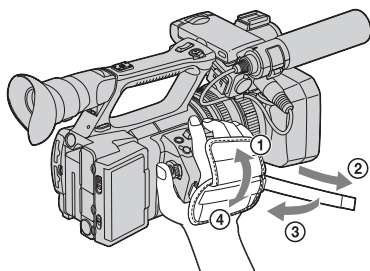
ⓘ ご注意

- [CLOCK SET] (16ページ)を行った後で本機の電源を入れると、液晶画面に現在の日時が数秒間表示されます。

2 本機を正しく構える。



3 ベルトをしっかりと締める。



電源を切るには

POWERスイッチを「OFF」にする。

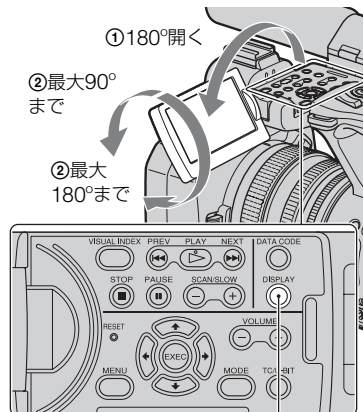
ⓘ ご注意

- お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

準備 5: 液晶画面とファインダーを調節する

液晶画面を見やすく調節する

液晶画面を180°に開ききった状態(①)で、見やすい角度に調節する(②)。



DISPLAYボタン

💡ちょっと一言

- 対面撮影にも活用できます。液晶画面には左右反転して映りますが、実際には左右正しく録画されます。

液晶画面バックライトを消してバッテリーを長持ちさせるには

DISPLAYボタンを☹️OFFが表示されるまで数秒間押したままにする。

明るい場所で使うときや、バッテリーを長持ちさせるときに効果的です。録画される画像には影響ありません。

解除するには、もう一度☹️OFFが消えるまで押したままにする。

また、本機の電源の入/切でも解除されます。

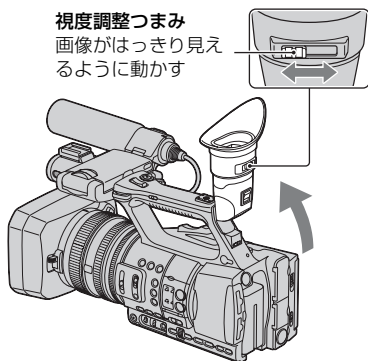
💡ちょっと一言

- 液晶画面の明るさは、[LCD BRIGHT] (79ページ)で調節できます。

ファインダーを見やすく調節する

視度調整つまみ

画像がはっきり見えるように動かす



📌ご注意

- ビューファインダー内で視線を動かした場合などに原色が見えることがありますが、故障ではありません。また、原色が実際に記録メディアに記録されることはありません。

💡ちょっと一言

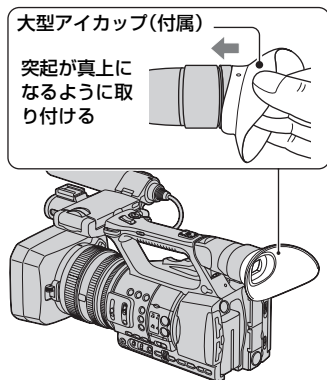
- ファインダーのバックライトの明るさは、メニューの[VF BACKLIGHT]で設定できます(79ページ)。
- 液晶画面とファインダーの両方に画像を映すには、[VF POWERMODE]を[ON]にします(80ページ)。
- ファインダーの画像を白黒にするには、[VF COLOR]を[OFF]にします(80ページ)。

ファインダーの画像が見えにくいときは

周囲が明るすぎるなど、ファインダーの画像が見えにくいときは、付属の大型アイカップをお使いください。大型アイカップを少し伸ばし、本体に装着されているアイカップの溝に合わせて大型アイカップを取り付けます。大型アイカップは左右のどちらの向きでも取り付けることができます。

ⓘ ご注意

- 本体にあらかじめ装着されているアイカップは取り外さないでください。

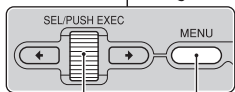
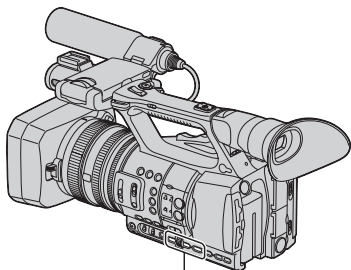


準備 6: 日付時刻を合わせる

初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れるたびに[CLOCK SET]画面が表示されます。

🗨️ちょっと一言

- 3か月近く使わないでおくとも蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください(108ページ)。

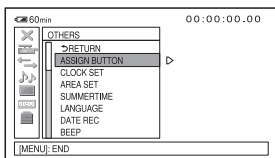


SEL/PUSH EXEC MENUボタン
ダイヤル

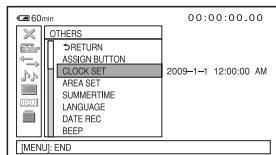
初めて時計を合わせるときは、手順4から操作してください。

1 MENUボタンを押す。

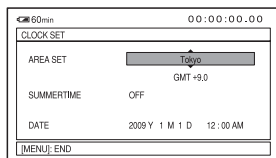
2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [OTHERS]メニューを選び、押して決定する。



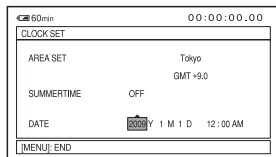
3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[CLOCK SET]を選び、押しで決定する。



4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してエリアを選び、押しで決定する。



5 同様に、[SUMMERTIME]、[Y]、[M]、[D]、時、分を合わせ、SEL/PUSH EXECダイヤルを押して決定する。



時計が動き始めます。

- [SUMMERTIME]を[ON]にすると、時計が1時間進みます。
- [Y]は2037年まで設定できます。
- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

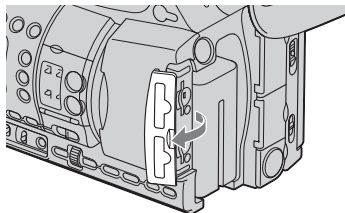
💡ちよつと言

- 日付時刻は撮影した記録メディアに自動的に記録され、再生時に表示させることができます (DATA CODE ボタン、50 ページ)。

準備 7: メモリーカードを入れる / フラッシュメモリーユニットを取り付ける

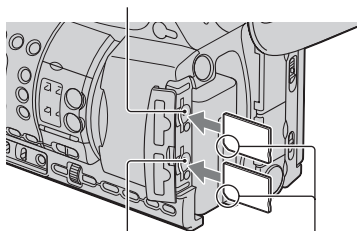
メモリーカードを入れる

1 カバーを開ける。



2 メモリーカードの切り欠き部を図の向きにして、「カチッ」というまで押し込む。

メモリーカードスロット A と
アクセスランプ



メモリーカードスロット B と
アクセスランプ

切り欠き部の向きに
注意する

準備 7: メモリーカードを入れる/フラッシュメモリーユニットを取り付ける(つづき)

📌ご注意

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- スタンバイ状態で、新しいメモリーカードを入れたときは、[Create a new Image Database File.]画面が表示されます。画面に従い、[YES]をタッチしてください。

メモリーカードを取り出すには

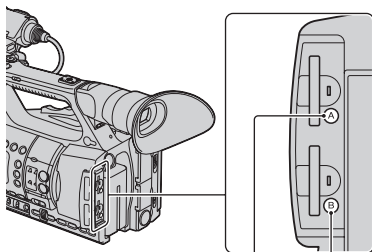
メモリーカードを軽く1回押して取り出す。

📌ご注意

- アクセスランプが赤色で点灯中や点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、メモリーカードやバッテリーを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 手順2で [Failed to create a new Image Database File. It may be possible that there is not enough free space.]と表示されたときは、メモリーカードを初期化してください(62ページ)。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

記録するメモリーカードスロットを選択するには

記録したいメモリーカードが入ったメモリーカードスロット AまたはBボタンを押す。選択されているスロットのアクセスランプが緑色に点灯します。



メモリーカードスロット
Aボタン

メモリーカードスロット
Bボタン

📌ご注意

- メモリーカードが挿入されているスロットのみ選択可能です。
- メモリーカードへの動画の記録中に、メモリーカードスロット A/Bボタンを押しても、スロットの切り換えはできません。

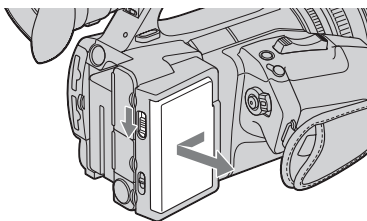
🗨ちょっと一言

- メモリーカードが1枚だけ挿さっているときは、メモリーカードが挿さっているスロットが自動的に選択されます。
- 録画中にメモリーカードの容量がいっぱいになった場合、もう一方のスロットにメモリーカードが挿入されていれば、自動で切り替わります(リレー記録、21ページ)。

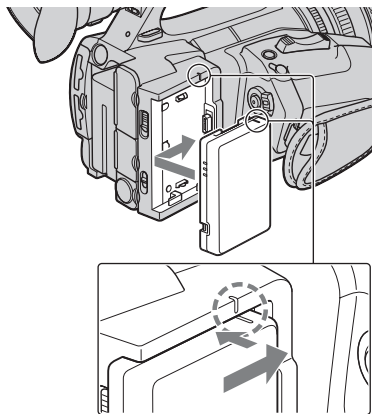
フラッシュメモリーユニットを取り付ける

別売のフラッシュメモリーユニットHXR-FMU128を本機に取り付けて記録できません。

- 1 RELEASEレバーを矢印方向に押しながら、フラッシュメモリーユニット端子カバーを取り外す。



- 2 本機とフラッシュメモリーユニットのマークを合わせて、フラッシュメモリーユニットを矢印の方向に押す。



- 3 液晶画面に[EXT media has been attached. It is necessary to reboot. Execute?]&表示されたら、[YES]をタッチする。

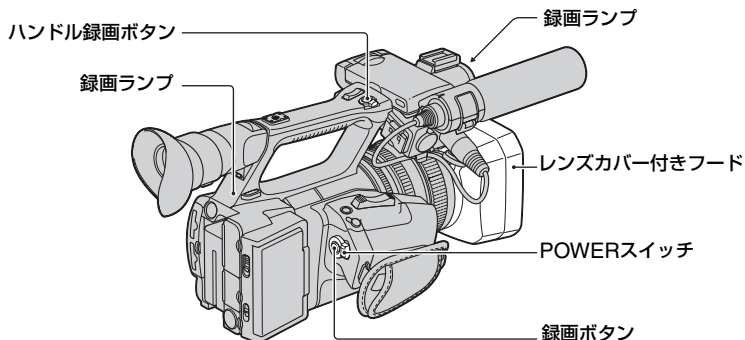
⓪ご注意

- 手順3で[NO]をタッチした場合は電源を入れ直してください。フラッシュメモリーユニットに記録できるようになります。

フラッシュメモリーユニットを取り外すには

本機の電源を切ってから、RELEASEレバーを矢印の方向に押しながら、フラッシュメモリーユニットを取り外す。フラッシュメモリーユニットを使わないときは、フラッシュメモリーユニット端子カバーを取り付けてください。

撮る



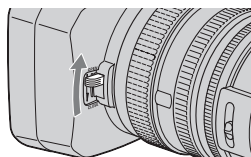
本機は動画をメモリーカードやフラッシュメモリーユニットに記録します。下記の手順で動画を撮影します。

- 動画はハイビジョン画質 (HD)、標準画質 (SD) いずれの画質でも記録できます。お買い上げ時はハイビジョン画質 (HD) で撮影するように設定されています ([HDI/HSDI] SET)、23ページ)。

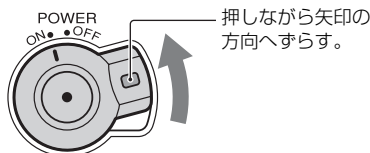
ⓘ ご注意

- アクセスランプが赤色で点灯中または点滅中は、撮影したデータを記録メディアに書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたり、バッテリーやACアダプター/チャージャーを取り外したりしないでください。
- 動画の記録時間は99ページをご覧ください。
- 動画の連続撮影可能時間は約13時間です。
- 撮影中の動画ファイルサイズが2GBを超えると、自動的にファイルが分割されて次のファイルが生成されます。
- メニューの設定や、ピクチャープロファイルの設定、AUTO/MANUALスイッチを使った設定はPOWERスイッチを「OFF」にすると保存されます。保存処理中はアクセスランプが点灯します。ただし、途中でバッテリーやACアダプター/チャージャーを取り外すとお買い上げ時の設定に戻る可能性があります。

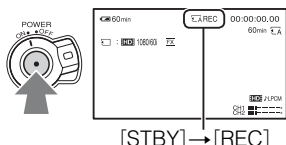
1 レンズカバー付きフードのシャッターを開ける。



2 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「ON」にする。



3 録画ボタン(またはハンドル録画ボタン)を押して撮影を始める。



撮影中は録画ランプが点灯します。

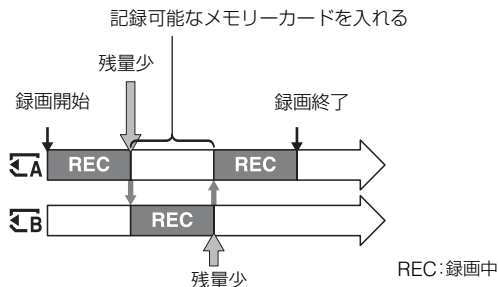
動画撮影を止めるには、録画ボタン(ハンドル録画ボタン)をもう一度押す。

👁️ ちょっと一言

- ハイビジョン画質(HD)での撮影時は、画像のアスペクト比は16:9に固定されます。標準画質(SD)で撮影するときは、4:3に切り換えることもできます(「[SD] WIDE REC」、73ページ)。
- 撮影中の画面表示の切り換えについては50ページをご覧ください。
- 撮影中の画面表示については118ページをご覧ください。
- 録画ランプが点灯しないように設定できます(「[REC LAMP [F]]」, 「[REC LAMP [R]]」, 82ページ)。
- ローアングルで撮るときは、ハンドル録画ボタンを使うと便利です。HOLDリバーを解除してから、操作してください。液晶画面を上に向ける、または液晶画面を下に向けてから閉じる、あるいはビューファインダーを上げて撮影することをおすすめします。
- 本機では、記録した動画から静止画を作成できます(57ページ)。

メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影するには(リレー記録)

A/B両方のメモリーカードスロットにメモリーカードを入れておけば、撮影中にメモリーカード A(またはメモリーカード B)の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り替わります。



撮る(つづき)

📌注意

- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。記録中にメモリーカードを入れ換えるときは、スロットのランプが消灯しているスロットのみ行ってください。
- 記録中にメモリーカードスロットA/Bボタンを押しても、スロットの切り換えはできません。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のスロットに記録可能なメモリーカードが入っていると、[**↔**]または[**↔**]が表示されます。メモリーカードスロットが切り替わると消えます。
- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、リレー記録ができない場合があります。リレー記録を正しく行うには、記録開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。
- 本機を使ってリレー記録した動画を結合するには、同梱のソフトウェアを使用してください(Windows)。

メモリーカードとフラッシュメモリーユニットの両方に記録するには(同時記録)

メモリーカードとフラッシュメモリーユニットの両方の記録メディアを使って同時記録が行えます。

録画ボタンとハンドル録画ボタンで録画先の記録メディアを変えたい場合は、[REC BUTTON SET]で設定してください(22ページ)。

📌注意

- メモリーカード同士への同時記録はできません。

🗨ちょっと一言

- 同時記録中でもリレー記録はできます。
- 同時記録中に一方の記録メディアが記録不可能になっても、もう一方の記録メディアは記録を続けます。

録画ボタン/ハンドル録画ボタンの設定を変える

録画ボタンとハンドル録画ボタンで、それぞれ別の記録メディアの記録開始/終了をすることができます。

お買い上げ時は、どちらのボタンもメモリーカードとフラッシュメモリーユニットの両方に同時に記録するように設定されています。

- REC BUTTON: [**↔**] [Ext]
- HANDLE REC BUTTON: [**↔**] [Ext]

設定を変えるには

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、**↔**(REC/OUT SET)→[REC SET]→[REC BUTTON SET]を選択する。

REC BUTTON SETの設定	ボタンと記録メディア
REC BUTTON: [↔] [Ext]	どちらのボタンを押しても、メモリーカードとフラッシュメモリーユニットに同時に記録を開始/終了する。
HANDLE REC BUTTON: [↔] [Ext]	

REC BUTTON SETの設定	ボタンと記録メディア
REC BUTTON: [□] HANDLE REC BUTTON: [EXT]	録画ボタンを押したときはメモリーカードに、ハンドル録画ボタンを押したときはフラッシュメモリーユニットに、記録を開始/終了する。
REC BUTTON: [EXT] HANDLE REC BUTTON: [□]	録画ボタンを押したときはフラッシュメモリーユニットに、ハンドル録画ボタンを押したときはメモリーカードに、記録を開始/終了する。

ハイビジョン画質(HD)、標準画質(SD)の設定を変える

メモリーカードとフラッシュメモリーユニットそれぞれにハイビジョン画質(HD)で記録するか、標準画質(SD)で記録するかを設定できます。

設定を変えるには

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (REC/OUT SET)→[REC SET]→[HD/SD SET]を選択する。

ハイビジョン画質(HD)で記録するには

[HD/SD SET]で[□:HD] [EXT:HD]を選択する。

メモリーカードとフラッシュメモリーユニットにそれぞれハイビジョン画質(HD)で記録されます。

標準画質(SD)で記録するには

メモリーカードに標準画質(SD)で記録したい場合は、[HD/SD SET]で[□:SD] [EXT:HD]を選択する。

フラッシュメモリーユニットに標準画質(SD)で記録したい場合は[□:HD] [EXT:SD]を選択する。

⚠️ご注意

- メモリーカードとフラッシュメモリーユニットに同時に標準画質(SD)で記録することはできません。

記録フォーマットを選ぶ

記録フォーマット(ビットレート、画サイズ、フレームレート、スキャン方式)を選べます。お買い上げ時は[HD] 1080/60i EX [SD] 480/60i HQ]に設定されています。

設定を変えるには

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (REC/OUT SET)→[REC SET]→[REC FORMAT]を選択する。

撮る(つづき)

設定値	説明
<input type="checkbox"/> HD: 1080/60i <input type="checkbox"/> FX <input type="checkbox"/> SD: 480/60i <input type="checkbox"/> HQ	ビットレート FX: 最大24Mbps FH: 約17Mbps(平均) HQ: 約9Mbps(平均) LP: 約5Mbps(平均)
<input type="checkbox"/> HD: 1080/60i <input type="checkbox"/> FH <input type="checkbox"/> SD: 480/60i <input type="checkbox"/> HQ	
<input type="checkbox"/> HD: 1080/60i <input type="checkbox"/> HQ <input type="checkbox"/> SD: 480/60i <input type="checkbox"/> HQ	画サイズ FX: 1920×1080/1280×720 FH: 1920×1080/1280×720 HQ: HD録画時 1440×1080 SD録画時 720×480 LP: 1440×1080
<input type="checkbox"/> HD: 1080/60i <input type="checkbox"/> LP <input type="checkbox"/> SD: 480/60i <input type="checkbox"/> HQ	
<input type="checkbox"/> HD: 1080/30p <input type="checkbox"/> FX <input type="checkbox"/> SD: 480/30p SCAN <input type="checkbox"/> HQ	
<input type="checkbox"/> HD: 1080/30p <input type="checkbox"/> FH <input type="checkbox"/> SD: 480/30p SCAN <input type="checkbox"/> HQ	フレームレート 24、30、60のいずれか
<input type="checkbox"/> HD: 1080/24p <input type="checkbox"/> FX <input type="checkbox"/> SD: 480/24p SCAN <input type="checkbox"/> HQ	スキャン方式 i: インターレース p: プログレッシブ pSCAN: プログレッシブスキャンの映像を、インターレース(60i)信号として記録します。
<input type="checkbox"/> HD: 1080/24p <input type="checkbox"/> FH <input type="checkbox"/> SD: 480/24p SCAN <input type="checkbox"/> HQ	
<input type="checkbox"/> HD: 720/60p <input type="checkbox"/> FX <input type="checkbox"/> SD: 480/60i <input type="checkbox"/> HQ	
<input type="checkbox"/> HD: 720/60p <input type="checkbox"/> FH <input type="checkbox"/> SD: 480/60i <input type="checkbox"/> HQ	

設定値について

設定値の値がそれぞれ何を表しているかを HD: 1080/60i FX を例に説明します。

- HD: ハイビジョン画質を表します。SDのときは標準画質です。
- 1080: 有効走査線数を表しています。
- 60: フレームレートを表します。
- i: スキャン方式を表します。
- FX: 録画モードを表します。

ⓘ ご注意

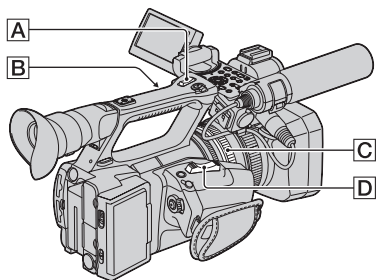
- スキャン方式がプログレッシブ時の録画モードは、FXまたはFHに固定されます。
- 記録フォーマットを720/60pに切り換えるとき、また720/60pからその他の記録フォーマットに切り換えるときは、再起動を促す画面が現れるので、[YES]を選択してください。再起動を行わないと記録フォーマットの切り換えが行えません。

💡 ちょっと一言

- [HD: / SD: SET] で、[: HD: EXT: HD:] を選択している場合は、SD: の項目がグレーで表示されます。

思い通りの設定で撮る

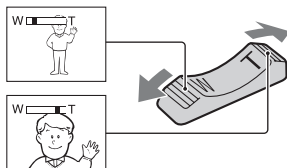
ズームする



ズームレバーを使うには

ズームレバー[D]を軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。

広角:Wide(ワイド)



望遠:Telephoto(テレフォト)

👁ちょっと一言

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 被写体との距離が80cm以内の被写体は、ズーム位置によってはピントが合わないことがあります。
- [FOCUS MACRO]が[OFF]のときは、ズーム位置によらず、80cm以内の被写体にはピントが合いません(71ページ)。
- ズームレバー[D]から指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバー[D]の操作音が記録されることがあります。
- ズームレバー[D]やハンドルズームレバー[A]のズーム駆動速度を速くすることもできます([SPEED ZOOM], 71ページ)。

ハンドルズームを使うには

- ① ハンドルズームスイッチ[B]を「VAR」または「FIX」にする。

👁ちょっと一言

- 「VAR」にすると押し具合によってズームスピードが変化します。
- 「FIX」にすると押し具合に関わらず固定スピードで動きます(スピードはメニューで設定します。[HANDLE ZOOM], 71ページ)。

- ② ハンドルズームレバー[A]を押してズームする。

📌ご注意

- ハンドルズームスイッチ[B]が「OFF」になっていると、ハンドルズームは使えません。
- ハンドルズームスイッチ[B]で本体のズームレバー[D]の速さを変えることはできません。

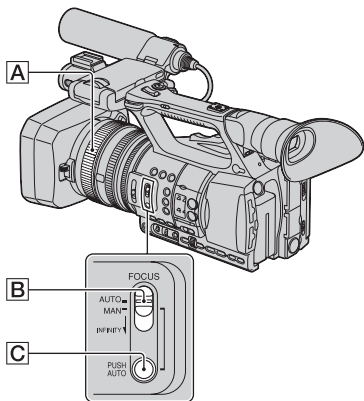
ズームリングを使うには

ズームリング[C]を回して好みの速さでズームすることができます。微調整も可能です。

📌ご注意

- ズームリング[C]は適度な速さで回してください。速すぎると、ズームリング[C]の回転に追いつかないことがあります。また、ズームの駆動音が記録されることがあります。

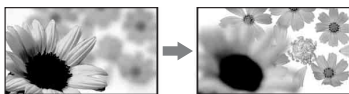
ピントを手動調節する



撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

以下のようなときに使います。

- 水滴の付いた窓の向こうの被写体
- 横じまの多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にピントを手前の被写体から奥の被写体に送るとき



- 三脚で撮影する静止した被写体

1 撮影またはスタンバイ中に、FOCUSスイッチ[B]を「MAN」にする。

☑が表示されます。

2 フォーカスリング[A]を回し、ピントが合うように調節する。

☑は、ピントをそれ以上遠くに合わせられないとき▲に変わり、それ以上近くに合わせられないとき■に変わります。

☞ちょっと一言

ピント合わせのコツ

- 始めにズームをT側(望遠)でピントを合わせてから、W側(広角)に戻していきます。
- 接写時は、逆にズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。

自動調節にするには

FOCUSスイッチ[B]を「AUTO」にする。
☑が消え自動調節に戻ります。

一時的にオートフォーカスで撮る(プッシュオートフォーカス)

PUSH AUTOボタン[C]を押したまま撮影する。

指を離すと手動ピント合わせに戻ります。手動ピント合わせで、ある被写体から別の被写体にピントを移すようなときに使うと、なめらかな場面展開になります。

☞ちょっと一言

- 次のとき、フォーカス距離情報(ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します)を約3秒間表示します。(別売のコンバージョンレンズを付けているときは正しく表示されません。)
- FOCUSスイッチ[B]を「MAN」にして☑を表示させたとき
- ☑表示中にフォーカスリングを回したとき

拡大表示をしてピントを合わせる (拡大フォーカス)

ASSIGN7ボタンに[EXPANDED FOCUS]が割り当てられています(44ページ)。

ASSIGN7ボタンを押す。

[EXPANDED FOCUS]が表示され、画面中央が約2.0倍に拡大されます。ピントが合っているかを確認するときに便利です。もう一度押すと元に戻ります。

⚠ご注意

- 拡大フォーカスで表示されていても、記録される画像は拡大されません。

💡ちょっと一言

- 拡大フォーカス時の画像タイプを選択できます([EXPANDED FOCUS TYPE]、78ページ)。

遠くの被写体にピントを合わせる (フォーカス無限)

FOCUSスイッチ[B]を「INFINITY」までスライドさせたままにする。

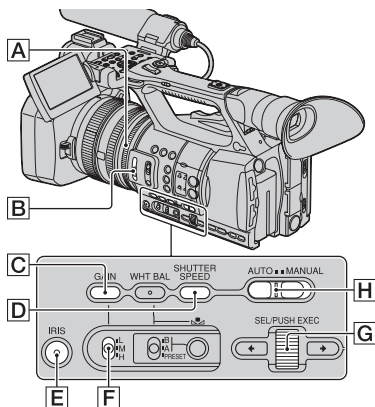
▲が表示されます。

指を離すと手動ピント合わせに戻ります。遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントが合ってしまうときに使います。

⚠ご注意

- フォーカス無限は、ピントを手動調節中のみ有効です。ピントを自動調節しているときは働きません。

明るさを調節する



アイリス、ゲイン、シャッタースピードを調節したり、NDフィルター[B]を使って光量を調節したりして、明るさを調節できます。

⚠ご注意

- アイリス、ゲイン、シャッタースピードの3つが手動設定のとき、[BACK LIGHT]や[SPOTLIGHT]は[OFF]になります。
- [AE SHIFT]はアイリス、ゲイン、シャッタースピードのすべてを手動調節していると一時的に無効になります。

アイリスを調節する

レンズに入る光量をF 1.6～F 11、クローズ(CLOSE)の範囲で調節できます。絞りを開く(アイリス値を小さくする)と光量が増えます。絞りを閉じる(アイリス値を大きくする)と、光量が減ります。画面にアイリス値が表示されます。

- ① 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUALスイッチ[H]を「MANUAL」にする。
- ② アイリスが自動調節になっているときは、IRISボタン[E]を押す。

思い通りの設定で撮る(つづき)

アイリス値が表示されます。または、アイリス値の横の **A** が消えます。

- ③ アイリスリング **A** を回して調節する。ASSIGNボタンに[PUSH AUTO IRIS]を割り当てると、そのASSIGNボタンを押している間は、アイリスが自動調節されます。ASSIGNボタンについては、44ページをご覧ください。

🗨️ ちょっと言

- アイリス値をF3.4よりも絞りを開いた(アイリス値が小さい)値(例:F1.6)に設定してもズームがW→TになるにつれてアイリスはF3.4に変化します。
- 絞りの重要な効果であるピントの合う範囲のことを「被写界深度」といいます。被写界深度は絞りを開けると浅く(ピントの合う範囲が狭く)なり、絞りを閉じると深く(ピントの合う範囲が広く)なります。撮影の意図によって絞りの効果を上手に使い分けてください。
- 背景をぼけさせたり、くっきりさせたりしたいときに便利です。

自動調節にするには

IRISボタン **E** を押す。または、AUTO/MANUALスイッチ **H** を「AUTO」にする。アイリス値が消えます。または、アイリス値の横に **A** が表示されます。

📌 ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ **H** を「AUTO」にすると、他の手動調節(ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランス)も解除されます。

ゲインを調節する

AGC(オートゲインコントロール)によるゲインアップを行いたくないときなどに使います。

- ① 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUALスイッチ **H** を「MANUAL」にする。
- ② ゲインが自動調節になっているときは、GAINボタン **C** を押す。

ゲイン値の横の **A** が消えます。または、ゲイン値が表示されます。

- ③ ゲインスイッチ **F** でH/M/Lを選択する。設定されたゲイン値が表示されます。H/M/Lの値は、 (CAMERA SET) × ニューの[GAIN SET]でそれぞれ設定します(68ページ)。

自動調節にするには

GAINボタン **C** を押す。または、AUTO/MANUALスイッチ **H** を「AUTO」にする。ゲイン値が消えます。または、ゲイン値の横に **A** が表示されます。

📌 ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ **H** を「AUTO」にすると、他の手動調節(アイリス、シャッタースピード、ホワイトバランス)も解除されます。

🗨️ ちょっと言

- ハイビジョン画質(HD)では、ゲインを[-6dB]に設定して録画した場合、再生時にデータコード表示をすると、ゲインは[---]表示となります。

シャッタースピードを調節する

シャッタースピードを自由に調節し、固定できます。被写体の動きを止めたり、逆に流動感を強調して撮影するとき便利です。

- ① 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUALスイッチ **H** を「MANUAL」にする。
- ② シャッタースピード値が反転表示されるまで、SHUTTER SPEEDボタン **D** を押す。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤル **G** を回して、シャッタースピードを調節する。1/4秒～1/10000秒から選べます。シャッタースピードが画面に表示されます。例えば、1/100秒のときは[100]と表示されます。画面上の数値が大きくなるほどシャッタースピードが速くなります。

- ④ SEL/PUSH EXECダイヤル**[G]**を押して、シャッタースピードを固定する。
再度変更したい場合は、手順②から④を行います。

👉ちょっと一言

- [REC SET]→[REC FORMAT]が[HD 1080/24p FX SD 480/24pSCAN HQ]または[HD 1080/24p FH SD 480/24pSCAN HQ]のときは、シャッタースピードを1/3~1/10000秒の範囲で設定できます。
- シャッタースピードが遅いと、自動でピントが合いにくくなります。三脚などに固定して、手でピントを合わせることをおすすめします。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見えたり、画面が明滅したり、色が変化したりすることがあります。このようなときは、シャッタースピードを関東地方など50Hzの地域では1/100、関西地方など60Hzの地域では1/60に設定することをおすすめします。

自動調節するには

シャッタースピード固定状態からSHUTTER SPEEDボタン**[D]**を2回押す。または、AUTO/MANUALスイッチ**[H]**を「AUTO」にする。
シャッタースピード値が消えます。または、シャッタースピード値の横に**[A]**が表示されます。

👉ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ**[H]**を「AUTO」にすると、他の手動調節(アイリス、ゲイン、ホワイトバランス)も解除されます。

光量を調節する(NDフィルター)

撮影状況が明るすぎるときは、NDフィルター**[B]**を使うと被写体を鮮明に撮影できます。

NDフィルター1は光量を約1/4に、NDフィルター2は約1/16に、NDフィルター3は約1/64に削減するようにそれぞれ設定されています。

アイリスを自動調節しているとき、**ND1**が点滅したときは、NDフィルター1に、**ND2**が点滅したときはNDフィルター2に、**ND3**が点滅したときはNDフィルター3にします。

NDフィルター表示が点滅から点灯に変わります。

ND OFF が点滅したときは、ND フィルタースイッチ**[B]**を「OFF」にしてください。NDフィルター表示が消えます。

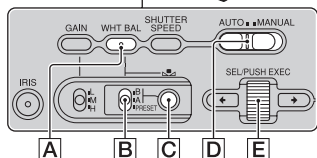
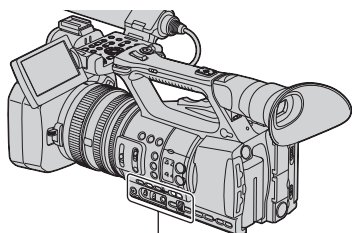
👉ご注意

- 撮影中にNDフィルター**[B]**を切り換えると、画像が乱れたり音声にノイズが入ることがあります。
- アイリスを手動で調節しているときは、NDフィルターの設定が必要な場合でも、NDフィルターの点滅表示が出ません。
- NDフィルターの位置(OFF/1/2/3)を検出できないときは、画面上に**ND**が点滅します。NDフィルターが正しく設定されているか確認してください。

👉ちょっと一言

- 明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じピントが甘くなることがあります(ビデオカメラでは一般的に起こる現象です)。NDフィルター**[B]**を使うと、この現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。

自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)



撮影する場面の光に合わせてホワイトバランスを固定するときに使います。

A(☞A)、またはB(☞B)を選ぶと、ホワイトバランスの調整値をメモリーAとBに個別に記憶させることができます。調整値は、再調整しない限り電源を切っても保持されます。

「PRESET」を選ぶと、あらかじめ☞(CAMERA SET)メニューの[WB PRESET]で選んだ[OUTDOOR]、[INDOOR]、[MANU WB TEMP]のいずれかが設定されます。

1 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUALスイッチDを「MANUAL」にする。

2 WHT BALボタンAを押す。


3 ホワイトバランスメモリースイッチEを、PRESET/A/Bのいずれかにセットする。

A/Bは、それぞれメモリーA/メモリーBに記憶させた調整値で撮影するときに設定します。








表示	撮影状況例
☞A (メモリーA)	●メモリーA/Bそれぞれに、光源に合わせたホワイトバランスの調整値を記憶させることができます。「メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには」の手順に従ってください(31ページ)。
☞B (メモリーB)	●メモリーA/Bそれぞれに、光源に合わせたホワイトバランスの調整値を記憶させることができます。「メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには」の手順に従ってください(31ページ)。
☀ 屋外 ([OUT DOOR])	●夜景やネオン、花火などを撮るとき ●日の出、日没などを撮るとき ●屋光色蛍光灯の下
☾ 屋内([IN DOOR])	●パーティー会場など照明条件が変化する場所 ●スタジオなどビデオライトの下 ●ナトリウムランプや水銀灯の下
色温度設定 ([MANU WB TEMP])	●2300K~15000Kの範囲で、お好みの色温度を設定できます(お買い上げ時の色温度は、6500K)。

☞ちょっと一言



- ☀(屋外)に設定しているときに☞(one push)ボタンEを押してSEL/PUSH EXECダイヤルDを回すと、屋外のホワイトバランス値を変更できます。-7(青め)~0(標準、お買い上げ時の設定)~+7(赤め)から選べます。メニューで設定することもできます([WB OUTDOOR LEVEL]、69ページ)。

- ホワイトバランスメモリスイッチ **B** を「PRESET」にして、[WB PRESET] を [MANU WB TEMP] に設定しているときに、 (one push) ボタン **C** を押し SEL/PUSH EXEC ダイアル **E** を回すと、色温度の値を変更できます。メニューで設定することもできます ([WB TEMP SET], 69ページ)。

メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには

- ① 「自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)」の手順 **3** で A () または B () を選ぶ。
- ② 被写体と同じ照明条件のところで、白い紙などを画面いっぱい映す。
- ③  (one push) ボタン **C** を押し、 A または  B が早い点滅から遅い点滅に変わります。ホワイトバランスが調節されると、点滅から点灯に変わり、選んだ  A または  B に調整値が記憶されます。

⚠️ ご注意

- ホワイトバランスの調整ができなかったときは、 A または  B が早い点滅から遅い点滅に変わります。被写体を適切に調節し、シャッタースピードをオートまたは 1/60 付近に設定し、再度ホワイトバランスを調整してください。
- 撮影条件によって、ホワイトバランスの調整に時間がかかることがあります。調整終了前に他の操作を行いたいときは、ホワイトバランスメモリスイッチ **B** を一時的に他の位置へセットして、ホワイトバランスの調整を中止してください。

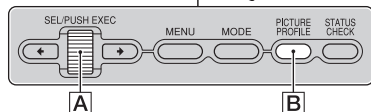
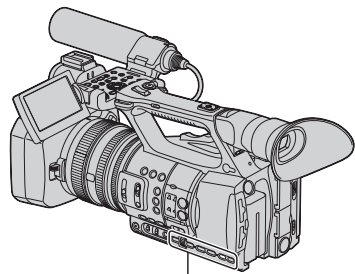
自動調節に戻すには

WHT BAL ボタン **A** を押し。または、AUTO/MANUAL スイッチ **D** を「AUTO」にする。

⚠️ ご注意

- AUTO/MANUAL スイッチ **D** を「AUTO」にすると、他の手動調節(アイリス、ゲイン、シャッタースピード)も解除されます。

あらかじめ設定した画質で撮る (ピクチャープロフィール)




[GAMMA] や [DETAIL] などを調節して好みの画質設定を作れます。撮影時間帯や気象条件、または使う人ごとに設定できます。

設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

お買い上げ時は、[PP1] から [PP6] に、撮影条件に合わせた設定値があらかじめ登録されています。

⚠️ ご注意

-  (CAMERA SET) メニュー → [x.v.Color] が [ON] のときは、ピクチャープロフィールは [OFF] に固定されます。

思い通りの設定で撮る(つづき)

ピクチャープロフィール番号	撮影条件
PP1	ピクチャープロフィール [OFF]と同じ設定値
PP2	ピクチャープロフィール [OFF]と同じ設定値
PP3	ITU-709ガンマを用いた業務用シヨルター カムコーダーのような設定例
PP4	PDガンマを用いた業務用ハンディカムコーダーのような設定例
PP5	一般的な映画用カラーネガフィルムによる撮影画のような設定例
PP6	一般的な映画用カラープリントフィルムで上映したような設定例


1 スタンバイ中に、PICTURE PROFILEボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してピクチャープロフィール番号を選び、押して決定する。

選択したピクチャープロフィールの設定で撮影できます。








3 SEL/PUSH EXECダイヤルで[OK]を選んで、押して決定する。

ピクチャープロフィール撮影をやめるには

手順2で[OFF]を選び、SEL/PUSH EXECダイヤルを押して決定します。

ピクチャープロフィールの内容を変更するには

[PP1]～[PP6]の設定内容を変更できます。

- ① PICTURE PROFILEボタンを押す。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤルを回して、設定を変更するピクチャープロフィール番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[SETTING]を選び、押して決定する。
- ④ SEL/PUSH EXECダイヤルを回して調節したい項目を選び、押して決定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXECダイヤルを回して画質を調節し、押して決定する。
- ⑥ 手順④、⑤を繰り返して他の項目を調節する。
- ⑦ SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[← RETURN]を選び、押して決定する。
- ⑧ SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[OK]を選び、押して決定する。
ピクチャープロフィールの表示が出ます。

BLACK LEVEL

黒レベルを設定する。

設定項目	調節する内容
[MASTER BLACK]	マスターの黒レベルを設定する。 -15 ~ +15
[BLACK R]	Rchの黒レベルを設定する。 [MASTER BLACK] + [BLACK R]がRchの黒レベルになる。 -15 ~ +15
[BLACK G]	Gchの黒レベルを設定する。 [MASTER BLACK] + [BLACK G]がGchの黒レベルになる。 -15 ~ +15
[BLACK B]	Bchの黒レベルを設定する。 [MASTER BLACK] + [BLACK B]がBchの黒レベルになる。 -15 ~ +15

GAMMA

ガンマカーブを選ぶ。

設定項目	調節する内容
[STANDARD]	標準のガンマカーブ。
[CINEMATONE1]	フィルム撮影した映像のようなトーンのガンマカーブ1。
[CINEMATONE2]	フィルム撮影した映像のようなトーンのガンマカーブ2。
[ITU709]	ITU-709相当のガンマカーブ。低輝度部ゲイン:4.5
[G5.0]	低輝度部ゲイン:5.0のガンマカーブ。
[PD]	DSR-PDシリーズに似たトーンのガンマカーブ。
[x.v.]	x.v.Colorと同様のガンマカーブ。

BLACK GAMMA

低輝度部のガンマ補正をする。

設定項目	調節する内容
[RANGE]	補正範囲を選ぶ。 HIGH / MIDDLE / LOW
[LEVEL]	補正の強さを設定する。 -7(ブラックコンプレス最大) ~ +7(ブラックストレッチ最大)

思い通りの設定で撮る(つづき)

KNEE

被写体の高輝度部分の信号をカメラのダイナミックレンジに収め、白つぶれを防ぐため、ビデオ信号を圧縮するポイントやスロープを設定する。

設定項目	調節する内容
[MODE]	自動/手動設定を選ぶ。 [AUTO] : ニーポイント、ニースロープを自動で設定する。 [MANUAL] : ニーポイント、ニースロープを手動で設定する。
[AUTO SET]	[AUTO]を選択した場合の設定 [MAX POINT] : ニーポイントの最大値を設定する。 90% ~ 100% [SENSITIVITY] : 感度を設定する。 HIGH/MIDDLE/LOW
[MANUAL SET]	[MANUAL]を選択した場合の設定 [POINT] : ニーポイントを設定する。 75% ~ 105% [SLOPE] : ニースロープの傾きを設定する。 -5(傾きが小さい) ~ +5(傾きが大きい)

COLOR MODE

発色のタイプやレベルを設定する。

設定項目	調節する内容
[TYPE]	発色のタイプを設定する。 [STANDARD] : 標準の色合い。 [CINEMATONE1] : [GAMMA]が[CINEMATONE1]のときに適したフィルム調の色合い。 [CINEMATONE2] : [GAMMA]が[CINEMATONE2]のときに適したフィルム調の色合い。 [ITU709 MATRIX] : ITU-709相当。
[LEVEL]	[TYPE]を「STANDARD」以外に設定したとき、標準の色合いと選択したタイプの色合いとの間で発色のレベルを設定する。 1(選択したタイプの効果を弱めて標準に近づける)~8(選択したタイプの効果をそのまま使う)

COLOR LEVEL

色の濃さを設定する。

設定項目	調節する内容
	-7(薄くなる)~+7(濃くなる)、-8:白黒で撮影する。

COLOR PHASE

色相を設定する。

設定項目	調節する内容
	-7(緑がかる)～+7(赤みがかる)

COLOR DEPTH

色の深さを色相別に変更する。

濃い色ほど効果が大きく、色のない被写体に対しては効果がない。+側にすると暗くなり、色が深く見える。-側にすると明るくなり、色が浅く見える。[COLOR LEVEL]を-8(モノトーン)にしたときにも有効。

設定項目	調節する内容
[R]	-7(赤が浅くなる)～+7(赤が深くなる)
[G]	-7(緑が浅くなる)～+7(緑が深くなる)
[B]	-7(青が浅くなる)～+7(青が深くなる)
[C]	-7(シアンが浅くなる)～+7(シアンが深くなる)
[M]	-7(マゼンタが浅くなる)～+7(マゼンタが深くなる)
[Y]	-7(黄が浅くなる)～+7(黄が深くなる)

WB SHIFT

ホワイトバランスシフトを設定する。

設定項目	調節する内容
[FILTER TYPE]	ホワイトバランスをシフトさせる色の組み合わせを選ぶ。 [LB-CC]: フィルムタイプ(色温度変換と色補正をする) [R-B] : ビデオタイプ(RとBのレベルを補正する)
[LB[COLOR TEMP]]	色温度変換の設定をする。 -9(青みがかる)～+9(赤みがかる)
[CC[MG/GR]]	色補正の設定をする。 -9(緑がかる)～+9(マゼンタがかる)
[R GAIN]	Rのレベルを設定する。 -9(Rのレベルが下がる)～+9(Rのレベルが上がる)
[B GAIN]	Bのレベルを設定する。 -9(Bのレベルが下がる)～+9(Bのレベルが上がる)

思い通りの設定で撮る(つづき)

DETAIL

ディテールを設定する。

設定項目	調節する内容
[LEVEL]	[DETAIL]の強さを設定する。 -7 ~ +7
[MANUAL SET]	[ON/OFF] : [DETAIL]の手動詳細設定をON/OFFする。 [ON] : [DETAIL]の手動詳細設定を行う(自動最適化は行われ ない)。 [OFF] : [DETAIL]の手動詳細設定を行わない。 [V/H BALANCE] : 垂直(V)DETAIL/水平(H)DETAILのバランスを 設定する。 -2(垂直(V)が強い) ~ +2(水平(H)が強い) [B/W BALANCE] : 下側(B)DETAIL/上側(W)DETAILのバランスを 選ぶ。 TYPE1(下側(B)が強い) ~ TYPE5(上側(W)が 強い) [BLACK LIMIT] : 下側(B)DETAILのリミットレベルを設定する。 0(リミットレベルが低い(リミットされやすい)) ~ 7(リミットレベルが高い(リミットされにく い)) [WHITE LIMIT] : 上側(W)DETAILのリミットレベルを設定する。 0(リミットレベルが低い(リミットされやすい)) ~ 7(リミットレベルが高い(リミットされにく い)) [CRISPENING] : クリスプニングレベルを設定する。 0(クリस्पニングレベルが浅い) ~ 7(クリスプ ニングレベルが深い) [HI-LIGHT DETAIL] : 高輝度部分のDETAILレベルを設定する。 -2 ~ +2

SKINTONE DETAIL

肌色部分の輪郭をなめらかにして、しわを目立たなくする。

設定項目	調節する内容
[ON/OFF]	[ON]にすると肌色などの輪郭をなめらかにして、しわを目立たなくする。肌色以外も選択できる。
[LEVEL]	輪郭をなめらかにする度合いを設定する。 1(輪郭を少しなめらかにする)~8(輪郭をよりなめらかにする)
[COLOR SEL]	輪郭をなめらかにする色を選ぶ。 [PHASE] : 色相を選ぶ。 0(紫)~32(赤)~64(黄)~96(緑)~127(青) [RANGE] : 色の範囲を選ぶ。 0(選択色なし)、1(狭い:単色のみ選ぶ)~31(広い:色相と彩度の近い他の色も選ぶ) 0の場合、輪郭を滑らかにする効果はなくなる。 [SATURATION] : 彩度を選ぶ。 0(薄い色を選ぶ)~31(濃い色を選ぶ) [REVERSE] : 選択した色領域を反転する。 ある色を選択している状態でこの機能を実行すると、逆に選択していなかった色が選択される。 [Y LEVEL] : 明るさを選ぶ。 0(暗い色を選ぶ)~31(明るい色を選ぶ) [Y RANGE] : 明るさの範囲を選ぶ。 1(明るさの範囲を狭める)~32(明るさの範囲を広げる)

COPY

他のピクチャープロファイル番号に設定をコピーする。

RESET

ピクチャープロファイルをお買い上げ時の設定に戻す。

思い通りの設定で撮る(つづき)

ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーするには

ボタンの位置は、31ページをご覧ください。

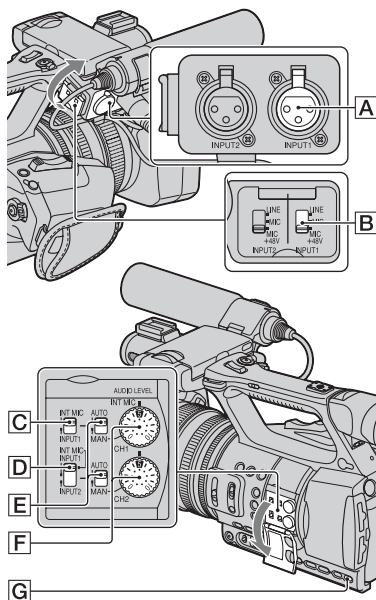
- ① PICTURE PROFILE ボタン **B** を押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアル **A** を回してコピー元のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアル **A** で [SETTING] → [COPY] を選ぶ。
- ④ SEL/PUSH EXEC ダイアル **A** を回してコピー先のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXEC ダイアル **A** を回して [YES] を選び、押して決定する。
- ⑥ SEL/PUSH EXEC ダイアル **A** を回して、[↵ RETURN] → [OK] を選ぶ。

お買い上げ時の設定に戻すには

ピクチャープロファイル番号ごとに取り消せません。すべての設定を一度に取り消すことはできません。ボタンの位置は、31ページをご覧ください。

- ① PICTURE PROFILE ボタン **B** を押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアル **A** を回してお買い上げ時の設定に戻したいピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアル **A** を回して [SETTING] → [RESET] → [YES] → [↵ RETURN] → [OK] を選ぶ。

音の設定をする



チャンネル設定

- ① CH1 (INT MIC/INPUT1) スイッチ **C** と CH2 (INT MIC/INPUT1/INPUT2) スイッチ **D** で使用する入力音声を選ぶ。記録されるチャンネルについては下表をご覧ください。

CH1スイッチが「INT MIC」のとき

CH2の設定 入力状態	
INT MIC	内蔵マイク (L) ●→ CH1
	内蔵マイク (R) ●→ CH2*
INPUT1	内蔵マイク (モノラル) ●→ CH1
	XLR INPUT1 ●→ CH2**
INPUT2	内蔵マイク (モノラル) ●→ CH1
	XLR INPUT2 ●→ CH2**

CH1スイッチが「INPUT1」のとき

CH2の設定 入力状態	
INT MIC	XLR INPUT1 ●→ CH1
	内蔵マイク (モノラル) ●→ CH2**
INPUT1	XLR INPUT1 ●→ CH1
	●→ CH2**
INPUT2	XLR INPUT1 ●→ CH1
	XLR INPUT2 ●→ CH2**

*内蔵マイクのみを使用しているとき、録音レベルは CH1 と CH2 で連動します。CH1 の AUDIO LEVEL ダイアルと AUTO/MAN スイッチの設定が CH2 にも有効になります。

**CH1 と CH2 の録音レベルを別々に調節できます。

- ② INPUT1スイッチ [B] を INPUT1端子 [A] に接続したマイクに適した位置に設定する。

LINE: オーディオ機器の音声を入力するとき

MIC: +48V電源に対応していない外部マイクの音声を入力するとき

MIC+48V: 付属マイクなどの+48V電源対応機器などの音声を入力するとき

INPUT2端子にマイクを接続したときは、INPUT2スイッチをマイクに適した位置に設定してください。

④ご注意

- 撮影中にINPUT1/INPUT2スイッチを切り換えると、ノイズが記録されてしまいます。撮影中は操作しないでください。
- INPUT1/INPUT2端子に付属のマイクなどの+48V電源対応機器を接続するときは、INPUT1/INPUT2スイッチを「MIC」にしてから接続してください。機器を外すときも、「MIC」にしてから外してください。
- INPUT1/INPUT2端子に+48V電源に対応していないマイクを接続するときは、INPUT1/INPUT2スイッチを「MIC」にしてください。「MIC+48V」のままで使用すると、接続したマイクが故障したり、録音された音声に不具合が生じたりすることがあります。

好みの音に設定する

内蔵マイクまたは、INPUT1/INPUT2端子に取り付けたマイクを好みの音量に調節できます。

🗣️ちょっと一言

- 付属マイクの取り付けかたは、9ページをご覧ください。CH1 (INT MIC/INPUT1) スイッチ、CH2 (INT MIC/INPUT1/INPUT2) スイッチについては、38ページをご覧ください。

- ① 調節するチャンネルの AUTO/MAN (CH1/CH2) スイッチ [E] を「MAN」にする。画面に **LM1** が表示されます。
- ② 撮影中、またはスタンバイ中に AUDIO LEVEL ダイアル [F] を回して、マイク音量を調節する。


自動調節に戻すには

手動調節したチャンネルの AUTO/MAN (CH1/CH2) スイッチ [E] を「AUTO」にする。

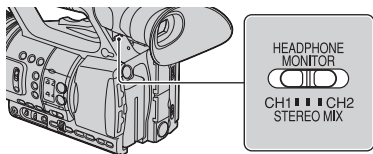
🗣️ちょっと一言

- 音声設定の詳細な情報を確認するときは、STATUS CHECK ボタン [G] を押してください。

思い通りの設定で撮る(つづき)

- ハイビジョン画質(HD)撮影時の記録音声を [LINEAR PCM]/[DOLBY DIGITAL]から選べます(お買い上げ時の設定は、[LINEAR PCM])。詳しくは、75ページをご覧ください。
- その他の設定については  (AUDIO SET) メニューをご覧ください(75ページ)。

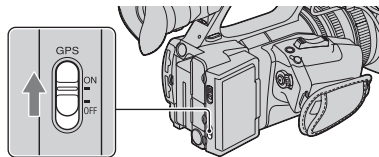
ヘッドホンの音声を設定する




ヘッドホンの音声をCH1/CH2で切り換えます。

「STEREO MIX」時の音声については、[HEADPHONE OUT]をご覧ください(75ページ)。

測位情報を取得する(GPS)



GPSスイッチを「ON」にする。

 が表示され、測位準備が行われます。測位できた場合、動画の撮影時に測位情報を記録します。

ご注意

- GPS衛星からの電波の受信状況によって画面に表示されるアイコンが変わります。

測位状況	画面表示	GPS受信状況
機能切	非表示	GPSスイッチが「OFF」になっている、またはエラーが起きている。
測位困難		GPS信号を受信できないため、測位情報が取れない。空の開けた場所に移動してください。
衛星検索中		衛星を検索中です。測位中になるまで数分かかることがあります。
測位中		弱いGPS信号を受信中。
測位中		GPS信号を受信中。測位情報を取得できる。
測位中		強いGPS信号を受信中。測位情報を取得できる。

- お買い上げ時はGPSスイッチが「ON」になっています。GPSの測位中に撮影した動画の位置情報や測位時刻が記録されます。測位情報を記録しない場合は、GPSスイッチを「OFF」にしてください。
- 数分待ってもアイコンが測位中にならないときは、受信困難な状態です。そのまま撮影を始めるか、空の開けた場所に移動してください。そのまま撮影すると測位情報は記録されません。
- 屋内や高い建物のそばでは電波をうまく受信できません。空の開けた場所に移動してGPSスイッチを入れ直してください。
- 本機の電源が入っていても、GPSスイッチが「ON」になっているとGPSは動作していません。飛行機の離着陸時は、GPSスイッチを「OFF」にしてください。
- 「測位中」になっていても、電波の受信状況によりGPS情報の記録が途切れることがあります。

SMOOTH SLOW RECを使って撮影する

通常撮影では、見ることができない高速な動作、現象をなめらかなスローモーション映像として撮影します。ゴルフ、テニスのスイングなどの速い動きの撮影時に便利です。

1 MODEボタンを押す。

2 液晶画面上で[CAMERA]→[SMOOTH SLOW REC]を選択する。

3 記録するメディアと画質→記録時間を選択する。

記録時間は、[3sec]、[6sec]、[12sec]から選べます。

4 録画ボタンを押す。

選んだ記録時間の約4倍のスローモーション映像として記録されます。
[Recording...]が消えると記録が完了します。

解除するには、MODEボタンを押す。

設定を変更するには

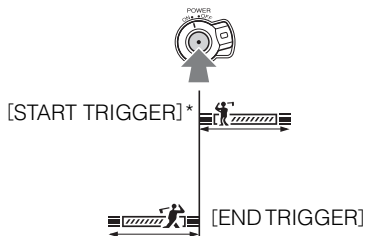
MENUボタンを押して変更したい設定を選ぶ。

● [HD] REC MODE

[SMOOTH SLOW REC]時の録画モードの設定を行います。[1080/60i FX]、[1080/60i FH]、[1080/60i HQ]、[1080/60i LP]から選択できます。

● [REC TIMING]

[REC TIMING]を選択すると、録画(ハンドル録画)ボタンを押して記録を開始するタイミングを選択できます。



* お買い上げ時の設定は [START TRIGGER] です。

● ご注意

- 音声は記録されません。
- シャッタースピードは、[SMOOTH SLOW REC]開始時に1/250秒に設定されます(1/250秒以下には設定できません)。
- 録画時間は撮影条件により設定した時間より短くなることがあります。
- 通常撮影時より画質は劣化します。
- メモリーカードとフラッシュメモリーユニットへの同時記録はできません。
- 録画時間が長いほど画質が劣化します。
- [SMOOTH SLOW REC]時は、メモリーカードのリレー記録はできません。容量が少ない場合は、記録できるところまでを記録します。
- [SMOOTH SLOW REC]をした動画に記録される時刻は、撮影した時刻ではなく、スロー映像に変換された際の時刻になります。
- [SMOOTH SLOW REC]では、プログレッシブ記録ができません。プログレッシブに設定されている場合は、自動的にインターレースに設定が変わります。
- ハイビジョン画質(HD)の記録フォーマットを720/60pに設定しているときは、[SMOOTH SLOW REC]ができません。
- [HD] REC MODEで録画モードを変更しても、標準画質(SD)の録画モードは変わりません。

思い通りの設定で撮る(つづき)

タイムデータを設定する

本機では、タイムコード、ユーザービットなどのタイムデータが、映像に付随するデータとして記録されます。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、**00:00** (TC/UB SET)を選択すると表示されます。

タイムコードを設定する

- ① SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[TC PRESET]を選び、押し決定する。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[PRESET]を選び、押し決定する。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤルを回して最初の2桁の数値を選び、押し決定する。タイムコードは、00:00:00:00～23:59:59:29の範囲で設定します。
 - 24p設定時は、末尾2桁を0～23のうちの4の倍数のフレームで設定できます。
- ④ 手順③と同様にして、他の桁を設定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[OK]を選び、押し決定する。

タイムコードをリセットする

「タイムコードを設定する」の手順②で[RESET]を選び、タイムコードをリセット(00:00:00:00)します。

リモコンを使ってタイムコードをリセットする

リモコンのTC RESETボタンを押しても、タイムコードをリセット(00:00:00:00)できます。

ユーザービットを設定する

- ① SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[UB PRESET]を選び、押し決定する。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[PRESET]を選び、押し決定する。

- ③ SEL/PUSH EXECダイヤルを回して最初の2桁の数値を選び、押し決定する。
- ④ 手順③と同様にして、他の桁を設定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[OK]を選び、押し決定する。

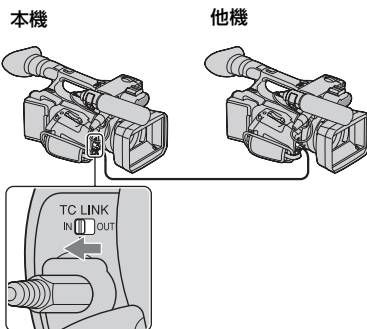
ユーザービットをリセットする

「ユーザービットを設定する」の手順②で[RESET]を選び、ユーザービットをリセット(00 00 00 00)します。

本機のタイムコードを他機のタイムコードに同期させる

本機のタイムコードを、他機のタイムコードに同期させることができます。タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード(FREE RUN)に設定してください。

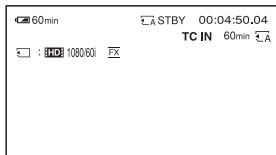
- ① **00:00** (TC/UB SET)メニューの[TC MAKE]、[TC RUN]の設定を次のように設定する。
[TC MAKE]: [PRESET]
[TC RUN]: [FREE RUN]
- ② 本機のTC LINKスイッチを「IN」にしてTC LINK IN/OUT端子と他機のTC OUT端子をケーブルで接続する。



本機のタイムコードを、外部接続のタイムコードに合わせます。画面に[TC IN]が表示されます。

タイムコード入力 の条件は以下です。

- TC LINKスイッチが「IN」になっており、タイムコードデータが入力されている。
- 撮影スタンバイ中
- 本機のタイムコードのフレームレートと入力タイムコードのフレームレートが一致している。
- 入力タイムコードが歩進されている。



外部からの基準タイムコードの接続を外しても、タイムコードの同期は保たれます。

④ ご注意

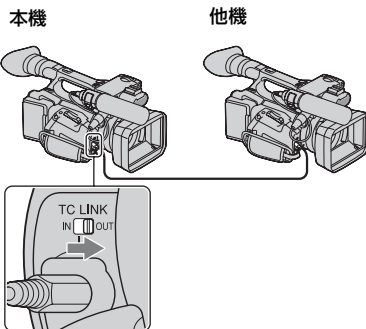
- 本機と他機を接続するときは、両機を撮影スタンバイ状態にして接続してください。
- 入力されているタイムコードのフレームレートが異なったり、タイムコードが歩進していなかったりする場合は、入力されたタイムコードを有効としません。TC IN端子からのタイムコード入力は以下になります。
 - 60i/30p/60p:30フレーム
 - 24p:24フレーム
- TC LINK IN/OUT端子に有効なタイムコードが入力された際は、入力タイムコードのDF/NDFに従って、本機の[TC FORMAT]のメニュー設定を切り換えます。

本機のタイムコードに他機のタイムコードを同期させる

本機のタイムコードに、他機のタイムコードを同期させることができます。タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード(FREE RUN)に設定してください。

- ① (TC/UB SET)メニューの[TC RUN]、[TC MAKE]、[TC FORMAT]で本機のタイムコードを設定する(81ページ)。

- ② 本機のTC LINKスイッチを「OUT」にしてTC LINK IN/OUT端子と他機のTC IN端子をケーブルで接続する。



④ ご注意

- TC LINK IN/OUT端子からのタイムコード出力は以下になります。
 - 60i/30p/60p:30フレーム
 - 24p:再生時30フレーム、撮影時24フレーム

💡 ちよっと一言

- 本機のSDI出力端子と他機のSDI入力端子を接続した場合でも、本機からのタイムコード出力が可能です。

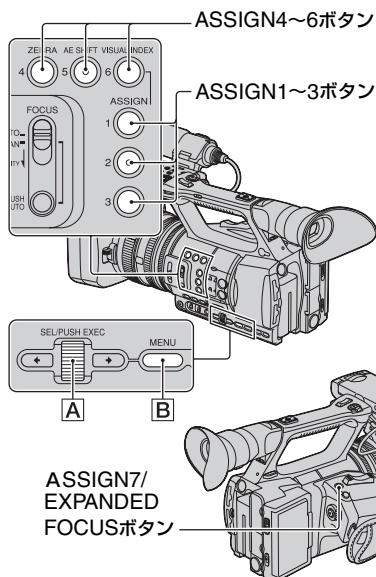
ASSIGN ボタンに機能を設定する

機能によっては、ASSIGNボタンに割り当てて操作することができます。ASSIGN1~7ボタンに1つずつ割り当てられます。

割り当てられる機能

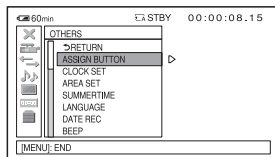
()内のボタン名は、お買い上げ時に機能が割り当てられていることを示しています。

- EXPANDED FOCUS (27ページ) (ASSIGN7ボタン)
- PUSH AUTO IRIS (27ページ)
- HYPER GAIN (68ページ)
- IRIS RING ROTATE (69ページ)
- AE SHIFT (69ページ) (ASSIGN5ボタン)
- BACK LIGHT (70ページ)
- SPOTLIGHT (70ページ)
- STEADYSHOT (70ページ)
- FOCUS MACRO (71ページ)
- D.EXTENDER (71ページ)
- FADER (72ページ)
- COLOR BAR (72ページ)
- ZEBRA (77ページ) (ASSIGN4ボタン)
- PEAKING (77ページ)
- MARKER (77ページ)
- REC LAMP [F] (82ページ)
- REC LAMP [R] (82ページ)
- VISUAL INDEX (46ページ) (ASSIGN6ボタン)
- MODE (54ページ)



1 MENUボタン **B** を押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤル **A** で **OTHERS** (OTHERS)メニュー → [ASSIGN BUTTON] を選ぶ。

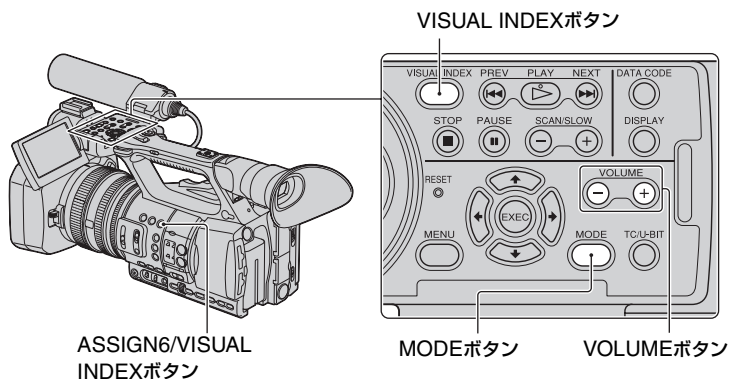


3 SEL/PUSH EXECダイヤル **A** を回して設定したいASSIGNボタンを選び、押して決定する。

- 機能が割り当てられていないボタンには、[-----]が表示されます。

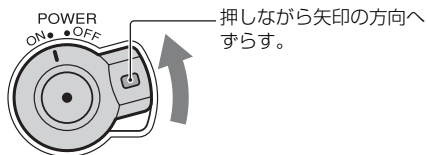
-
- 4** SEL/PUSH EXECダイヤル[A]
を回して割り当てる機能を選び、
押して決定する。
-
- 5** SEL/PUSH EXECダイヤル[A]
を回して[OK]を選び、押して決定
する。
-
- 6** SEL/PUSH EXECダイヤル[A]
を回して[↔ RETURN]を選び、
押して決定する。
-
- 7** MENUボタン[B]を押して、メ
ニュー画面を消す。
-

見る



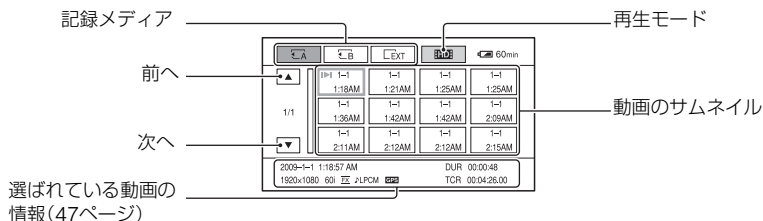
下記の手順で動画を再生します。

1 POWERスイッチを「ON」にする。



2 VISUAL INDEXボタンを押す。

数秒後にVISUAL INDEX画面が表示されます。

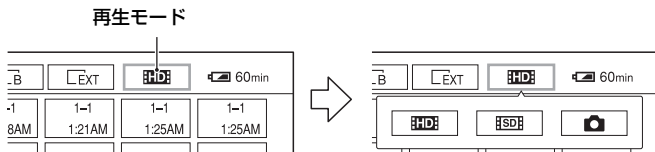


VISUAL INDEX画面は、MODEボタンを押して、液晶画面の[PLAY]→[VISUAL INDEX]をタッチして表示することもできます。

DISPLAYボタンを押して、サムネイル上の日付時刻を表示または非表示できます。

3 動画を再生する。

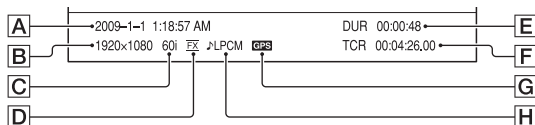
- 再生したい記録メディアをタッチする。
 - ◀A :メモリーカード A
 - ◀B :メモリーカード B
 - ◀EXT :フラッシュメモリーユニット
- 再生モードをタッチして、表示される再生モードから選ぶ。



HD:ハイビジョン画質(HD)

HSDR:標準画質(SD)

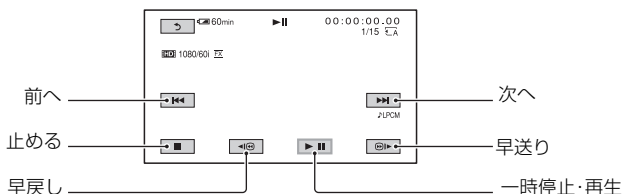
- 再生したい動画のサムネイルを2度タッチする。
 - ◀▶/▶▶/▶▶▶ ボタンで再生したいサムネイルを選択して、EXEC ボタンを押すことでも再生できます。
 - サムネイルを1度タッチすると画面の下部にタッチした動画の情報が表示されます。



- A** 撮影開始日時
 - B** 動画の解像度
 - C** フレームレート
 - D** 録画モード
 - E** 動画記録時間
 - F** 記録開始タイムコード
タイムコードが記録されていない記録メディアや、本機が対応していない方式のタイムコードが記録された記録メディアを再生すると、タイムコードが正常に表示されません。
 - G** GPS 情報
GPS スイッチを「ON」にして撮影した動画に表示されます。
 - H** AUDIO LPCM 記録
音声 が LPCM 記録されている場合に表示されます。標準画質(SD)の動画の場合は表示されません。
- 最後に再生・撮影した動画に▶▶▶が表示されます。タッチすると前回の続きから再生されます。

見る(つづき)

動画の再生が始まります。



📌 ご注意

- 他機で撮影した画像は再生できない場合があります。
- サムネイルに1度タッチして、PLAYボタンを押すと最後に記録した場面または最後に再生した場面が再生されます。

🗣️ ちょっと一言

- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、VISUAL INDEX画面に戻ります。
- 一時停止中に [◀️⏮️] / [⏭️▶️] をタッチすると、スロー再生が始まります。
- 再生中、[◀️⏮️] / [⏭️▶️] をタッチする回数によって、約5倍速→約10倍速→約30倍速→約60倍速で再生されます。
- VISUAL INDEX画面のように多数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことを「サムネイル」といいます。
- 再生中は、本機のPREV/PLAY/NEXT/STOP/PAUSE/SCAN/SLOWボタンを使っても操作ができます。

音量を調節するには

VOLUMEボタンで調節する。

撮影モードに戻すには

VISUAL INDEXボタンを押す。

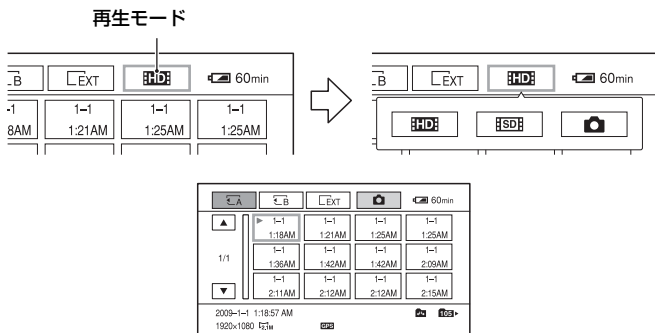
静止画を見る

静止画は、本機で撮影した動画から作成します(57ページ)。

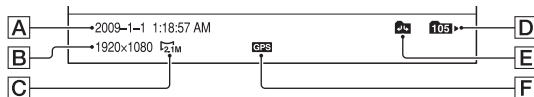
静止画を再生する。

- ① 再生したい記録メディアをタッチする。
 - ◀️A :メモリーカード A
 - ◀️B :メモリーカード B
 - ◀️EXT:フラッシュメモリーユニット

- ② 再生モードで、 (静止画)を選ぶ。

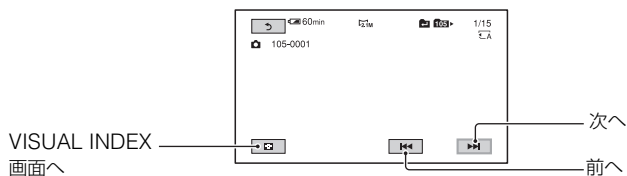


- ③ 再生したい静止画のサムネイルを2度タッチする。
1度タッチすると画面の下部にタッチした静止画の情報が表示されます。

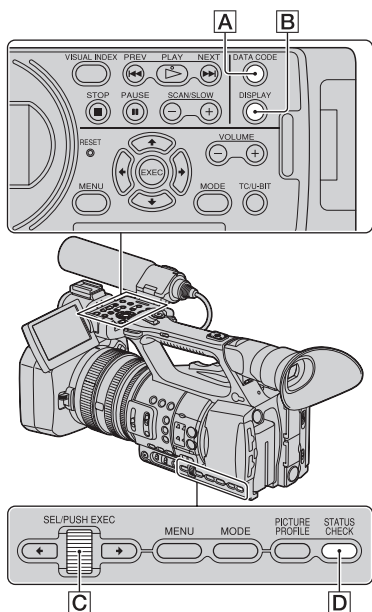


- A** 記録開始日時
 - B** 縦横解像度
 - C** 画サイズ
 - D** 再生フォルダー
静止画の記録メディアがメモリーカードのときに表示されます。
 - E** 再生フォルダーエッジ
再生フォルダーの最初または最後のページのときに表示されます。
再生フォルダーが1つしかない場合は表示されません。
 - F** GPS情報
静止画作成元の動画がGPSスイッチを「ON」にして撮影した動画の場合、表示されます。
- メモリーカードに記録された静止画は▶が表示されます。

静止画が再生されます。



本機の設定を変更 / 確認する



画面表示を切り換える

タイムコードなどの情報を画像とあわせて表示できます。

DISPLAYボタン[B]を押す。

押すたびに、非表示↔表示と切り替わります。撮影モードのときは、詳細表示→簡易表示→非表示の順に切り替わります。

👁️ちょっと一言

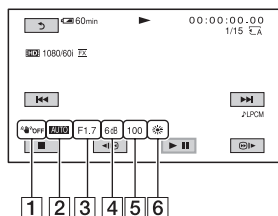
- テレビにつないで見るときは、[DISPLAY OUTPUT]を[ALL OUTPUT]に設定すると、テレビ画面でも同様に画面表示できます(80ページ)。

再生時に情報を表示する(データコード)

撮影時に自動的に記録された情報(日時やカメラデータ、GPS測位情報)を再生時に表示できます。

再生または一時停止中にDATA CODEボタン[A]を押す。

押すたびに、日付時刻表示→カメラデータ→GPS測位情報→表示なしと切り替わります。



- 1 手ブレ補正
- 2 明るさ調節
アイリス/ゲイン/シャッタースピードを自動調節で撮影すると**AUTO**、手動調節で撮影すると**MANUAL**と表示されます。
- 3 アイリス
手動でアイリスを最大にしておくと、アイリスの場所に**CLOSE**と表示されます。
- 4 ゲイン
- 5 シャッタースピード
- 6 ホワイトバランス
[MANU WB TEMP]で撮影した画像を再生すると、**PWB**が表示されます。

📌ご注意

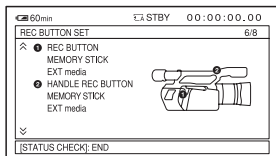
- 静止画再生時は、露出補正值(EV)とシャッタースピード、アイリス、フラッシュの有無が表示されます。

- 本機で撮影したメモリーカードを他機で再生した際に、正しいカメラデータの情報が表示されないことがあります。正しいカメラデータは本機でご確認ください。
- GPS測位情報表示のときは、データコードの部分に緯度経度と撮影日時が表示されます。
- 日時はメニューの[GPS TIME DISPLAY]でUTC/ローカルの切換が可能です。
- GPSを受信できずに撮影すると、[--- --]と[--:--:--]が表示されます。

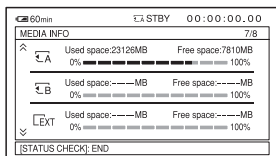
本機の設定を確認する(ステータスチェック)

以下の項目がどのような設定値になっているかを確認できます。

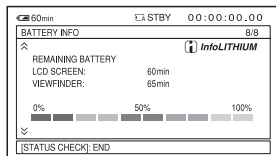
- マイク音量レベルなどの音声設定(75ページ)
- 出力に関する設定([VIDEO OUT](74ページ)など)
- ASSIGNボタンに割り当てた機能(44ページ)
- カメラに関する設定(68ページ)
- 録画ボタン設定(22ページ)
録画ボタンの設定を確認できます。



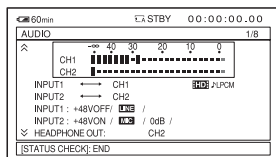
- 記録メディア情報
使用領域と空き領域の目安を確認できます。



- バッテリーインフォ
装着しているバッテリー残量を確認できます。



1 STATUS CHECKボタン[D]を押す。



2 SEL/PUSH EXECダイヤル[C]を回して、項目を表示する。

AUDIO→OUTPUT→ASSIGN
→CAMERA→REC BUTTON
SET→MEDIA INFO→BATTERY
INFOと切り替わります。


起動時の条件によって、表示されないものもあります。

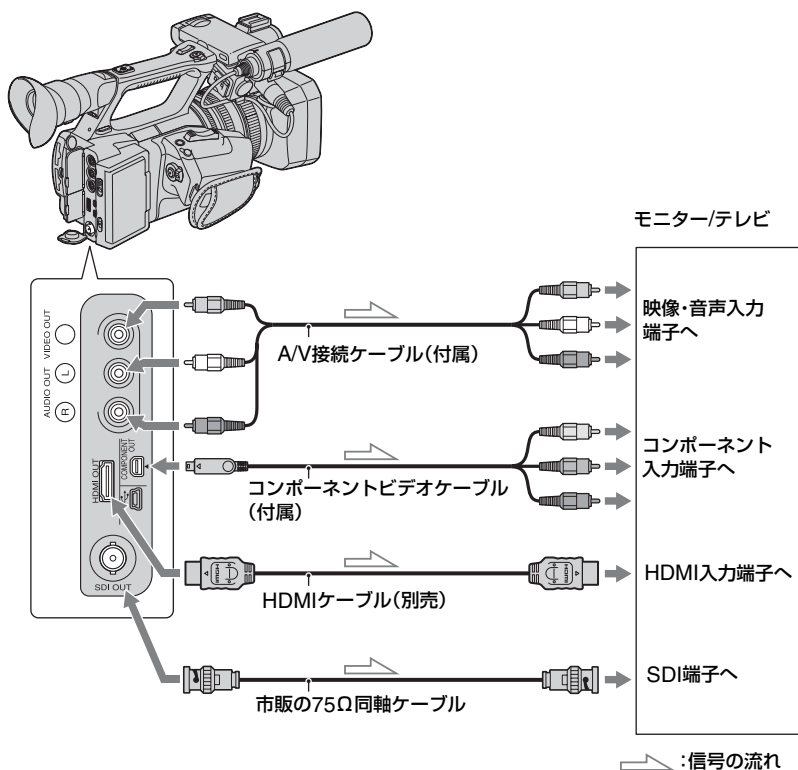
情報表示を消すには
STATUS CHECKボタン[D]を押す。

モニターやテレビにつなぐ

モニターやテレビの種類、接続する端子によって接続方法や、再生される画質が異なります。

SDI音声対応モニターに接続するときは、音声ケーブルの接続は不要です。SDI音声非対応モニターに接続する場合は、A/V接続ケーブルの赤と白の端子接続が必要です。また、コンポーネントビデオケーブルで接続する場合も、A/V接続ケーブルの赤と白の端子接続が必要です。

それぞれの端子から出力するときは、 (REC/OUT SET) → [VIDEO OUT] → [OUTPUT SELECT] で、出力したい端子の設定に変更してください。



④ ご注意

- [OUTPUT SELECT]の設定によって、信号を出力する端子を選択できます。

[OUTPUT SELECT] の設定	SDI OUT	HDMI OUT	COMPONENT OUT	VIDEO OUT
[SDI]	○	○	×	×
[HDMI]	×	○	× ^{*1}	× ^{*2}
[COMPONENT]	×	×	○	× ^{*3}
[VIDEO]	×	×	×	○

^{*1} HDMI端子の接続が無いときは、COMPONENT OUT端子に出力できます。

^{*2} HDMI端子とCOMPONENT OUT端子に接続が無いときは、VIDEO OUT端子に出力できます。

^{*3} COMPONENT OUT端子の接続が無いときは、VIDEO OUT端子に出力できます。

- [SDI/HDMI/COMPONENT]の設定によって、出力解像度が変わります。

HD/SD	[SDI/HDMI/ COMPONENT]の 設定	出力解像度			
		SDI OUT	HDMI OUT	COMPONENT OUT	VIDEO OUT
HD	720p/480i	720p	720p	720p	480i
	1080i/480i	1080i	1080i	1080i	480i
	480p	出力しない	480p	480p	480i
	480i	480i	480i	480i	480i
SD	720p/480i	480i	480i	480i	480i
	1080i/480i	480i	480i	480i	480i
	480p	出力しない	480p	480p	480i
	480i	480i	480i	480i	480i

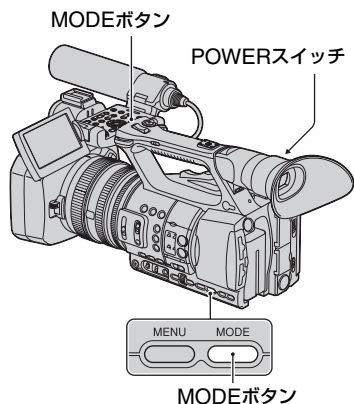
- [SDI/HDMI/COMPONENT]を[480p]に設定すると、SDI出力に信号を出力することはできません。
- HDMIケーブルはHDMIロゴがついているものをお使いください。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像をHDMI出力端子から出力することはできません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因となります。
- [REC FORMAT]のフレームレートが24pまたは30pのときには、プルダウン方式でインターレース信号に変換して出力されます。
- 本機はブラビアリンクに対応しておりません。

👁️ ちょっと一言

- HDMI (High-Definition Multimedia Interface) とはテレビ接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI OUT端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

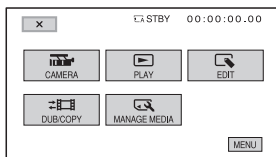
モードの使いかた

本機で撮影した動画から静止画を作成したり、保護、削除などの編集ができます。



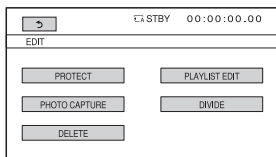
1 POWERスイッチを「ON」にする。

2 MODEボタンを押す。



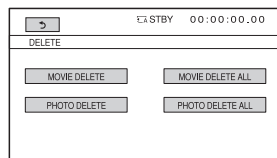
3 希望のカテゴリーをタッチする。

(例) EDITカテゴリーのとき



4 希望の項目をタッチする。

(例) DELETEのとき



5 画面の表示に従って操作する。

MODEメニュー画面を消すには をタッチする。または、MODEボタンを押す。

前の画面に戻るには をタッチする。

記録した画像を保護する(プロテクト)

誤って動画・静止画を削除してしまうことを防げます。

💡ちよつと言

- 動画・静止画のVISUAL INDEX画面や再生画面からMENUボタンを押して、プロテクトすることもできます。

プロテクトを解除するには

手順4で○nマークがついている動画・静止画をタッチする。

○nマークが消えます。

1 MODEボタンを押す。

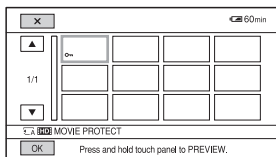
2 [EDIT]→[PROTECT]をタッチする。

3 動画をプロテクトするときは [MOVIE PROTECT]→希望の記録メディアと画質を選ぶ。

静止画をプロテクトするときは [PHOTO PROTECT]→希望の記録メディアを選ぶ。

4 プロテクトする動画・静止画をタッチする。

画像に○nマークが表示されます。



💡ちよつと言

- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。⬅️で選択画面に戻ります。
- 1度に100個までの画像を選べます。

5 [OK]→[YES]→[OK]をタッチする。

動画のプレイリストを使う

「プレイリスト」とは、オリジナルの動画の中から、好みのものを選んで作成したリストのことです。

プレイリストに追加した動画を編集しても、オリジナルの動画には影響ありません。

プレイリストを作る

📌 ご注意

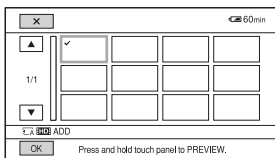
- ハイビジョン画質 (HD) と標準画質 (SD) の動画は、それぞれ別のプレイリストに追加されます。

1 MODEボタンを押す。

2 [EDIT] → [PLAYLIST EDIT] → [ADD] → 希望の記録メディアと画質を選ぶ。

3 追加したい動画をタッチする。

画像に✓マークが表示されます。



📌 ちょっと一言

- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。👉 で選択画面に戻ります。

4 [OK] → [YES] → [OK] をタッチする。

📌 ご注意

- 追加中は、本機からバッテリーやACアダプター/チャージャー、追加対象の記録メディア

を取り外さないでください。記録メディアが壊れるおそれがあります。

- 静止画はプレイリストに追加できません。

📌 ちょっと一言

- プレイリストにはハイビジョン画質 (HD) で999個、標準画質 (SD) で99個までの動画を追加できます。
- 動画のVISUAL INDEX画面や再生画面、PLAYLIST画面からMENUボタンを押して追加することもできます。

プレイリストを再生する

1 MODEボタンを押す。

2 [PLAY] → [PLAYLIST] → 希望の記録メディアと画質を選ぶ。

プレイリストに追加された動画が表示されます。

3 再生したい動画をタッチする。

選んだ動画からプレイリストの最後まで再生され、プレイリスト画面に戻ります。

追加した動画をプレイリストから消去するには

① MODE ボタンを押す。

② [EDIT] → [PLAYLIST EDIT] → [ERASE] → 希望の記録メディアと画質をタッチする。

- すべての動画を一括して削除するには、[EDIT] → [PLAYLIST EDIT] → [ERASE ALL] → 希望のメディアと画質をタッチする。

③ プレイリストから消去したい動画をタッチする。

選んだ動画に✓が表示されます。

動画から静止画を作成する

💡ちよっと一言

- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。👉で選択画面に戻ります。

④ **[OK]**→**[YES]**→**[OK]**をタッチする。

💡ちよっと一言

- プレイリストに追加した動画を消去しても、オリジナルの動画は消去されません。
- PLAYLIST画面やPLAYLIST再生画面からMENUボタンを押して消去することもできます。

追加した動画を並び換えるには

- ① MODE ボタンを押す。
- ② **[EDIT]**→**[PLAYLIST EDIT]**→**[MOVE]**→希望の記録メディアと画質をタッチする。

③ 移動したい動画をタッチする。

選んだ動画に✓が表示されます。

💡ちよっと一言

- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。👉で選択画面に戻ります。

④ **[OK]**をタッチする。

⑤ **⇐/⇒**で移動先を選ぶ。

⑥ **[OK]**→**[YES]**→**[OK]**をタッチする。

💡ちよっと一言

- 複数の動画を選んだ場合は、プレイリストで並んでいた順番で移動します。
- PLAYLIST画面からMENUボタンを押して並び換えることもできます。

記録済みの動画からお好みの場面を静止画として記録できます。

1 MODEボタンを押す。

2 [EDIT]→[PHOTO CAPTURE]→希望の記録メディアと画質を選ぶ。

3 静止画を切り出したい動画をタッチする。

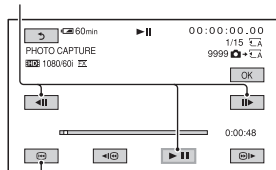
選んだ動画が再生されます。

4 静止画にしたい場面で **▶||** をタッチする。

再生が一時停止します。

▶|| を押すたびに、再生と一時停止が切り替わります。

▶|| で場面を決定してから、**◀||** / **||▶** で微調整をする



選んだ動画の先頭に戻る

5 **[OK]** をタッチする。

静止画は、選択されている動画の記録メディアに記録されます。静止画の記録が完了すると一時停止の状態に戻ります。

- 続けて静止画を作成するには、**▶||** をタッチしてから、手順4以降を行う。

動画から静止画を作成する(つづき)

- 別の動画を選ぶには、**☞** をタッチして手順**3**から行う。動画の記録メディアと画質を変える場合は、はじめから操作してください。

6 **☞**→**[X]**をタッチする。

📌ご注意

- 静止画の画像サイズは、動画の種類によって次のとおりに固定されます。
 - ハイビジョン画質 (HD) のときは [2.1M]
 - 標準画質 (SD) でワイド (16:9) のときは [0.2M]
 - 標準画質 (SD) で4:3のときは [VGA (0.3M)]
- 静止画を記録するメディアに空き容量がないと実行できません。
- 作成された静止画の撮影日時は、元の動画の撮影日時と同じ日付になります。
- 日付時刻データがない動画から静止画を作成した場合、静止画の撮影日時は作成日時と同じ日付になります。

動画を分割する

指定した場所で動画を分割できます。

1 MODEボタンを押す。

2 [EDIT]→[DIVIDE]→希望の記録メディアと画質を選ぶ。

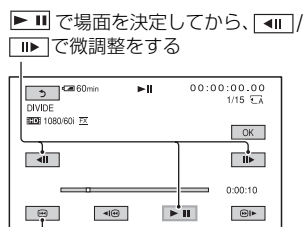
3 分割したい動画をタッチする。

選んだ動画が再生されます。

4 分割したい場所で **[▶||]** をタッチする。

再生が一時停止します。

[▶||] を押すたびに、再生と一時停止が切り替わります。



選んだ動画の先頭に戻る

5 **[OK]**→**[YES]**→**[OK]**をタッチする。

📌ご注意

- いったん分割した動画は元に戻せません。
- 分割中は、本機からバッテリーやACアダプター/チャージャー、分割対象の記録メディアを取り外さないでください。記録メディアが壊れるおそれがあります。
- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、**[▶||]** で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。

動画・静止画を削除する

- オリジナルの動画を分割するとプレイリストに追加した動画も分割されます。

🗨️ ちよつと一言

- 動画のVISUAL INDEX画面や再生画面からMENUボタンを押して分割することもできます。

不要な動画・静止画を削除すると、削除した分の記録メディアの容量を元に戻せません。

📌 ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。
- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプター/チャージャー、削除対象の記録メディアを取り外さないでください。記録メディアが壊れるおそれがあります。
- プロテクトされた動画・静止画は削除できません。削除するにはプロテクトを解除してください(55ページ)。
- 削除した動画がプレイリスト(56ページ)に追加されている場合は、プレイリストに追加した動画も削除されます。
- 大切な動画・静止画は、あらかじめ保存してください(84, 86ページ)。

🗨️ ちよつと一言

- 1度に100個までの画像を選べます。
- 記録メディアに保存されているすべてのデータを削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します(62ページ)。

1 MODEボタンを押す。

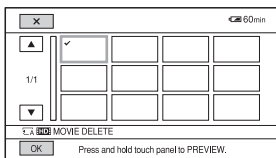
2 [EDIT]→[DELETE]をタッチする。

3 動画を削除するときは[MOVIE DELETE]→希望の記録メディアと画質を選ぶ。

静止画を削除するときは[PHOTO DELETE]→希望の記録メディアを選ぶ。

4 削除する動画・静止画をタッチする。

画像に✓マークが表示されます。



👁️ちよっと一言

- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。👉で選択画面に戻ります。

5 [OK] → [YES] → [OK] をタッチする。

動画・静止画をすべて削除するには

手順3で [MOVIE DELETE ALL] → 希望の記録メディアと画質 → [YES] → [YES] → [OK] をタッチする。

- 静止画をすべて削除するときは [PHOTO DELETE ALL] → 希望の記録メディア → [YES] → [YES] → [OK] をタッチする。

👁️ご注意

- プロテクトされている動画・静止画は削除されずに残ります。

👁️ちよっと一言

- 動画・静止画の VISUAL INDEX 画面や再生画面から MENU ボタンを押して削除することもできます。

動画をダビングする

メモリーカードに撮影した動画をフラッシュメモリーユニットにダビングできません。ダビングするメモリーカードを本機に入れて、フラッシュメモリーユニットを取り付けておいてください。

👁️ご注意

- フラッシュメモリーユニットに管理ファイルがない場合は、ダビングできません。その場合は、MODE ボタンを押して、[MANAGE MEDIA] → [REPAIR IMAGE DB FILE] → [EXT] で管理ファイルを作成してください。
- 途中で電源が切れないように、ACアダプター/チャージャーを使ってコンセントから電源を取ってください。

👁️ちよっと一言

- ダビングしても、元の動画は削除されません。

1 MODE ボタンを押す。

2 [DUB/COPY] → [MOVIE DUB] をタッチする。

3 ダビングの種類をタッチする。

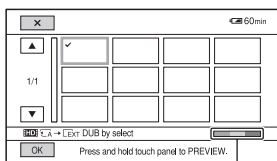
[DUB by select]: 動画を選んでダビングする。

[DUB ALL]: 記録されている動画をすべてダビングする。

4 ダビングしたい動画が記録されている記録メディアと画質をタッチする。

5 ダビングする動画を選ぶ。

[DUB by select]: ダビングする動画をタッチして、✓マークをつける。複数選択できます。



フラッシュメモリーユニットの 残量の目安

🗨️ちよつと一言

- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。👉で選択画面に戻ります。

[DUB ALL]を選んだときは、画面の指示に従って操作してください。

6 [OK] → [YES] → [OK] をタッチする。

静止画をコピーする

メモリーカードに記録した静止画をフラッシュメモリーユニットにコピーできます。コピーするメモリーカードを本機に入れて、フラッシュメモリーユニットを取り付けておいてください。

🗨️ご注意

- 途中で電源が切れないように、ACアダプター/チャージャーを使ってコンセントから電源を取ってください。

1 MODEボタンを押す。

2 [DUB/COPY] → [PHOTO COPY] をタッチする。

3 コピーの種類をタッチする。

[COPY by select]: 静止画を選んでコピーする。

[COPY ALL]: 記録されている静止画をすべてコピーする。

4 コピーしたい静止画が記録されている記録メディアをタッチする。

5 コピーする静止画を選ぶ。

[COPY by select]: コピーする静止画をタッチして、✓マークをつける。複数選択できます。

🗨️ちよつと一言

- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。👉で選択画面に戻ります。

[COPY ALL]を選んだときは、画面の指示に従って操作してください。

6 [OK] → [YES] → [OK] をタッチする。

記録メディアを初期化する

初期化とは記録メディア内のデータをすべて削除して、記録メディアの容量を元に戻すことです。

⚠️ご注意

- 途中で電源が切れないように、ACアダプター/チャージャーを使ってコンセントから電源を取ってください。
- 大切な画像は保存してから(84, 86ページ)、[MEDIA FORMAT]してください。
- プロテクトされた動画・静止画も削除されます。

1 MODEボタンを押す。

2 [MANAGE MEDIA] → [MEDIA FORMAT]をタッチする。

3 初期化する記録メディアをタッチする。

4 [YES] → [YES] → [OK]をタッチする。

⚠️ご注意

- [Executing...]が表示されているときは、電源の入/切やボタンを操作したり、記録メディアやACアダプター/チャージャーを取り外したりしないでください。(初期化中はアクセスランプが点灯・点滅します。)

記録メディア上のデータを復元しにくくする

記録メディアに無意味なデータを書き込んで、データの復元を困難にします。初期化では削除できないデータが残るので、記録メディアを廃棄したり譲渡したりする前に、情報の漏洩を防ぐためメディアデータ消去を行うことをおすすめします。

⚠️ご注意

- データ消去を行うと、保存されているデータはすべて消去されます。大切な画像データは保存(84, 86ページ)してからデータ消去を行ってください。
- ACアダプター/チャージャーを使って電源をコンセントから取っていないと、データ消去を行うことはできません。
- ACアダプター/チャージャー以外のケーブル類は外してください。実行中はACアダプター/チャージャーを外さないでください。
- データ消去中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。

1 ACアダプター/チャージャーを使って電源をコンセントから取る(12ページ)。

2 電源スイッチを「ON」にする。

3 MODEボタンを押す。

4 [MANAGE MEDIA] → [MEDIA FORMAT]をタッチする。

5 初期化する記録メディアをタッチする。

初期化の画面が表示されます。

管理ファイルを修復する

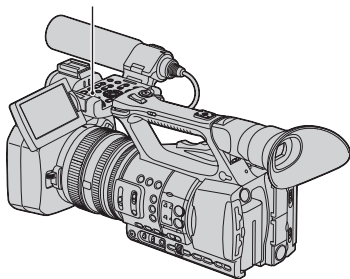
管理情報と記録メディアの動画・静止画の整合性を確認し、不整合があれば修復します。

④ ご注意

- 途中で電源が切れないように、ACアダプター/チャージャーを使ってコンセントから電源を取ってください。

6 STOPボタンを3秒以上長押しする。

STOPボタン



データ消去の画面が表示されます。

7 [YES]→[YES]→[OK]をタッチする。

④ ご注意

- データ消去の実行には、容量によって数分から数時間かかる場合があります。実際にかかる時間は液晶画面上でご確認ください。
- [Executing...]が表示されている間に中止した場合は、中止した記録メディアを使う前に、[MEDIA FORMAT]またはデータ消去を実行して完了させてください。

1 MODEボタンを押す。

2 [MANAGE MEDIA]→ [REPAIR IMAGE DB FILE]を タッチする。

3 管理ファイルを確認する記録メ ディアをタッチする。

4 [YES]をタッチする。

不整合が見つからなかった場合は、
[OK]をタッチして終了してください。

5 [YES]をタッチする。

[Completed.]と表示されたら [OK]を
タッチする。

④ ご注意

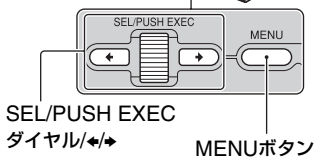
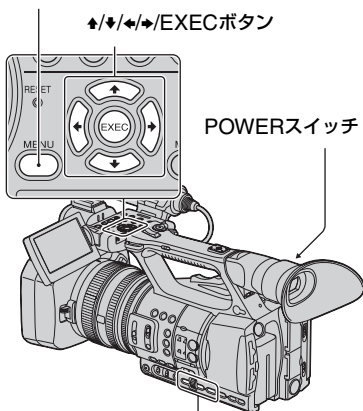
- [Repairing the Image Database File]が表示されている間に中止した場合は、中止した記録メディアを使う前に、管理ファイルを再度修復する必要があります。

メニューで設定を変更する

メニューの使いかた

画面に表示されるメニューで、お好みの設定やより細かい設定ができます。

MENUボタン



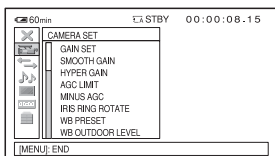
💡ちょっと一言

- ◀▶ボタンを使って、メニュー項目を選ぶこともできます。

1 POWERスイッチを「ON」にする。

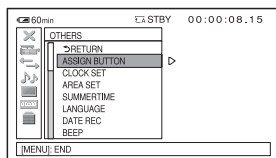
2 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

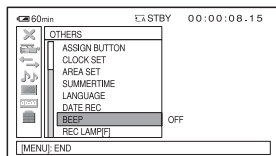


3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してメニューのマークを選び、押して決定する。

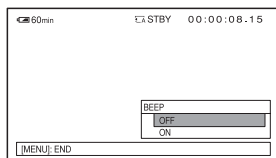
- 📷 CAMERA SET (68ページ)
- 📡 REC/OUT SET (73ページ)
- 🎵 AUDIO SET (75ページ)
- 📺 DISPLAY SET (77ページ)
- 🕒 TC/UB SET (81ページ)
- 📁 OTHERS (82ページ)



4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して設定する項目を選び、押して決定する。



5 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して希望の設定を選び、押して決定する。



6 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

[↩ RETURN]を選ぶと1つ前の階層に戻ります。

🔔ご注意

- 表示される項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。

メニュー一覧

- フォーマット切換やMODEによる機能実行、電源のOFFでお買い上げ時の設定に戻る機能です。

ASSIGN ASSIGNボタンに割り当てて使える機能です。



(CAMERA SET)メニュー

(68ページ)

GAIN SET	
SMOOTH GAIN	
HYPER GAIN	● ASSIGN
AGC LIMIT	
MINUS AGC	
IRIS RING ROTATE	ASSIGN
WB PRESET	
WB OUTDOOR LEVEL	
WB TEMP SET	
ATW SENS	
SMOOTH WB	
AE SHIFT	ASSIGN
AE RESPONSE	
AUTO IRIS LIMIT	
FLICKER REDUCE	
BACK LIGHT	ASSIGN
SPOTLIGHT	ASSIGN
STEADYSHOT	ASSIGN
AF ASSIST	
FOCUS MACRO	ASSIGN
HANDLE ZOOM	
SPEED ZOOM	
D.EXTENDER	● ASSIGN
FADER	● ASSIGN
x.v.Color	
COLOR BAR	● ASSIGN



(REC/OUT SET)メニュー

(73ページ)

REC SET	
VIDEO OUT	



(AUDIO SET)メニュー

(75ページ)

HOLD AUDIO FORMAT	
AUDIO LIMIT	
HEADPHONE OUT	
INT MIC SET	
XLR SET	



(DISPLAY SET)メニュー

(77ページ)

ZEBRA	ASSIGN
PEAKING	ASSIGN
MARKER	ASSIGN
EXPANDED FOCUS	
TYPE	
CAMERA DATA	
DISPLAY	
AUDIO LEVEL	
DISPLAY	
ZOOM DISPLAY	
FOCUS DISPLAY	
SHUTTER DISPLAY	
LCD BRIGHT	
LCD COLOR	
LCD BACKLIGHT	
LEVEL	
VF BACKLIGHT	
VF COLOR	
VF POWERMODE	
HOLD REMAINING	
GPS TIME DISPLAY	
DISPLAY OUTPUT	

00:00

(TC/UB SET)メニュー

(81ページ)

TC PRESET	
UB PRESET	
TC FORMAT	
TC RUN	
TC MAKE	
UB TIME REC	

**(OTHERS)メニュー**

(82ページ)

ASSIGN BUTTON	
CLOCK SET	
AREA SET	
SUMMERTIME	
LANGUAGE	
DATE REC	
BEEP	
REC LAMP[F]	(ASSIGN)
REC LAMP[R]	(ASSIGN)
REMOTE CONTROL	
OPERATION TIME	
CALIBRATION	

**(SMOOTH SLOW REC****SET)メニュー**(41ページ)

HD REC MODE
REC TIMING

**(EDIT)メニュー**

(55、56、58、59ページ)

PROTECT
ADD TO PLAYLIST
DIVIDE
DELETE
DELETE ALL

**(PLAYLIST EDIT)メニュー**

(56ページ)

ADD
MOVE
ERASE
ERASE ALL


(CAMERA SET) メニュー

撮影状況に合わせるための設定(GAIN SET/BACK LIGHT/STEADYSHOTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

()内の表示が画面に出ます。

操作方法は64ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

GAIN SET

GAINスイッチ[H][M][L]の値を設定するときを選びます(お買い上げ時の設定は、[H]:18dB、[M]:9dB、[L]:0dB)。

- ① SEL/PUSH EXECダイヤルで[H][M][L]のいずれかを選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤルでゲインの設定値を選び、押し決定する。
-6dB~21dBの間で、3dB間隔で選択できます。数値が大きくなるほど、ゲインが上がります。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤルで[OK]を選ぶ。
- ④ MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

SMOOTH GAIN

GAINスイッチを切り換えたときに、ゲインの設定値が変化するスピードを[FAST]、[MIDDLE]、[SLOW]から選びます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

HYPER GAIN

[ON] (**HYPER**) に設定すると、ゲインの設定を限界まで上げることができます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

📌ご注意

- ハイパーゲイン使用中は、ノイズにより画質が劣化します。

- フォーマットを切り換えたり、MODEによる機能を実行したり、電源を切ったりすると、自動的に[OFF](お買い上げ時の設定)に戻ります。
- ハイビジョン画質(HD)では、[HYPER GAIN]を[ON]にして記録した場合、再生時にデータコード表示をすると[---]になります。

📌ちょっと一言

- 手動フォーカスでの使用をおすすめします。
- ASSIGNボタンに割り当てることができます(44ページ)。

AGC LIMIT

オートゲインコントロール(AGC)の上限値を[OFF][21dB、お買い上げ時の設定]、[18dB]、[15dB]、[12dB]、[9dB]、[6dB]、[3dB]、[0dB]から選べます。

📌ご注意

- ゲインを手動調節していると効果はありません。

MINUS AGC

[ON]に設定すると、ゲインの自動調節領域をマイナス領域まで広げることができます。特に、十分な光量が得られるときは、ゲインをマイナス領域まで変動させることで、より適切にゲイン設定を行うことができ、よりノイズの少ない映像を撮影することができます。[MINUS AGC]を[ON]にしても本機のダイナミックレンジが狭くなることはありません。

▶ ON

ゲインを自動調節しているときに、状況に応じて-3dBまで動く。

OFF

ゲインを自動調節しているときに、マイナスゲインにならない。

IRIS RING ROTATE

アイリスリングの操作方向を選びます。

▶ NORMAL

リングを時計回りに回すと暗くなる。

OPPOSITE

リングを反時計回りに回すと暗くなる。

💡ちよっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができません(44ページ)。

WB PRESET

プリセットホワイトバランスを使うときに選びます。詳しくは30ページをご覧ください。

WB OUTDOOR LEVEL

プリセットホワイトバランスが[OUTDOOR]時のオフセット量を設定します。

[-7] (青め) ~ [0] (標準) ~ [+7] (赤め) から選びます(お買い上げ時の設定は[0])。

WB TEMP SET

プリセットホワイトバランスが[MANU WB TEMP]のときの色温度の値を設定します。

設定範囲: 2300K ~ 15000K (100K単位)

ATW SENS

白熱電球やろうそくなど赤みの強い光源下や、屋外の日陰など青みの強い光源下でのオートホワイトバランスの動作を設定できます。

▶ INTELLIGENT

シーンの明るさに応じて自然な雰囲気になるように自動調節する。

HIGH

赤みや青みが減る。

MIDDLE

LOW

赤みや青みが増す。

📌ご注意

- ホワイトバランスが自動調節されているときのみ有効です。
- 晴天時の日向では効果がありません。

SMOOTH WB

ホワイトバランスメモリスイッチを切り換えたときに、色温度が変化するスピードを[FAST]、[MIDDLE]、[SLOW]から選びます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

AE SHIFT

■ ON/OFF

AE SHIFTの入切を設定します。
[ON]に設定すると、**AS**と設定した数値が表示されます。

■ LEVEL

SEL/PUSH EXECダイヤルで明るさを[-7] (暗い) ~ [0] (標準) ~ [+7] (明るい)の範囲で調節できます(お買い上げ時の設定は[0])。

📌ご注意

- アイリス、シャッタースピード、ゲインのすべてを手動調節していると効果はありません。
- ハイパーゲイン設定時は一時的に無効になります。

💡ちよっと一言

- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(44ページ)。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

AE RESPONSE

被写体の明るさに追従して露出を自動調整する速度を選びます。[FAST]、[MIDDLE]、[SLOW]から選びます(お買い上げ時の設定は[FAST])。

AUTO IRIS LIMIT

アイリス設定が自動のとき、絞りの上限値を[F11] (お買い上げ時の設定)、[F9.6]、[F8]、[F6.8]、[F5.6]、[F4.8]、[F4]から選びます。

📌ご注意

- アイリスを手動調節していると効果はありません。

FLICKER REDUCE

▶ ON

通常の撮影時に選ぶ。
電源周波数が50Hzの蛍光灯などの光源下で画面のちらつきを軽減します。


OFF

フリッカー低減を行わない。

📌ご注意

- 照明によっては低減効果が現れないことがあります。

BACK LIGHT

[ON]に設定すると、が表示されて逆光補正されます(お買い上げ時の設定は[OFF])。


📌ご注意

- 逆光補正中に[SPOTLIGHT]を[ON]にすると[BACK LIGHT]は[OFF]になります。
- アイリス、ゲイン、シャッタースピードの3つを手動で設定していると、[BACK LIGHT]は[OFF]になります。
- 逆光補正中に[HYPER GAIN]を[ON]にすると、[BACK LIGHT]は[OFF]になります。

📌ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(44ページ)。

SPOTLIGHT

[ON] ()に設定すると、舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに、人物の顔などが白く飛んでしまうのを防げます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

📌ご注意

- スポットライト中に[BACK LIGHT]を[ON]に設定すると、[SPOTLIGHT]は[OFF]になります。
- アイリス、ゲイン、シャッタースピードの3つを手動で設定していると、[SPOTLIGHT]は[OFF]になります。
- スポットライト中に[HYPER GAIN]を[ON]にすると、[SPOTLIGHT]は[OFF]になります。

📌ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(44ページ)。

STEADYSHOT


■ SET

▶ STEADYSHOT

手ブレ補正の設定を有効にする。

ACTIVE STEADYSHOT ()より強い手ブレ補正効果が得られます。

OFF

三脚(別売)を利用するときは、[OFF] ()にすると自然な画像になります。

■ STEADYSHOT TYPE

撮影状況に合わせて手ブレ補正の効果を選ぶことができます。

HARD

強めに手ブレ補正を働かせる。
パン・ティルト撮影には向きません。

▶ STANDARD

通常の手ブレ補正を使う。

SOFT

自然な手ブレ感を残しつつ、手ブレ補正を働かせる。

WIDE CONVERSION

ワイドコンバージョンレンズ(別売)を使って撮影する。
ソニー製のワイドコンバージョンレンズ(別売)を使うときに最適な設定です。

■ ACTIVE STEADYSHOT TYPE

撮影状況に合わせてより強い手ブレ補正の効果が得られます。

▶ STANDARD

歩きながらや移動しながらの撮影など、より強い手ブレに対する補正効果が得られます。

WIDE CONVERSION

アクティブ手ブレ補正モードでワイドコンバージョンレンズ(別売)を使って撮影する際の設定です。
ソニー製のワイドコンバージョンレンズ(別売)を使うときに最適な設定になっています。

📌ご注意

- [ACTIVE STEADYSHOT]時は、画角がわずかに望遠側に寄り、解像度が劣化します。

🗣ちよつと一言

- [SET]をASSIGNボタンに割り当てることができます(44ページ)。

AF ASSIST


[ON]に設定すると、オートフォーカスのとき、フォーカスリングを回して一時的に手動でピントを合わせることができます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

📌ご注意

- FOCUSスイッチが「AUTO」のときに有効です(26ページ)。

FOCUS MACRO

80cm以内の被写体にもフォーカスを合わせることができます(お買い上げ時の設定は[ON])。

[OFF]()に設定すると、80cmより近い被写体にはフォーカスが合わなくなりますが、ズーム位置によらずフォーカス位置を細かく決めることができます。

🗣ちよつと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(44ページ)。

HANDLE ZOOM

ハンドルズーム切り換えスイッチが「FIX」のとき、ズームスピードを[1](遅い)～[8](速い)から選べます(お買い上げ時の設定は[3])。


SPEED ZOOM

[ON]に設定すると、ズームレバーやハンドルズームレバーのズーム駆動速度が速くなります(お買い上げ時の設定は[OFF])。

📌ご注意

- [ON]に設定すると、ズームの駆動音が動画に記録されることがあります。

D.EXTENDER

[ON]()に設定すると、約1.5倍に画像を拡大表示します。デジタル処理のため画質は劣化します。野鳥などの遠方の被写体を拡大するときに便利です(お買い上げ時の設定は[OFF])。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

📌ご注意

- フォーマットを切り換えたり、MODEIによる機能を実行したり、電源を切ったりすると、自動的に[OFF] (お買い上げ時の設定)に戻ります。
- [REC FORMAT]で[HD 720/60p FX]/[HD 720/60p FH]を選んでおられるときは、設定できません(23ページ)。

💡ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(44ページ)。

FADER

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。

① スタンバイ中(フェードインのとき)または録画中(フェードアウトのとき)に使用したい効果を選ぶ。

② 録画ボタンを押す。
フェーダー表示が点灯に変わり、終了後消えます。

操作開始前に解除するには①で[OFF]を選びます。

1度録画ボタンを押すと、設定は解除されます。



WHITE FADER



BLACK FADER



📌ご注意

- フォーマットを切り換えたり、MODEIによる機能を実行したり、電源を切ったりすると、自動的に[OFF] (お買い上げ時の設定)に戻ります。

- [REC BUTTONSET]で、[REC BUTTON]と[HANDLE REC BUTTON]を異なる記録メディアに設定している場合は、[FADER]を設定できません。
- 記録メディアの残量が1分未満になると、[FADER]を設定できません。

💡ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(44ページ)。

x.v.Color

[ON] ((COLOR))に設定して撮影すると、より広い色域で記録できます(お買い上げ時の設定は[OFF])。鮮やかな花の色や、南国の海の美しい青緑色などを再現することが可能になります。

📌ご注意

- [ON]にして撮影した画像をx.v.Colorに非対応のテレビで再生すると、色が正しく再現されない場合があります。
- 次のとき[x.v.Color]は設定できません。
 - メモリーカードとフラッシュメモリーユニットの一方でも標準画質(SD)に設定しているとき
 - 動画を撮影中
- [x.v.Color]が[ON]のとき、ピクチャープロファイルは無効になります。

COLOR BAR

■ ON/OFF

[ON]に設定するとカラーバーを表示したり、記録したりすることができます。本機で撮影した画像をテレビやモニターで見るときに、カラーバーを見ながら色味を調節するときに便利です(お買い上げ時の設定は[OFF])。

📌ご注意

- フォーマットを切り換えたり、MODEIによる機能を実行したり、電源を切ったりすると、自動的に[OFF] (お買い上げ時の設定)に戻ります。

- [COLOR BAR]の設定は、録画中、フェーダー設定中、拡大フォーカス中は変更することができません。

■ TYPE

カラーバーのタイプを選べます。



TYPE1



TYPE2



TYPE3



TYPE4

(TYPE3に対して輝度75%)

■ TONE

[ON/OFF]を[ON]に設定して、[TONE]を[ON]に設定すると、音声トーン信号(1kHz:フルビット -20dB)を出力します(お買い上げ時の設定は[OFF])。

👁️ちょっと一言

- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができません(44ページ)。

↔️ (REC/OUT SET) メニュー

録画、入出力に関する設定(REC SET/VIDEO OUT)

▶は、お買い上げ時の設定。

()内の表示が画面に出ます。

操作方法は64ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、↔️ (REC/OUT SET)を選択すると表示されます。

REC SET

■ [HD]/[SD] SET

23ページをご覧ください。

■ REC FORMAT

23ページをご覧ください。

■ REC BUTTON SET

22ページをご覧ください。

■ [SD] WIDE REC

標準画質(SD)で録画する場合の画像サイズを設定します。

▶ ON

16:9で記録する。

OFF(4:3)

4:3で記録する。設定すると、自動的に[MARKER]の設定が[ON]、[ASPECT]の設定が[4:3]になります。また、[SMOOTH SLOW REC]時は、両端に黒帯を表示します。

📌ご注意

- ハイビジョン画質(HD)で録画する場合は、画像サイズは16:9に固定され、4:3にできません。
- [SD] WIDE RECの設定を[OFF]にすると、[MARKER]の設定が自動的に[ON]になり、[ASPECT] 4:3のマーカを表示します。このとき、[CENTER]、[SAFETY_ZONE]、[GUIDEFAME]についても、[OFF]以外が設定されている場合は、設定内容に従い同時にマーカを表示します。マーカを表示しない

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (REC/OUT SET)を選択すると表示されます。

ときは、[MARKER]の設定を[OFF]にしてください(77ページ)。

VIDEO OUT

■ OUTPUT SELECT

信号を出力する端子を選びます。

SDI

▶ HDMI

COMPONENT

VIDEO

🔍ご注意

- [SDI]から[HDMI]、[HDMI]から[SDI]に切り換えるときに、一時画面が消えて、画像と音声途切れます。

■ SDI/HDMI/COMPONENT

SDI/HDMI/COMPONENT端子からの出力信号の解像度を選びます。

720p/480i

▶ 1080i/480i

480p

480i

■ DOWN CONVERT TYPE

映像信号出力形式を設定します。

16:9で撮影された動画や、静止画を出力する際に有効です。

▶ SQUEEZE

画面の天地をいかし、水平方向に圧縮して出力する。

LETTER BOX (16:9)

LETTER BOX (15:9)

LETTER BOX (14:9)

LETTER BOX (13:9)

垂直方向を圧縮することにより、アスペクト比を損なうことなく出力する。

EDGE CROP

画面の天地をいかし、左右を切り捨てる方法で出力する。

🔍ご注意

- [HSDI WIDE REC]を[ON]にして標準画質(SD)で撮影した動画を4:3テレビで見ると、接続するテレビによっては、画面の天地はそのまま、水平方向を圧縮して再生します。そのような4:3テレビで見るときは、LETTER BOXまたは[EDGE CROP]に設定してください。
- [SQUEEZE]からその他の設定、その他の設定から[SQUEEZE]に切り換えるときに、一時画面が消えて、画像と音声途切れます。

■ SD-SDI SET

VIDEO INDEX

アスペクト比や信号形式の情報を含むインデックス信号をSDI出力信号に重畳する(お買い上げ時の設定は[ON])。

RP188 ATC

RP188 ATC(Ancillary Time Code)をSDI出力信号に重畳する(お買い上げ時の設定は[ON])。

VITC LINE SEL

VITC(Vertical Interval Time Code)を記録するSD映像信号の垂直ブランキングのラインを12から20で設定する(お買い上げ時の設定は[16])。

♪ (AUDIO SET) メニュー

録音に関する設定( AUDIO
FORMAT/XLR SETなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
()内の表示が画面に出ます。

操作方法は64ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH
EXECダイヤルで、♪ (AUDIO SET)を
選択すると表示されます。

AUDIO FORMAT

ハイビジョン画質(HD)時の記録音声
フォーマットを切り換えます。

▶ LINEAR PCM(LPCM)

リニアPCM方式で記録する。

DOLBY DIGITAL(Dolby D)

ドルビーデジタル方式で記録する。

ⓘ ご注意

- 標準画質(SD)の撮影では音声記録は
[DOLBY DIGITAL]に固定されます。

AUDIO LIMIT

CH1/CH2に音割れ防止機能の設定をし
ます。

▶ OFF

機能を使わないときに選ぶ。

ON

機能を使うときに選ぶ。

ⓘ ご注意

- AUTO/MAN(CH1/CH2)スイッチが「MAN」
のときのみ有効です。

HEADPHONE OUT

HEADPHONE MONITORスイッチが
「STEREO MIX」のときのヘッドホンに出
力する方式を設定します。

▶ STEREO

ステレオで出力する。

MONO

モノラルで出力する。

INT MIC SET

■ INT MIC SENS


内蔵マイク使用時の録音感度を設定しま
す。

▶ NORMAL

業務用機器で一般的に使われる感度。

HIGH

民生用機器で一般的に使われる感度。

ステータスチェック画面に  が表
示されます。


■ INT MIC WIND

▶ OFF

内蔵マイクの風音低減をしないときに選
ぶ。

ON

内蔵マイクの風音低減をするときに選
ぶ。

ステータスチェック画面に  が表示さ
れます。

XLR SET

■ XLR AGC LINK


外部マイク使用時のチャンネル1/2のAGC
(Auto Gain Control)の連動/非連動を切り
換えます。


▶ SEPARATE

AGC非連動にする(チャンネル1/2を
別々の音声として記録する)。

LINKED()

AGC連動にする(チャンネル1/2をステ
レオのように1組の音声として記録す
る)。

ステータスチェック画面に  が表
示が
出
ます。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (AUDIO SET)を選択すると表示されます。

📌ご注意

- AUTO/MANスイッチがCH1/CH2ともに「AUTO」で、INPUT1、INPUT2スイッチが両方とも「MIC」または両方とも「LINE」のときに有効です(39ページ)。


■ AUDIO MANUAL GAIN

外部マイク使用時のチャンネル1、2のオーディオレベルの連動/非連動を切り換えます。

▶ SEPARATE

オーディオレベル非連動にする
(チャンネル1、2を別々の音声として記録する)。

LINKED()

オーディオレベル連動にする
(チャンネル1、2をステレオのように1組の音声として記録する)。
ステータスチェック画面に **M**  表示が出ます。

📌ご注意

- AUTO/MANスイッチがCH1/CH2ともに「MAN」で、INPUT1、INPUT2スイッチが両方とも「MIC」または両方とも「LINE」のときに有効です(39ページ)。
- [LINKED]設定時は、CH1のAUDIO LEVELダイヤルで音量調節できます(39ページ)。

■ INPUT1 TRIM

INPUT1端子から録音するときに、入力信号のレベルを調節します。

[-18dB]、[-12dB]、[-6dB]、[0dB]、[+6dB]、[+12dB]から選びます(お買い上げ時の設定は[0dB])。

📌ご注意


- INPUT1スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。

■ INPUT1 WIND

▶ OFF

INPUT1端子の風音低減をしない。

ON

INPUT1端子の風音低減をする。
ステータスチェック画面に  が表示されます。

📌ご注意

- INPUT1スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。

■ INPUT2 TRIM

■ INPUT2 WIND

INPUT2にも、それぞれINPUT1と同じ機能があります。

🗨️ちょっと一言

- 本機は-48dBuを0dBとして設計しています。
- 付属のマイクをお使いのときは、INPUT TRIMを[0dB]に設定してください。
- INPUT TRIM機能は外部マイクの入力レベルを調節します。感度の高いマイクや大きな音を記録する場合はマイナス側に、感度の低いマイクや小さな音を記録する場合はプラス側に調節してください。
- 大音量で音がひずむ場合、入力部でひずむ場合と記録部でひずむ場合があります。入力部でひずむ場合は、INPUT TRIM機能で調節してください。記録部でひずむ場合は、手動で全体的なレベルを下げてください。
- INPUT TRIMをマイナス側にしすぎると、マイク音量が小さくなりすぎ、S/Nが悪くなります。
- 使用するマイクや音場に合わせて、あらかじめテストをしてご使用ください。

□ (DISPLAY SET)

メニュー

画面/ファインダーの表示設定
(MARKER/VF BACKLIGHT/
DISPLAY OUTPUTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
()内の表示が画面に出ます。

操作方法は64ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH
EXECダイヤルで、□ (DISPLAY
SET)を選択すると表示されます。

ZEBRA

明るさ調整をするときの目安にすると便利です。

■ ON/OFF

[ON]にすると、 とレベルが表示され
ます。記録した画像にゼブラは記録され
ません(お買い上げ時の設定は[OFF])。

■ LEVEL

輝度レベルを70~100または100+から選
べます(お買い上げ時の設定は[70])。

💡ちよっと一言

- ゼブラとは、画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル部分に表示される縞模様のことです。
- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができません(44ページ)。

PEAKING

■ ON/OFF

[ON]に設定すると**PEAKING**が現れ、画面上に画像の輪郭が強調して表示されるので、ピントが合わせやすくなります(お買い上げ時の設定は[OFF])。

■ COLOR

ピーキングの色を[WHITE]、[RED]、
[YELLOW]から選べます(お買い上げ時の
設定は[WHITE])。

■ LEVEL

ピーキング感度を[HIGH]、[MIDDLE]、
[LOW]から選べます(お買い上げ時の設定
は[MIDDLE])。

💡ご注意

- 輪郭強調された画像は記録メディアに記録されません。

💡ちよっと一言

- 拡大フォーカス(27ページ)と一緒に使うと、ピントが合わせやすくなります。
- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができません(44ページ)。

MARKER

■ ON/OFF

[ON]にするとマーカーが表示されます(お
買い上げ時の設定は[OFF])。
マーカーは記録メディアに記録されません。

■ CENTER

[ON]にすると画面の中心にマーカーを
表示する(お買い上げ時の設定は[ON])。



■ ASPECT


[4:3]、[13:9]、[14:9]、[15:9]から選んだア
スペクト比位置にマーカーを表示する(お
買い上げ時の設定は[OFF])。



■ SAFETY ZONE

[80% (16:9)]、[80% (4:3)]、[90%
(16:9)]、[90% (4:3)]のどれかを選ぶと、一
般的な家庭用テレビで受像できる範囲を選
んでマーカーを表示する(お買い上げ時の
設定は[OFF])。



MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (DISPLAY SET)を選択すると表示されます。

■ GUIDEFAME

[16:9]または[4:3]に設定すると、フレームを表示して被写体が水平/垂直になっているかを確認できる(お買い上げ時の設定は[OFF])。



🔔ご注意

- マーカー表示中は、[DISPLAY OUTPUT]の設定を[ALL OUTPUT]にしても、タイムコード以外は何も出力されません。
- 以下のとき、マーカーを表示できません。
 - [EXPANDED FOCUS]
 - [SMOOTH SLOW REC]中
 - 電源入時の日時表示
- マーカー表示は、LCDパネルとファインダーのみに表示されます(外部に出力することはできません)。

💡ちょっと一言

- すべてのマーカーを同時に表示できます。
- [GUIDEFAME]の交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。
- [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(44ページ)。

EXPANDED FOCUS TYPE

拡大フォーカスの表示方法を設定できます。

▶ TYPE 1

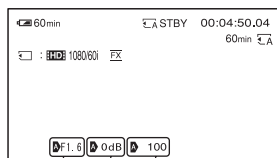
画像をそのまま拡大する。

TYPE 2

画像を白黒にして拡大する。


CAMERA DATA DISPLAY

[ON]にするとアイリス、ゲイン、シャッタースピードの値を常に表示します(お買い上げ時の設定は[OFF])。



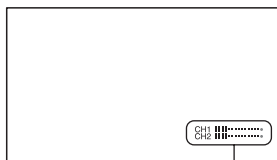
アイリス値 シャッタースピード値
ゲイン値

💡ちょっと一言

- カメラデータ表示の設定に関わらず、マニュアル設定時は設定値が表示されます。
-  は自動設定されていることを示します。
- DATA CODEボタンを押したときに表示される項目とは異なります(50ページ)。

AUDIO LEVEL DISPLAY

画面にオーディオレベルメーターが表示されます(お買い上げ時の設定は[ON])。



オーディオレベルメーター

ZOOM DISPLAY

▶ BAR

ズーム位置をバーで表示する。

NUMBER

ズーム位置を数値(0~99)で表示する。

FOCUS DISPLAY

マニュアルフォーカス時の焦点距離の表示方法を変更できます。

▶ METER

フォーカスをメートルで表示する。

FEET

フォーカスをフィートで表示する。

SHUTTER DISPLAY

シャッタースピードの表示方法を変更できます。

▶ SECOND

シャッタースピードを秒で表示する。

DEGREE

撮像素子から読み出す周期と同じスピードを360°として表示する。

— [REC FORMAT] で以下を選択時は、1/60で360°

HD 1080/60i FX SD 480/60i HQ

HD 1080/60i FH SD 480/60i HQ

HD 1080/60i HQ SD 480/60i HQ

HD 1080/60i LP SD 480/60i HQ

HD 720/60p FX SD 480/60i HQ

HD 720/60p FH SD 480/60i HQ

— [REC FORMAT] で以下を選択時は、1/24で360°

HD 1080/24p FX SD 480/24pSCAN HQ

HD 1080/24p FH SD 480/24pSCAN HQ

— [REC FORMAT] で以下を選択時は、1/30で360°

HD 1080/30p FX SD 480/30pSCAN HQ

HD 1080/30p FH SD 480/30pSCAN HQ

[REC FORMAT]の設定について詳しくは、23ページをご覧ください。

🔔ご注意

- DATA CODEボタンを押したときに表示されるシャッタースピードは、この設定にかかわらず秒表示となります。

🗨️ちょっと一言

- 360°より長いシャッタースピードの場合は、360°の整数倍(360°×2など)で表示します。

LCD BRIGHT

液晶画面の明るさを調節できます。録画される画像に影響はありません。

🗨️ちょっと一言

- 液晶画面バックライトを消すこともできます(14ページ)。

LCD COLOR

液晶画面の濃さを調節できます。録画される画像に影響はありません。

LCD BACKLIGHT LEVEL

液晶画面バックライトの明るさを調節できます。

▶ NORMAL

通常の設定(標準の明るさ)。

BRIGHT

画面が暗いと感じたときに選ぶ。

🔔ご注意

- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に[BRIGHT]になります。
- [BRIGHT]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

VF BACKLIGHT

ファインダーの明るさを調節できます。

▶ NORMAL


通常の設定(標準の明るさ)。

BRIGHT

ファインダーが暗いと感じたときに選ぶ。

🔔ご注意

- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に[BRIGHT]になります。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (DISPLAY SET)を選択すると表示されます。

- [BRIGHT]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

VF COLOR

▶ ON

ビューファインダーをカラーで表示させる。

OFF

ビューファインダーを白黒で表示させる。

VF POWERMODE

▶ AUTO

液晶画面を閉じたときと対面撮影時に、ファインダーが点灯する。

ON

常にファインダーが点灯する。

REMAINING

AUTO

動画撮影モードや、[SMOOTH SLOW REC]へ切り換えたときに、記録可能な動画残量表示をする。動画残量が5分以上ある場合、8秒後に非表示になる。

▶ ON

記録可能な動画残量を常に表示する。

GPS TIME DISPLAY

データコードで表示するGPS時刻の表示形式を設定します。

▶ LOCAL TIME

時差補正した時刻を表示する。サマータイム設定を考慮したローカル時刻を表示する。

UTC TIME

協定世界時で表示する。

📌 ご注意

- 静止画では、[LOCAL TIME]を選択した場合、測位時刻が[-----]表示になります。

DISPLAY OUTPUT

タイムコードなどの画面表示の出力先を設定します。

▶ LCD PANEL

ファインダーと液晶画面に出力する。

ALL OUTPUT

ファインダー、SDI出力、HDMI出力、コンポーネント出力、映像音声出力と液晶画面に出力する。

📌 ご注意

- [MARKER]が[ON]で、画面に表示されているときは、タイムコード以外は何も出力されません。

00:00 (TC/UB SET)

メニュー

タイムコードの設定(TC PRESET/UB PRESET/TC FORMATなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
()内の表示が画面に出ます。

操作方法は64ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、00:00 (TC/UB SET)を選択すると表示されます。

TC PRESET

42ページをご覧ください。

UB PRESET

42ページをご覧ください。

TC FORMAT

タイムコードの記録方式を選びます。

▶ DF

タイムコードをドロップフレーム方式で記録する。

NDF

タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録する。

📌ご注意

- HD 1080/24pで記録するときは、[NDF]に固定されます。

💡ちょっと一言

ドロップフレームとは

タイムコードは30フレームを1秒として処理されますが、実際のNTSC映像信号のフレーム周波数は約29.97フレーム/秒のため、長時間記録しているうちに実時間とタイムコードにズレが生じてきます。これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのがドロップフレームです。ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初の2フレームが間引かれます。このような補正のないものをノンドロップフレームと呼びます。

TC RUN

タイムコードの歩進を選びます。

▶ REC RUN

記録中のみタイムコードが歩進する。
最後に記録した画像上のタイムコードに連続して記録する。

FREE RUN

本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進する。

📌ご注意

- [REC RUN]モードで歩進する場合でも、以下のときはタイムコードが不連続になることがあります。
 - 録画フォーマットを切り換えたとき
 - メモリーカードとフラッシュメモリーユニットに同時記録したとき
 - 記録メディアを取り外したとき

TC MAKE

▶ PRESET

新たに設定したタイムコードを記録メディアに記録する。

REGENERATE

記録メディアに最後に記録されたタイムコードを読み取り、その値に連続するよう記録する。

[TC RUN]の設定に関係なく、タイムコードは[REC RUN]モードで歩進する。

UB TIME REC

▶ OFF

時刻をユーザービットコードとして記録しない。

ON

時刻をユーザービットコードとして記録する。

📌ご注意

- [ON]のときは、下位2桁は00に固定されます。


(OTHERS)

メニュー

撮影時の設定や、各種基本設定 (AREA SET/BEEPなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
()内の表示が画面に出ます。

操作方法は64ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (OTHERS)を選択すると表示されます。

ASSIGN BUTTON

44ページをご覧ください。

CLOCK SET

16ページをご覧ください。

AREA SET

時計を止めることなく時差補正ができます。海外で使用するとき現地時刻に合わせることができます。

SUMMERTIME

サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。[SUMMERTIME]を[ON]にすると、本機の時計が1時間進みます。

▶ OFF

サマータイムを設定しない。

ON

サマータイムを設定する。

LANGUAGE

日本語

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを日本語で表示する。

▶ ENGLISH

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを英語で表示する。

ENG[SIMP]

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを簡易英語で表示する。

DATE REC

▶ OFF

日付と時刻を画像に直接記録しない。

ON

撮影時に日付と時刻を画像に直接記録する。

ちよっと一言

- ゼブラまたはピーキング操作中は、日付/時刻の文字も信号の影響を受けますが、録画される文字には影響ありません。

BEEP

▶ OFF

操作音を出さない。

ON

撮影スタート/ストップ時の操作時や、警告表示時などにメロディが鳴る。

REC LAMP[F]

[OFF]に設定すると、本体前面の録画ランプが点灯しないようにできます(お買い上げ時の設定は[ON])。

ちよっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(44ページ)。

REC LAMP[R]

[OFF]に設定すると、本体後面の録画ランプが点灯しないようにできます(お買い上げ時の設定は[ON])。

👁️ ちよつと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます (44ページ)。

REMOTE CONTROL

[ON]に設定すると、付属のワイヤレスリモコン(117ページ)が使えます(お買い上げ時の設定は[ON])。

👁️ ちよつと一言

- [OFF]に設定すると、他機のリモコンによる誤動作を防げます。

OPERATION TIME

本機を操作した時間を累計して、10時間単位で表示します。

CALIBRATION

107ページをご覧ください。

レコーダーを使ってディスクを作る

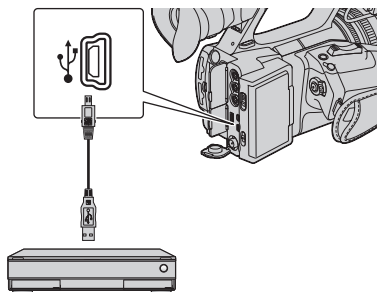
ハイビジョン画質(HD)のディスクを作る(USBケーブル接続)

本機とソニー製ブルーレイディスクレコーダーなどのディスク作成機器をUSBケーブルで接続して、メモリーカードに記録されたハイビジョン画質(HD)の動画をディスクに保存できます。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ⓘご注意

- 本機の電源は、ACアダプター/チャージャーを使ってコンセントから取ってください(12ページ)。

1 本機の電源を入れ、USBケーブル(付属)で本機のψ(USB)端子とレコーダーなどをつなぐ。



[USB SELECT]画面が表示されます。
[USB SELECT]画面が表示されないときは、MODEボタンを押して、[MANAGE MEDIA]→[USB CONNECT]をタッチして表示させてください。

2 本機の画面で、[⏪A]または[⏩B]をタッチする。

3 接続先機器で録画操作を行う。

詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

4 ディスク作成が終わったら、本機の画面で[END]→[YES]をタッチする。

5 USBケーブルを取り外す。

ⓘご注意

- DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、作成したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れられない場合があります。ディスクの取り出しができなくなる場合があります。

標準画質(SD)のディスクを作る(A/V接続ケーブル接続)

本機をディスクレコーダーなどにA/V接続ケーブルで接続すると、本機の画像をディスクやビデオカセットへダビングできます。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ⓘご注意

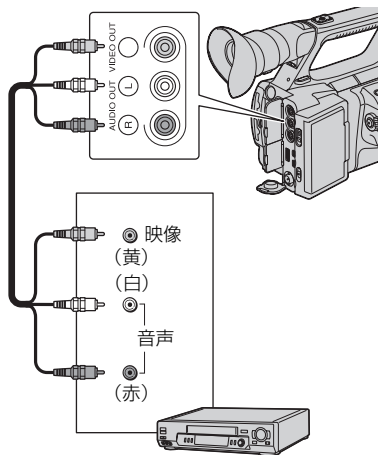
- 本機の電源は、ACアダプター/チャージャーを使ってコンセントから取ってください(12ページ)。
- ハイビジョン画質(HD)で記録された画像は、標準画質(SD)でダビングされます。

1 録画側のディスクレコーダーなどに記録用ディスクなどをセットする。

入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にしてください。

2 本機と録画側のディスクレコーダーなどを、A/V接続ケーブル(付属)でつなぐ。

接続先機器の入力端子につないでください。



3 本機で再生を始め、接続先機器で録画を始める。

詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

4 ダビングが終わったら、接続先機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

⚠️ ご注意

- アナログデータを経由してダビングするため、画質が劣化する場合があります。
- HDMIケーブルを使ってダビングできません。
- 接続した機器の画面にカウンターなどを出さない場合は、MENUボタンを押して、

[DISPLAY SET]→[DISPLAY OUTPUT]→[LCD PANEL]を選んでください。

- 日時やカメラデータ、GPS測位情報をダビングしたいときは、DATA CODEボタンを押して、お好みの表示に設定してください。さらに、MENUボタンを押して、[DISPLAY SET]→[DISPLAY OUTPUT]→[ALL OUTPUT]を選んでください。
- 他機がモノラル(ひとつの音声入力・出力)の場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力へつなぎます。

パソコンを使って保存する

パソコンの準備をする(Windows)

「Content Management Utility」を使うと次の操作ができます。

- パソコンへの画像の取り込み
- 取り込んだ画像の閲覧

パソコンで動画を保存するには、あらかじめ付属のCD-ROM「Content Management Utility」からインストールします。

画像の編集や、ディスク作成などを行う場合は、市販のソフトウェアをお買い求めください。

準備1 パソコン環境を確かめる

OS*1

Microsoft Windows XP SP3*2/
Windows Vista SP2/Windows 7

CPU

ハイビジョン画質(HD)のFXモードで記録した動画を再生するには、Intel Core 2 Duo 2.20GHz以上のCPUをお使いください。ハイビジョン画質(HD)のFX以外のモードで記録した動画についてはこの性能以下のCPUでも再生が可能な場合があります。また、ビデオカードの性能によっては、この性能以下のCPUでも、FXモード以外で記録したハイビジョン画質(HD)の動画を再生できる場合があります。

以下の場合、Pentium III 1GHz以上での動作が可能です。

- 動画のパソコンへの取り込み
- 標準画質(SD)の動画のみを扱う場合

メモリー

Windows XP:512MB以上(1GB以上を推奨)

ただし、標準画質(SD)の動画のみを扱う場合は、256MB以上で可能です。

Windows Vista/Windows 7: 1GB以上

ハードディスク

インストールに必要なディスク容量:
約100MB

取り込み、閲覧登録できるファイルシステムは、NTFSまたはexFATのみです。

ディスプレイ

解像度1,024×768ドット以上

その他

USB端子標準装備(Hi-Speed USB(USB 2.0準拠))
(インストールにはCD-ROMドライブが必要)

*1工場出荷時にインストールされていることが必要です。アップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

*264bit 版は除きます。

⚠ご注意

- すべてのパソコン環境について動作を保証するものではありません。
- 付属のソフトウェア「Content Management Utility」はMacintoshに対応していません。

準備2 付属 ソフトウェア「Content Management Utility」をインストールする

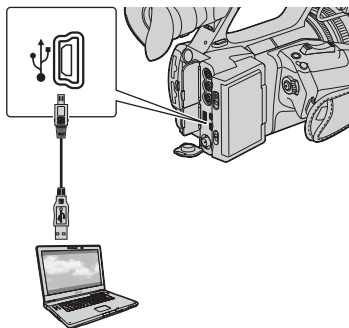
本機をパソコンにつなぐ前に、「Content Management Utility」をインストールします。

- ① パソコンに本機をつないでいないことを確認する。
- ② パソコンの電源を入れる。
 - Administrator権限・コンピューターの管理者でログオンしてください。
 - 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。
- ③ パソコンのディスクドライブに CD-ROM「Content Management Utility」(付属)をセットする。

インストール画面が表示されます。

- インストール画面が表示されないときは、[スタート]→[コンピュータ](Windows XPの場合は[マイ コンピュータ])をクリックし、[SONYCMU(E:)](CD-ROM)をダブルクリックしてください。

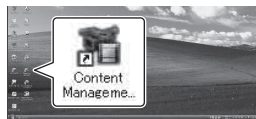
- ④ アプリケーションをインストールする言語を選んで、[OK]をクリックする。
- ⑤ インストールウィザード画面が表示されたら[次へ]をクリックする。
- ⑥ 使用許諾契約の内容をよく読み、同意される場合は[次へ]をクリックする。
- ⑦ インストール先を選択して[次へ]をクリックする。
- ⑧ デスクトップショートカットの作成を選択して[次へ]をクリックする。
- ⑨ 本機の電源を入れ、USB ケーブルで本機とパソコンをつなぐ。



本機に[USB SELECT]画面が表示されません。

- ⑩ 本機の画面で[**A**]または[**B**]をタッチする。
 - [USB SELECT]画面が表示されないときは、MODEボタンを押して、[MANAGE MEDIA]→[USB CONNECT]をタッチする。
- ⑪ [次へ]をクリックする。
- ⑫ パソコンの画面に従ってインストールする。
 - パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。

インストールが完了したら、手順⑨の選択によってデスクトップにアイコンが表示されます。



- ⑬ パソコンから CD-ROM を取り出す。

本機とパソコンの接続を終了するには

- ① パソコンのデスクトップ右下で、 アイコン → [USB 大容量記憶装置を安全に取り外します]をクリックする。



- ② 本機の画面で[END]→[YES]をタッチする。
- ③ USB ケーブルを取り外す。

困ったときは

故障かな?と思ったら

困ったときは、以下の流れに従ってください。

① 88～96ページの項目をチェックし、本機を点検する。

② 電源を取り外し、約1分後再び取り付け、本機の電源を入れる。

③ RESETボタン(116ページ)を先の細いもので押してから、電源を入れる。
この操作を行うと、日時やエリアなどの設定が解除されます。

④ ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

- 電源/画面/リモコンについて…88ページ
- メモリーカード/フラッシュメモリーユニットについて…90ページ
- 撮影について…90ページ
- 再生について…94ページ
- テレビ接続について…95ページ
- ダビング/編集/外部機器接続について…95ページ
- GPSについて…96ページ
- パソコン接続について…96ページ

電源/画面/リモコンについて

電源が入らない、途中で切れる。

- 充電されたバッテリーを取り付ける(11ページ)。
- ACアダプター/チャージャーをコンセントに差し込む(12ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源(バッテリーまたはDK-415ケーブル)を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。
- RESET(リセット)ボタン(116ページ)を先のとがったもので押す。

本体が温くなる。

- 本機使用中に本体が温くなることがありますが、故障ではありません。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する(11、106ページ)。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶画面を開閉したときは正しい残量時間を表示するまで約1分かかります。

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する(11、106ページ)。

液晶画面に画像が残る。

- 電源を入れた状態でバッテリーを外したり、DK-415ケーブルを抜いたりしたため、故障ではありません。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整つまみを画像がはっきり見えるように動かす(14ページ)。

ファインダーの画像が消えている。

- [VF POWERMODE]を[AUTO]にしていると、液晶パネルを開いている間はファインダーは消灯します(80ページ)。

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [REMOTE CONTROL]を[ON]にする(83ページ)。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがある。
- 電池を交換する。電池の+極と-極を正しく入れる(117ページ)。

リモコン操作中にほかのビデオが誤動作する。

- ビデオのリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換える。
- 黒い紙でビデオのリモコン受光部をふさぐ。

REMOTE端子に機器を接続したときに、正常に動作しない。

- ズーム操作などに対して反応が遅くなる場合があります。
- 本体側のREMOTE端子を挿したままの状態 で 接続機器側の端子を抜いた場合は、本体の設定に戻らない場合がありますので本体側のREMOTE端子を抜いてください。

故障かな？と思ったら(つづき)

メモリーカード/フラッシュメモリーユニットについて

動画残量表示が出ない。

- 常に表示させたいときは、[REMAINING]を[ON]にする(80ページ)。

メモリーカードを入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット(初期化)したメモリーカードを入れている場合は、本機で初期化する(62ページ)。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(102ページ)。

記録メディアのアイコンが点滅している。

- 記録中に異常が発生した記録メディアがある。すべての記録メディアの記録を停止し、データ修復を行う。

記録メディアの画像消去ができない。

- 編集画面では、削除する画像を1度に100枚までしか選択できません。
- プロテクトが設定されている。プロテクトを解除する(55ページ)。

撮影について

録画ボタンを押しても、撮影が始まらない。

- 再生画面になっている。再生を終了する(46ページ)。
- 記録メディアの空き容量がない。新しい記録メディアに変えるか、初期化する(62ページ)。または不要な画像を削除する(59ページ)。
- 動画のシーン数が本機で撮影できる上限を超えている(100ページ)。不要な画像を削除する(59ページ)。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。
- 録画ボタン/ハンドル録画ボタンの設定が、別の記録メディアになっている。設定を確認する(22ページ)。
- 記録中に異常が発生した記録メディアがある。すべての記録メディアの記録を停止し、データ修復を行う。

ハンドルズームが働かない。

- ハンドルズーム切替スイッチを「FIX」または「VAR」にする(25ページ)。

撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなど、撮影環境によっては、録画可能時間が短くなる場合があります(99ページ)。

変更した設定が保持されない。

- メニューの設定は保持されないものがあります(66ページ)。
- 液晶画面バックライトや拡大フォーカスの設定は保持されません。
- POWERスイッチが「ON」のまま電源を外した。バッテリーやACアダプター/チャージャーを取り外すときは、POWERスイッチを「OFF」にして、アクセスランプが点灯していないことを確かめてから、外してください。

録画ボタンを押した時点と、記録された動画の開始/終了時点がずれる。

- 本機では、録画ボタンを押してから実際に録画が開始/終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

同時記録した動画の記録開始/終了時点がずれる。

- [**HD** / **SD**] SET で [**HD**] [EXT : **SD**] または [**SD**] [EXT : **HD**] を選択しているときに同時記録をすると、記録された動画に若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

アスペクト比が切り換えられない。

- ハイビジョン画質(HD)のときは、動画の比率は切り換えられません。

オートフォーカスができない。

- FOCUSスイッチを「AUTO」にして自動調節にする(26ページ)。
- オートフォーカスが動きにくい状況のときは、手でピントを合わせる(26ページ)。

MODEメニューで機能を選ぼうとすると、「This function is currently not available.」と表示される。

- すべてのMODE機能を終了してから、再度実行してください。
- [REC FORMAT]で720を設定しているときに[SMOOTH SLOW REC]を選んでいます。[REC FORMAT]の設定を1080にして、再度実行してください。

故障かな？と思ったら(つづき)

メニュー項目が灰色で表示される、操作できない。

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります。下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能 (メニューがDisable)	以下のとき
[BACK LIGHT]、 [SPOTLIGHT]、 [AE SHIFT]の[ON/OFF]	アイリス、ゲイン、シャッタースピードの3つが手動設定のとき [HYPER GAIN]が[ON]のとき
[FADER]	録画ボタンとハンドル録画ボタンに別々の記録メディアを設定しているとき 録画できない状態のとき 記録先メディアの残量が1分未満のとき [COLOR BAR]が[ON]のとき
[ZEBRA]、[PEAKING]、 [CAMERA DATA DISPLAY]	[COLOR BAR]が[ON]のとき
[MARKER]の[ON/OFF]	[EXPANDED FOCUS]が[ON]のとき 電源入時の日時表示のとき
[LCD BACKLIGHT LEVEL]、[VF BACKLIGHT]	AC電源を使用しているとき
[TC PRESET]	[TC MAKE]が[REGENERATE]のとき タイムコード入力時で、[TC RUN]が[FREE RUN]かつ、 [TC MAKE]が[PRESET]のとき
[TC FORMAT]	タイムコード入力時で、[TC RUN]が[FREE RUN]かつ、 [TC MAKE]が[PRESET]のとき
[UB TIME REC]	日付時刻が設定されていないとき
[AREA SET]、[DATE REC]、[SUMMERTIME]	日付時刻が設定されていないとき
[x.v.Color]	[HD]/[SD]SET]が[HD-SD]、[SD-HD]のとき
[D.EXTENDER]	[REC FORMAT]が[HD 720/60p FX]または[HD 720/ 60p FH]のとき
[COLOR BAR]	動画撮影中 [FADER]を選択しているとき [EXPANDED FOCUS]が[ON]のとき

アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが手動調節できない。

- AUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」にする。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることもある。

- シャッタースピード(28ページ)が遅いときに出る現象で、故障ではありません。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える

- フォーカルプレーンと呼ばれる現象で、故障ではありません。撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

液晶画面が白すぎて画像が見えない。

- [BACK LIGHT]を解除する。
- [HYPER GAIN]を解除する。

液晶画面が暗すぎて画像が見えない。

- DISPLAYボタンを数秒間押しただままにして、バックライトを点灯する(14ページ)。

横帯が現れる。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。シャッタースピードを調節すると改善されることがあります(28ページ)。

画面が上下分割されたように見える。

- 被写体にフラッシュを当てると、画面が上下分割されたように見える。このような場合は、なるべく遅いシャッタースピードで撮影すると画面が分割されて見える確率が下がる可能性があります(28ページ)。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- シャッタースピードを調節する(28ページ)。

細かい模様がちらつく、斜めの線がギザギザになる。

- [DETAIL]で「-」側に調整する(36ページ)。

タイムコードがつかまらない。

- [HDI]/[HSD] SETや[REC FORMAT]で設定を切り換えると、タイムコードは不連続となることがあります。

再生について

「メモリーカード/フラッシュメモリーユニットについて」(90ページ)もご覧ください。

再生したい画像が見つからない。

画像を再生できない。

- VISUAL INDEX画面上で再生したい画像が記録されている記録メディアと画質を選択する(46ページ)。
- パソコンでフォルダーやファイル名を変更、または画像を加工すると、再生できない場合があります(静止画再生時はファイル名が点滅)。故障ではありません。
- 他機で撮影した画像は、再生できなかつたり、正しいサイズで表示されないことがあります。故障ではありません。
- VISUAL INDEX画面を表示して、再生したいサムネイルを2度タッチするか、**◀/▶/▶/▶**ボタンで再生したいサムネイルを選択して、EXECボタンを押す(47ページ)。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(102ページ)。
- フォルダー構造が規格に準拠しないと、ファイル名のみ表示されることがあります。

音声小さい。または聞こえない。

- 音量を大きくする(48ページ)。
- [SMOOTH SLOW REC]で記録した箇所には音声が記録されません。

[――]が表示される。

- 日付時刻を設定しないで録画した記録メディアを再生している。
- [HYPER GAIN]を[ON]にして録画した記録メディアを再生している。
- [SMOOTH SLOW REC]や[COLOR BAR]を[ON]にして撮影した動画では、カメラデータがバー表示になります。
- [PHOTO CAPTURE]で作成した静止画では、露出補正值とフラッシュ情報がバー表示になります。

画面上に Multi ch が表示される。

- Multi ch は5.1ch記録された動画再生時などに表示されます。本機では2chにダウンミックスして再生します。

テレビ接続について

コンポーネントビデオケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音が出ない。

- 接続する機器に合わせて[VIDEO OUT]を正しく設定する(74ページ)。
- コンポーネントビデオケーブルだけでつないでいるため、A/V接続ケーブルの白と赤のプラグも合わせてつなぐ(52ページ)。

HDMIケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音が出ない。

- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。

HDMIケーブルを使用して、テレビやプロジェクター、AVアンプにつないでも、画像や音声が再生されない。

- HDMIケーブルを使用して、本機とテレビやプロジェクター、AVアンプを接続しても画像や音声が再生されない場合は、HDMIケーブルを抜き差しするか本機の電源を入れ直してください。

HDMIケーブルや、市販の75Ω同軸ケーブルでテレビやモニターにつないで再生するとき、画像や音が出ない。

- USB接続中は、HDMI出力端子や、SDI出力端子から出力できません。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。[REC/OUT SET] → [VIDEO OUT] → [DOWN CONVERT TYPE] で映像信号出力形式を選択してください(74ページ)。

4:3テレビにつないで再生したら上下に黒い帯が入る。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象で故障ではありません。

ダビング/編集/外部機器接続について

つないだ機器の画面にタイムコードなどが表示される。

- A/V接続ケーブルを使って接続するときは、メニューの[DISPLAY OUTPUT]を[LCD PANEL]にする(80ページ)。

A/V接続ケーブルを使ってダビングができない。

- A/V接続ケーブルが正しくつながっていない。A/V接続ケーブルが他機の入力端子へつながれているか確認する。

追加録音(アフレコ)できない。

- 本機ではアフレコすることはできません。

故障かな？と思ったら(つづき)

HDMIケーブルを使ってダビングができない。

- HDMIケーブルを使ってのダビングはできません。

GPSについて

GPSが受信できない。

- 障害物の影響でGPS衛星の電波が受信できません。見晴らしの良い場所に移動してください。電波の届かない場所について詳しくは、103ページをご覧ください。

測位している位置がずれる。

- 周囲の建物などで反射したGPSの電波を受信した場合、また受信したGPSの電波が弱い場合など、最大で数百メートルの誤差を生じます。

パソコン接続について

本機がパソコンに認識されない。

- パソコンからケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。
- パソコンからケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

動画がパソコンで見られない、取り込めない。

- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。
- 動画をパソコンに取り込むには付属のソフトウェアのインストールが必要です(86ページ)。

パソコンがハングアップする。

- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動してから正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ(86ページ)。

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶画面またはファインダーに、次のように表示されます。

お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

C:04:□□

- “インフォリチウム”以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリーを使う(105ページ)。

C:06:□□

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:13:□□

- 記録メディアを一度取り外し、取り付け直ししてからもう一度操作する。

C:32:□□

- 電源をいったん取り外し、取り付け直ししてからもう一度操作する。

E:20:□□/E:61:□□/E:62:□□/

E:92:□□/E:94:□□/E:95:□□

- 88ページの②～④の手順でお試ください。

⚡ (バッテリー残量に関する警告)

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約5～10分でも警告表示が点滅することがある。

⚠ (バッテリーの温度に関する警告)

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

📷 (メモリーカード関連の警告)

遅い点滅

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使えるメモリーカードについては、2ページをご覧ください。
- メモリーカードが入っていない(17ページ)。

速い点滅

- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか(59ページ)、画像を保存(バックアップ)してから(84、86ページ)、メモリーカードを初期化する(62ページ)。
- 管理ファイルが壊れている(63ページ)。

📷 (メモリーカード初期化関連の警告)*

- メモリーカードが壊れている。
- メモリーカードが正しく初期化されていない(62ページ)。

📷 (非対応メモリーカード関連の警告)*

- 本機で使えないメモリーカードが入っている(2ページ)。

📷 (メモリーカード誤消去防止に関する警告)*

- 他機でアクセスコントロールをかけたメモリーカードを使っている。

EXT (フラッシュメモリーユニット関連の警告)

遅い点滅

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使えるフラッシュメモリーユニットについては、19ページをご覧ください。
- フラッシュメモリーユニットが装着されていない(17ページ)。

速い点滅

- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか(59ページ)、画像を保存(バックアップ)してから(84, 86ページ)、フラッシュメモリーユニットを初期化する(62ページ)。
- 管理ファイルが壊れている(63ページ)。

EXT (フラッシュメモリーユニット初期化関連の警告)*

- フラッシュメモリーユニットが壊れている。
- フラッシュメモリーユニットが正しく初期化されていない(62ページ)。

* [BEEP]が[ON]に設定されていると、警告表示が出るときに、「操作音」が鳴ります(82ページ)。

お知らせメッセージ

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

記録時間について

バッテリーごとの撮影・再生可能時間の目安

撮影可能時間

満充電からのおよその時間です。

(単位:分)

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時
NP-F770	235	135
NP-F970	365	205

⚠️ ご注意

- ECM-XM1使用時
- 実撮影時とは、録画スタンバイ、ズームなどを繰り返したときの時間です。
- 25℃で使用したときの時間です。10～30℃でのご使用をおすすめします。
- 低温の場所で使うと、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影・再生可能時間が短くなります。

再生可能時間

満充電からのおよその時間です。

(単位:分)

バッテリー型名	
NP-F770	355
NP-F970	530

⚠️ ご注意

- 液晶画面バックライトを[ON]にして、液晶画面で再生。

動画の撮影可能時間の目安

ハイビジョン画質(HD)

■ [設定] AUDIO FORMAT]の設定が [LINEAR PCM]のとき

(単位:分)

	AVCHD 24M (FX)	AVCHD 17M (FH)	AVCHD 9M (HQ)	AVCHD 5M (LP)
1GB	4 (4)	6 (6)	10 (8)	15 (10)
2GB	10 (10)	10 (10)	20 (15)	35 (30)
4GB	20 (20)	25 (25)	45 (35)	70 (60)
8GB	40 (40)	55 (55)	95 (70)	150 (130)
16GB	85 (85)	110 (110)	190 (145)	300 (260)
32GB	170 (170)	225 (225)	385 (295)	605 (525)

■ [設定] AUDIO FORMAT]の設定が [DOLBY DIGITAL]のとき

(単位:分)

	AVCHD 24M (FX)	AVCHD 17M (FH)	AVCHD 9M (HQ)	AVCHD 5M (LP)
1GB	5 (5)	6 (6)	10 (9)	20 (15)
2GB	10 (10)	10 (10)	25 (15)	40 (35)
4GB	20 (20)	25 (25)	50 (40)	90 (75)
8GB	45 (45)	55 (55)	105 (80)	185 (155)
16GB	90 (90)	115 (115)	215 (165)	375 (315)
32GB	180 (180)	235 (235)	435 (335)	750 (630)

記録時間について(つづき)

標準画質(SD)

(単位:分)

640×360ドット/16:9

640×480ドット/4:3

	SD 9M (HQ)
1GB	10 (10)
2GB	25 (25)
4GB	55 (50)
8GB	115 (105)
16GB	235 (210)
32GB	475 (425)

📢ご注意

- 撮影可能時間は、撮影環境や、被写体の状態、[REC SET] (73ページ)によっても変わります。
- ()内は最低録画時間です。

🗨️ちょっと一言

- 動画の撮影可能シーン数は、ハイビジョン画質(HD)で最大3,999個、標準画質(SD)で9,999個です。
- 動画の連続撮影可能時間は、約13時間です。
- 撮影シーンに合わせてビットレート(一定時間あたりの記録データ量)を自動調節するVBR (Variable Bit Rate)方式を採用しています。そのため、記録メディアへの録画時間は変動します。例えば、動きの速い映像は記録メディアの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、記録メディアの録画時間は短くなります。
- 各録画モードのビットレート(動画+音声など)、画素数およびアスペクト比は以下のとおりです。
HD画質
FX:最大24Mbps 1,920×1,080画素/16:9、1,280×720画素/16:9
FH:約17Mbps(平均) 1,920×1,080画素/16:9、1,280×720画素/16:9
HQ:約9Mbps(平均) 1,440×1,080画素/16:9
LP:約5Mbps(平均) 1,440×1,080画素/16:9
SD画質
HQ:約9Mbps(平均) 720×480画素/16:9、4:3
- 静止画記録画素数およびアスペクト比
動画から静止画作成
1,920×1,080ドット/16:9




海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。別売のACアダプター/チャージャーAC-VQ1051D(ACCKIT-D12Bに付属)は、全世界の電源(AC100V~240V、50/60Hz)で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

電子式変圧器(トラベルコンバーター)は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例		
	主に北米	主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

ハイビジョン画質(HD)で見るには

ハイビジョン画質(HD)で記録した画像をハイビジョン画質(HD)で見るには、ハイビジョン対応のテレビ(またはモニター)とコンポーネントビデオケーブル(付属)またはHDMIケーブル(別売)が必要です。本機の再生するハイビジョン信号に対応している主な国、地域は「テレビ方式がNTSCの国、地域」を参照してください。

標準画質(SD)で見るには

標準画質(SD)で記録した再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式(NTSC)で、映像/音声入力端子付きのテレビ(またはモニター)と接続ケーブルが必要です。

テレビ方式がNTSCの国、地域(五十音順)

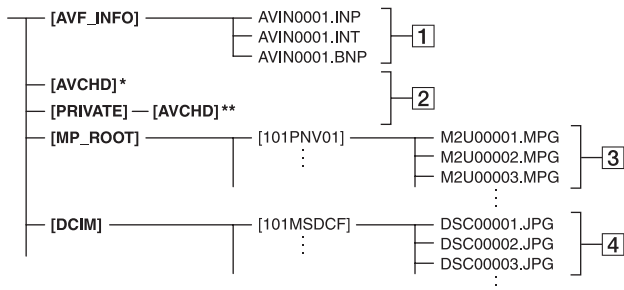
アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ポリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコなど

時差補正機能ついて

海外で使うとき、[AREA SET]で、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます(82ページ)。

メモリーカード/フラッシュメモリーユニットの ファイル/フォルダー構成

本機の記録メディア上のファイル/フォルダー構成は以下のとおりです。本機を使って撮影/再生する際は、通常、意識する必要はありません。



* 「メモリスティック PRO デュオ」、フラッシュメモリーユニット

** SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード

フォルダーが作成されて、新しい静止画ファイルはそちらに保存されます。

フォルダー名は、「101MSDCF」→「102MSDCF」のように繰り上がります。

1 画像管理用ファイル

削除すると、画像を正常に撮影/再生できなくなることがあります。

隠しファイルに設定されており、通常は表示されません。

2 HD 動画管理情報フォルダー

本フォルダー以下にハイビジョン画質(HD)の動画用の記録データが保存されます。パソコンから本フォルダーや、本フォルダー内のファイルやフォルダーを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。

3 SD 動画ファイル(MPEG-2 ファイル)

拡張子は「.MPG」。ファイルサイズの上限は2GBです。2GBを超えると自動でファイルが分割されます。ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。ファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しいフォルダーが作成されて、新しい動画ファイルはそちらに記録されます。

フォルダー名は、「101PNV01」→「102PNV01」のように繰り上がります。

4 静止画ファイル(JPEG ファイル)

拡張子は「.JPG」。ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。ファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しい

メモリーカードは、MODEボタンを押して、[MANAGE MEDIA]→[USB CONNECT]→[A]/[B]を選択して本機とパソコンをUSB接続することで、パソコンからアクセス可能になります。

パソコンから本機のファイルやフォルダーを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。

パソコンから本機の記録メディア上のデータを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。

画像ファイルを削除するときは、59ページの手順で行ってください。パソコンから本機の記録メディア内の画像ファイルを削除しないでください。

パソコンから本機の記録メディアをフォーマット(初期化)しないでください。正常に動作しなくなります。

パソコンから本機の記録メディアにファイルをコピーしないでください。このような操作による結果に対して、当社は責任を負いかねます。

記録メディアのデータをパソコンに取り込むには、付属のソフトウェア「Connect Management Utility」をご使用ください。

使用上のご注意とお手入れ

AVCHD規格について

AVCHD規格とは

「AVCHD」規格は、高効率の圧縮符号化技術を用いて、ハイビジョン(HD)信号を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格です。映像圧縮にはMPEG-4 AVC/H.264方式を、音声にはドルビーデジタル方式、またはリニアPCM方式を採用しています。

MPEG-4 AVC/H.264方式は、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮効率を持った優れた方式です。

- AVCHDは圧縮方式を使用しているため、画面、画角、輝度などが大きく変化する場面では画像が乱れることがあります。故障ではありません。

本機での記録・再生について

本機ではAVCHD規格に基づき、ハイビジョン(HD)記録ができます。また、AVCHD規格でのハイビジョン(HD)記録に加え、従来のMPEG-2規格で標準(SD)記録することもできます。

映像*: MPEG-4 AVC/H.264

1920×1080/60i、1920×1080/24p、

1280×720/60p、1440×1080/60i

音声: ドルビーデジタル 2ch、リニアPCM 2ch

記録メディア: メモリーカード、フラッシュメモリーユニット(別売)

* 本機は、上記以外のAVCHD規格で記録されたデータの再生には対応していません。

- 1080i 有効走査線数1080本、インターレース方式のハイビジョン規格
- 720p 有効走査線数720本、プログレッシブ方式のハイビジョン規格

GPSについて

GPS(Global Positioning System)とは、米国の高精度な航空衛星を利用した、地球上のどこにいても自分の正確な位置を知ることができるシステムです。

GPS衛星は、高度20,000kmの6つの軌道上に各4個、24個以上が設置されています。GPS衛星からの電波を受信し、衛星の軌道情報(アルマナックデータ)と電波の伝播時間のデータなどから自分の位置を計算します。

位置を計算することを測位と呼び、衛星を3機以上受信できれば、経度、緯度がわかります。

⚠️ご注意

- GPS衛星の配置は常に変化しているため、ご使用になる場所や時刻などの条件によっては測位に時間がかかったり、測位できないことがあります。
- GPSは衛星から電波を受信し、測位するシステムです。ビルや木立の陰など、電波を遮断・反射してしまう場所を避け、できるだけ上空の開けた場所でご使用ください。
- GPS衛星からの電波が届かない以下のような場所や状況では、測位情報を記録できないことがあります。
 - トンネルの中・屋内やビルの陰
 - 高層ビルの間・建物間の狭い道路
 - 地下・密集した樹木の間・高架の下・高圧電線など、近くに磁気を発生するものがある場合
 - 1.5GHz帯の携帯電話など、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものがある場合

誤差について

- GPSスイッチを「ON」にした直後に移動すると、移動しなかった場合に比べて、測位までの時間が長くなる場合があります。
- GPS衛星自体による誤差
本機は、3個以上のGPS衛星からの電波を受信すると自動的に現在地を測位します。GPS衛星自体による誤差は、約10m

使用上のご注意とお手入れ(つづき)

程度ですが、測位する周辺の環境によってはさらに大きな誤差を生じることがあります。このような場合は、実際に居た場所と地図上での位置が異なることがあります。また、GPS衛星は米国国防省により管理されており、意図的に精度が変更されることがあります。

- 測位時間による誤差
本機では、測位中に測位情報を定期的に取得しています。

飛行機内規制について

飛行機の離着陸時には、機内の案内に従ってGPSスイッチを「OFF」にして、電源をお切りください。その他ご利用になる場所の規制に従ってお使いください。

測地系について

本機では、測地系として、[WGS-84]を採用しています。

メモリーカードについて

- パソコン(Windows OS/Mac OS)でフォーマット(初期化)したメモリーカードは、本機での動作を保証いたしません。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。
 - 画像ファイルを読み込み中や、メモリーカードにデータを書き込み中(アクセスランプが点灯中および点滅中)に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。

- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。
- メモリーカードスロットには、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因になります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■ メモリーカードアダプターの使用について

- メモリーカードをメモリーカードアダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。

画像の互換性について

- 本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器(DCR-TRV900、DSC-D700/D770)で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用したメモリーカードが本機で使えないときは、62ページの手順に従い、本機でフォーマット(初期化)をしてください。フォーマットするとメモリーカードに記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
 - パソコンで加工した画像データ
 - 他機で撮影した画像データ


“メモリースティック”について

“メモリースティック”の種類	記録/再生
“メモリースティック デュオ” (マジックゲート対応)	—
“メモリースティック PRO デュオ”(Mark2)	○
“メモリースティック PRO- HG デュオ”	○*

* 本機は、8ビットパラレルデータ転送には対応せず、“メモリースティック PRO デュオ”と同等の4ビットパラレルデータ転送を行います。

● 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録/再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。“インフォリチウム”バッテリーLシリーズには  マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売のACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。別売のACアダプター/チャージャーを使うと、使用可能時間や充電終了時間も計算して表示します。


充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10～30℃の範囲で、ACアダプター/チャージャーの充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
 - バッテリーをポケットなどに入れてあたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
 - 高容量バッテリー「NP-F770/F970(別売)」を使う。
- 液晶画面の使用や再生/早送り/早戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-F770/F970(別売)」のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影や再生中は、こまめにPOWERスイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約5～10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する  マークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください(13ページ)。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われるので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーバックごとに異なります。

x.v.Color(エクスバイ・カラー)について

- x.v.Colorとは、x v YCC規格の親しみやすい呼称としてソニーが提案している商標です。
- x v YCC規格とは、動画面色空間の国際規格のひとつです。現行の放送などで使われている規格より広い色彩が表現できます。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ほこりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向けたままとなる場所(窓際や室外など)
液晶画面やファインダー内部を傷めます。

■ 長期間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

■ 結露が起きたときは

電源を入れずに、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。

■ 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スクールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

液晶表面にはコーティング処理がされており、傷をつけるとコーティングが剥がれることがあります。


お取り扱い、お手入れの際は下記の点にご注意ください。

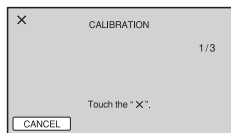
- 汚れを拭き取るときは清潔な眼鏡拭き等、柔らかい生地の布でやさしく拭き取ってください。
- 汚れを拭き取る前に埃や砂などはブローなどであらかじめ払い落としてください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままでするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。

■ タッチパネルの調節(キャリブレーション)について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。

このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源は別売のACアダプター/チャージャーを使ってコンセントから取ることをおすすめします。

- ① 本機の電源を入れる。
- ② MENU ボタンを押す → SEL/PUSH EXEC ダイアルで、 (OTEHRS) → [CALIBRATION] を選択する。



- ③ メモリーカードの角のような先の細いものを使って画面に表示される×マークを3回タッチする。
 - 正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。

❗ご注意

- キャリブレーションするときは、先のとがったものを使わないでください。液晶画面を傷つける場合があります。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からびきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、次のことは避けてください。
 - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類。
 - 上記が手に付いたまま本機を扱う。
 - ゴムやビニール製品との長時間接触。

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機がACアダプター/チャージャーでコンセントにつながっているか、バッテリーが入っている限り常に充電されています。ACアダプター/チャージャーで電源につながらない、またはバッテリーを入れないまま**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。

ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

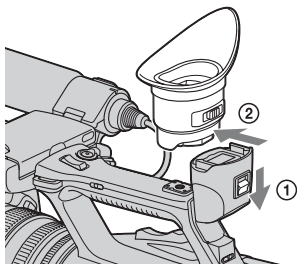
■ 充電方法

本機を別売のACアダプター/チャージャーを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、POWERスイッチを「OFF」にして24時間以上放置する。

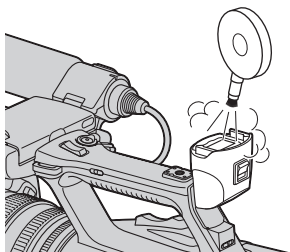
ファインダーのお手入れについて

1 接眼部を外す。

ビューファインダー取り外しつまみを下にずらしたまま①、矢印の方向に接眼部をずらして外す②。



2 接眼部の内側、ファインダー内部のゴミを、カメラ用のブロワーブラシなどで取り除く。



主な仕様

システム

信号方式	NTSCカラー、EIA標準方式 HDTV 1080/60i、720/60p
ビデオ記録方式	HD画質：MPEG-4 AVC/H.264 AVCHD SD画質：MPEG-2 PS
音声記録方式	リニアPCM 2ch(48kHz 16bit) Dolby Digital 2ch(48kHz 16bit) ドルビーデジタルステレオクリ エーター搭載
静止画記録方式	DCF Ver.2.0準拠 Exif Ver.2.21準拠 MPF Baseline準拠
記録メディア (動画・静止画)	*メモリスティック PRO デュ オ* フラッシュメモリーユニット SDカード(Class 4以上)
ファインダー	電子ファインダー：カラー、モノ クロ 画面サイズ：1.1cm(0.45型、ア スペクト比16:9) 総ドット数：1 226 880ドット (852×3[RGB]×480相当)
撮像素子	6.0mm(1/3型)3CMOSセン サー 総画素数：約112万画素 動画時有効画素数(16:9モー ド)：約104万画素* 動画時有効画素数(4:3モード)： 約78万画素*
ズームレンズ	Gレンズ 20倍(光学)、約30倍(デジタル、 デジタルエクステンダー[ON] 時) f=4.1 ~ 82.0mm 35mmカメラ換算* 29.5~590mm(16:9モード) (4:3モードでは36.1~722mm) F1.6~3.4 フィルター径72mm
色温度切り換 え	オート ワンプッシュ(A、B) 屋内(3 200K) 屋外(5 800K±7段階) 色温度指定(2 300~15 000K、 100K刻み)

最低被写体照 1.5 lx(ルクス)(シャッタース
度 ビード固定(1/30)、オートゲイン
コントロール、アイリスオート)
(F1.6)

* [STEADYSHOT]の[SET]が
[STEADYSHOT]または[OFF]のとき

出力端子

VIDEO OUT 端子	ピンジャック 1Vp-p、75Ω不平衡、同期負
AUDIO OUT端子	ピンジャック -10dBu(47kΩ負荷時)、 出カインピーダンス2.2kΩ以下 (0dBu=0.775Vrms)
COMPO- NENT OUT 端子	ミニD端子 Y: 1Vp-p、75Ω P _B /P _R 、C _B /C _R : 0.7Vp-p、75Ω
HDMI OUT 端子	HDMIコネクタ
SDI OUT端 子	BNC型 SMPTE292M/259M規格準拠
Ⓞ(ヘッドホ ン)端子	ステレオミニジャック (φ3.5mm)

入力端子

INPUT1/ INPUT2端子	XLR型3ピン×2、Ⓞ MIC: -48dBu: 3kΩ INPUT TRIM 機能により、 -60dBu~-30dBuの範囲で可変 (6dBステップ) LINE: +4dBu: 10kΩ (0dBu=0.775Vrms)
---------------------	---

入/出力端子

USB端子	mini-B
リモート端子	ステレオミニミニジャック (φ2.5mm)
TC LINK IN/ OUT端子	ピンジャック IN: 0.5V~18Vp-p、10kΩ OUT: 1.2Vp-p、75Ω (IN/OUTはスイッチによる切り 換え)

主な仕様(つづき)

液晶画面

画面サイズ	8.0cm(3.2型、アスペクト比 16:9)
総ドット数	921 600ドット 横1 920×縦480

電源部、その他

電源電圧	DC7.2V(バッテリーパック使用 時) DC8.4V(ACアダプター/チャ ージャー使用時)
消費電力	マイク(ECM-XM1)、ファイン ダー使用時、明るさ標準: 7.9W マイク(ECM-XM1)、液晶画面使 用時、明るさ標準: 7.9W フラッシュメモリーユニット HXR-FMU128使用時は、消費電 力が約1.1W増えます。
動作温度	0℃～40℃
保存温度	-20℃～+60℃
外形寸法	173×193×449mm (突起部含む)(幅×高さ×奥行 き)
本体質量	約2.2kg(レンズフード含む)
撮影時総質量	約2.6kg (バッテリーパック(NP-F770)、 レンズカバー付きフード、マイク (ECM-XM1)含む)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルHDビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にし、故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または付属の“ソニー業務用商品相談窓口のご案内”にあるお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の保有期間について

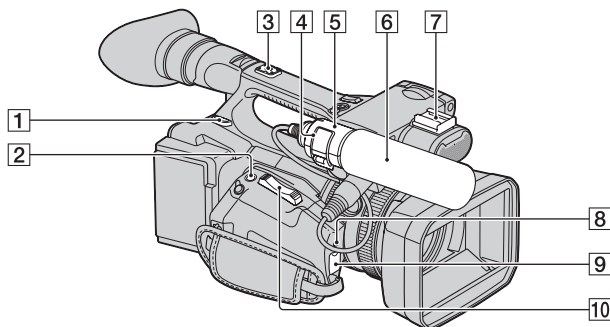
当社はデジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

各部のなまえ

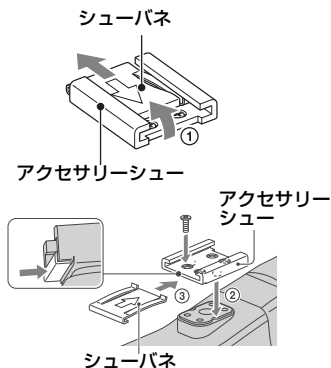
()内は参照ページです。



- ① ショルダーストラップ取り付け部 (115)
- ② ASSIGN7ボタン/EXPANDED FOCUSボタン(44)
- ③ アクセサリーシュー 取り付け部
- ④ マイク固定用クランパー(9)

- ⑤ マイクホルダー(9)
- ⑥ マイク(9)
- ⑦ アクセサリーシュー
- ⑧ TC LINKスイッチ(42)
- ⑨ TC LINK IN/OUT端子(42)
- ⑩ ズームレバー(25)

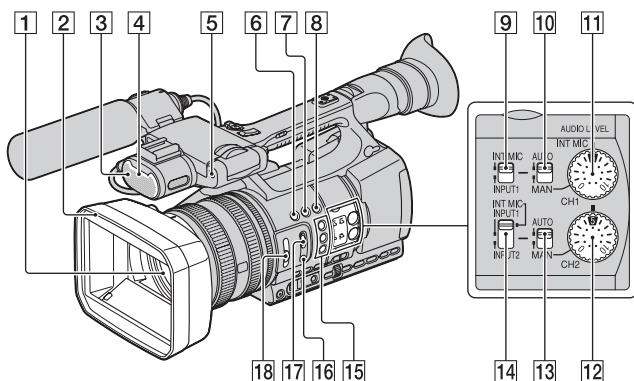
アクセサリーシューを取り付けるには
アクセサリーシュー取り付け部に図のよう
に取り付けてください。



- ① シューパネの先端を持ち上げ、刻印された矢印の向きと反対方向へ引き抜く。

- ② アクセサリーシューの凸部とアクセサ
リーシュー取り付け部の凹部を合わせて
取り付け、4本のネジを締める。
- ③ シューパネを矢印の方向に挿入し、コの字
部分がアクセサリーシューの端部にはま
るように取り付け。

アクセサリーシューを取り外すには
「アクセサリーシューを取り付けるには」
の手順①と同様にシューパネを外し、ネジ
を緩めてアクセサリーシューを外す。

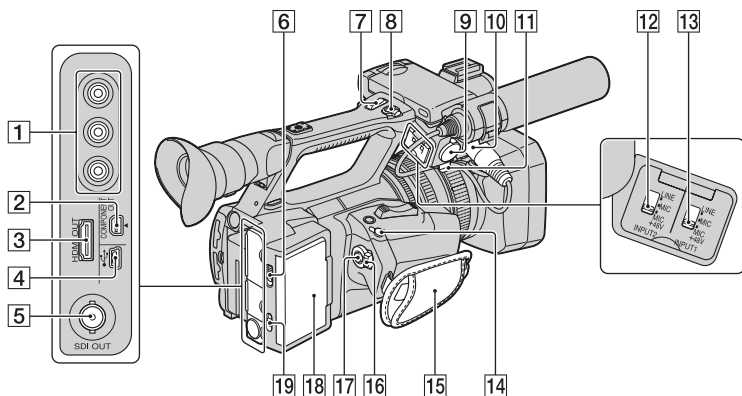


- 1 レンズ(9)
- 2 レンズカバー付きフード(9)
- 3 内蔵マイク(38)
- 4 前部録画ランプ(82)
記録メディアやバッテリー残量が少なくなると点滅します。
- 5 リモコン受光部(83)
- 6 ASSIGN4 ボタン/ZEBRA ボタン(44)
- 7 ASSIGN5ボタン/AE SHIFTボタン*(44)
- 8 ASSIGN6ボタン/VISUAL INDEX ボタン(44)
- 9 CH1 (INT MIC/INPUT1)スイッチ(39)
- 10 AUTO/MAN(CH1)スイッチ(39)
- 11 AUDIO LEVEL(CH1)ダイヤル(39)
- 12 AUDIO LEVEL(CH2)ダイヤル(39)
- 13 AUTO/MAN(CH2)スイッチ(39)
- 14 CH2 (INT MIC/INPUT1/INPUT2)スイッチ(39)
- 15 ASSIGN1/2*/3ボタン(44)
- 16 PUSH AUTOボタン(26)
- 17 FOCUSスイッチ(26)

- 18 NDフィルター(29)

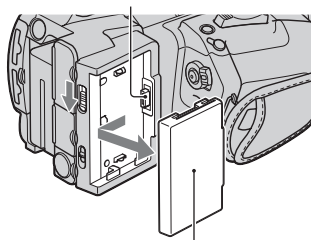
* ASSIGN5 ボタン/AE SHIFT ボタン、ASSIGN2 ボタンに凸点(突起)が付いていません。操作の目印としてお使いください。

各部のなまえ(つづき)



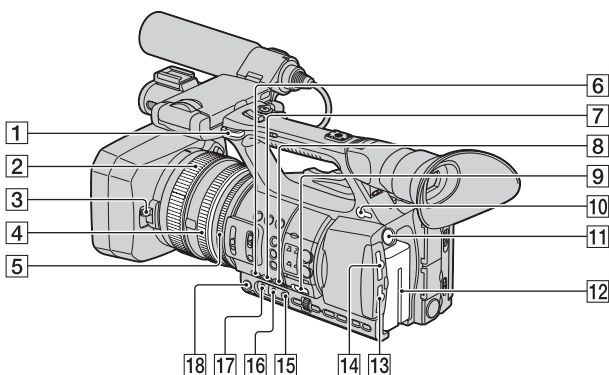
- 1** VIDEO OUT 端子/AUDIO OUT 端子 (52, 84)
2 COMPONENT OUT 端子(52)
3 HDMI OUT 端子(52)
4 USB 端子 (84, 86)
5 SDI OUT 端子(52)
6 RELEASE レバー(19)
7 ハンドルズームレバー(25)
8 ハンドル録画ボタン(21)
9 INPUT2 端子(9)
10 INPUT1 端子(9)
11 ケーブルホルダー(9)
 マイクケーブルなどを固定するときに
 使います。
12 INPUT2 スイッチ(38)
13 INPUT1 スイッチ(38)
14 REMOTE 端子
 REMOTE 端子は、ビデオ機器と周辺
 機器をつなぎ、再生などをコントロー
 ルできるようにした端子です。
15 グリップベルト(13)
16 POWER スイッチ(13)
17 録画ボタン(21)
18 フラッシュメモリーユニット取り付け
 部(19)
 別売のフラッシュメモリーユニットを
 取り付けます。
19 フラッシュメモリーユニット端子カパー


フラッシュメモリーユニット端子



フラッシュメモリーユニット端子カパー

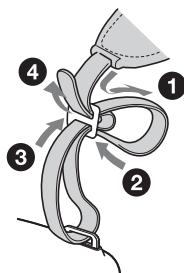
- 19** GPS スイッチ(40)
 「ON」にすると、撮影時にGPS情報(撮
 影地点と撮影時刻)を取得して、画像に
 記録します。



- 1 ショルダーストラップ取り付け部
- 2 フォーカスリング(26)
- 3 レンズカバーレバー(10)
- 4 ズームリング(25)
- 5 アイリスリング(27)
- 6 GAINボタン(28)
- 7 WHT BALボタン*(30)
- 8 SHUTTER SPEEDボタン(28)
- 9 AUTO/MANUALスイッチ(27)
- 10 Ⓜ(ヘッドホン)端子
ヘッドホンを使うときは、ステレオミニジャックのものを使ってください。
- 11 BATT RELEASEボタン(11)
- 12 バッテリー(11)
- 13 メモリーカード Bスロット/選択ボタン/アクセスランプ(17)
- 14 メモリーカード Aスロット/選択ボタン/アクセスランプ(17)
- 15  (one push) ボタン(30)
- 16 ホワイトバランスメモリースイッチ(31)
- 17 ゲインスイッチ(28)
- 18 IRISボタン(27)

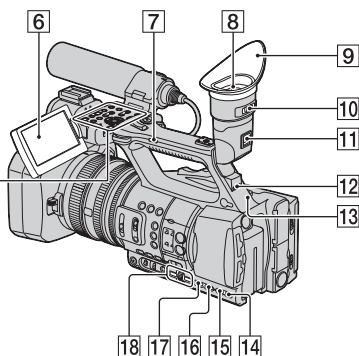
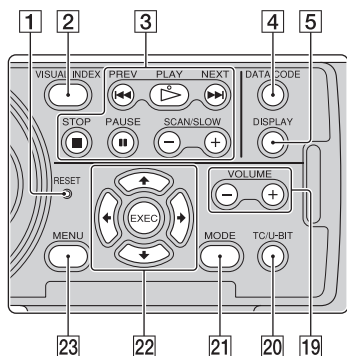
ショルダーストラップ(別売)を取り付けるには

ショルダーストラップ取り付け部に図のように取り付けてください。



* WHT BAL ボタンに凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

各部のなまえ(つづき)



- 1** RESET ボタン
RESET ボタンを押すと、日時を含めすべての設定が解除されます。ただし、ピクチャープロフィールで設定した内容は解除されません。
- 2** VISUAL INDEXボタン(46)
- 3** 再生操作ボタン(PREV/PLAY*/NEXT/STOP/PAUSE/SCAN/SLOW)(46)
- 4** DATA CODEボタン(50)
- 5** DISPLAYボタン(50)
- 6** 液晶画面・タッチパネル(14)
- 7** ハンドルズームスイッチ (25)
- 8** ビューファインダー(15)
- 9** 大型アイカップ(15)
- 10** 視度調節つまみ(14)
- 11** ビューファインダー取り外しつまみ(108)
- 12** HEADPHONE MONITOR スイッチ(40)
- 13** 後部録画ランプ(82)
記録メディアやバッテリー残量が少なくなると点滅します。
- 14** STATUS CHECKボタン(51)
- 15** PICTURE PROFILEボタン*(31)
- 16** MODEボタン(54)

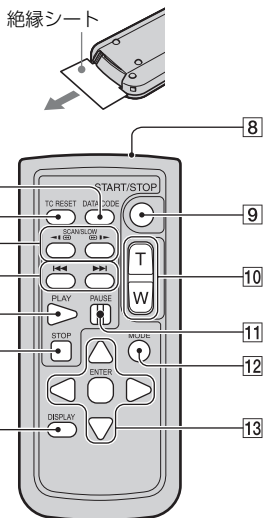
- 17** MENUボタン**(16, 64)
- 18** SEL/PUSH EXECダイヤル/◀/▶ボタン(16, 64)
- 19** VOLUMEボタン*(46)
- 20** TC/U-BIT ボタン
液晶画面のタイムコード、ユーザービット表示を切り換えます。
- 21** MODEボタン(54)
- 22** ▲/▼/◀/▶/EXEC ボタン(64)
- 23** MENUボタン*(64)

* PICTURE PROFILEボタン、VOLUMEの+ボタン、MENUボタン、PLAYボタンに凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

** MENUボタンに凸バー(突起)が付いていません。操作の目印としてお使いください。

ワイヤレスリモコン

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。



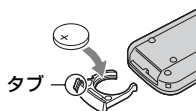
- 1 DATA CODEボタン(50)
- 2 TC RESETボタン(42)
- 3 SCAN/SLOWボタン(46)
- 4 ◀▶(PREV/NEXT)ボタン(46)
- 5 PLAYボタン(46)
- 6 STOPボタン(46)
- 7 DISPLAYボタン(50)
- 8 リモコン発光部
- 9 START/STOPボタン(21)
- 10 ズームボタン(25)
- 11 PAUSEボタン(46)
- 12 MODEボタン(54)
- 13 ◀/▶/▲/▼/ENTERボタン

④リモコンについてのご注意

- 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、ほかのビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

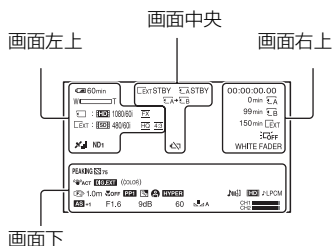
リモコンの電池を交換するには

- ① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。
- ② +面を上にして新しい電池を入れる。
- ③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。



- リモコンには、ボタン型リチウム電池(CR2025)が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

画面表示



画面左上

表示	意味
60min	バッテリー残量の目安
1080/60i SET (23), REC FORMAT (23)	
	WIDE REC (73)
	GPS測位状況 (40)
	ND フィルター (29)

画面中央

表示	意味
	記録メディア
	リレー記録 (21)
STBY REC	撮影状態 (20)
	警告 (97)
	再生表示 (46)

画面右上

表示	意味
0min	記録残量時間の目安
	記録/再生メディア
00:00:00.00	タイムコード(時:分:秒:フレーム)
TC IN	タイムコード入力(42)
OFF	バックライト切(14)
WHITE FADER BLACK FADER	フェーダー(72)

画面下

表示	意味
PEAKING	PEAKING (77)
	ZEBRA (77)
ACT OFF	STEADYSHOT (70)
	D.EXTENDER (71)
(COLOR)	x.v.Color (72)
	手動フォーカス (26)
OFF	FOCUS MACRO (71)
~	ピクチャープロフィール (31)
	BACK LIGHT (70)
	SPOTLIGHT (70)
HYPER	HYPER GAIN (68)
CLOSE	アイリス (27)
9dB	ゲイン (28)
60	シャッタースピード (28)
	手動音量調節 (39)
	AUDIO FORMAT (75)
AS	AE SHIFT (69)
A	自動設定 (78)
A B	ホワイトバランス (30)

ちよっと一言

- 表示内容や位置は目安であり、実際とは異なることがあります。

撮影時のデータについて

撮影中の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時にDATA CODEボタンを押すと確認できます(50ページ)。

索引

ア行

アイリスリング	27
アクセサリーシュー	112
アクセサリーシュー 取り付け部	112
アクセラランプ	17
アフターサービス	111
インフォリチウムバッテリー	105
ウィンドスクリーン	9
液晶画面	14
液晶画面バックライト	14
大型アイカップ	15
屋外	30
屋内	30
お知らせメッセージ	98
主な仕様	109
音量	39

カ行

海外で使う	101
拡大フォーカス	27
画面表示	118
画面表示出力	80
管理ファイル	63
逆光補正	70
記録画質	23
記録フォーマット	23
グリップベルト	13
警告表示	97
ゲインスイッチ	28
ケーブルホルダー	9
結露	106
広角	25
故障かな?と思ったら	88
コンセント	12

サ行

再生	46
削除	59
撮影	20
自己診断表示	97
シャッタースピード	28

充電時間	12
充電ランプ	11
シューバネ	112
準備	8
商標	124
初期化	62
ショルダーストラップ	115
ショルダーストラップ取り付け部	115
ズーム	25
ズームリング	25
ズームレバー	25
ステータスチェック	51
静止画作成	57
絶縁シート	117
接続	
テレビに	52
パソコンに	87
レコーダーに	84
接続コード	12
測定情報	40

タ行

チャンネル設定	38
テレビ	52
テレビ方式	101
電源コード	11
同時記録	22
ドロップフレーム	81

ナ行

内蔵充電池	108
内蔵マイク	75

ハ行

バックライト	
液晶画面/バックライトへ	
バッテリー	11
パネル	液晶画面へ
ハンドルズーム	25
ハンドルズームスイッチ	25
ハンドルズームレバー	25
ハンドル録画ボタン	20, 22

ピクチャープロファイル	31
日付時刻	17, 119
日付時刻合わせ	16
ビューファインダー 取りはずしつまみ	108
ピント	26
ファインダー	14
明るさ	79
視度調整つまみ	14
フォーカスリング	26
プッシュオートフォーカス	26
フラッシュメモリーユニット	19
フラッシュメモリーユニット 端子	19
プレイリスト	56
プロテクト	55
分割	58
ヘッドホン端子	115
望遠	25
保証書	111
ボタン電池	117
ホワイトバランス	30
ホワイトバランスメモリース イッチ	30

マ行

マイク	9
マイク固定用クランパー	9
マイクホルダー	9
メニュー	64
一覧	66
AUDIO SET	75
CAMERA SET	68
DISPLAY SET	77
MODEメニュー	54
OTHERS	82
REC/OUT SET	73
TC/UB SET	81
メニューの使いかた	54, 64
メモリーカード	2, 104
入れる/取り出す	17

メモリーカードスロット 18
 “メモリースティック”
 2, 105
 “メモリースティック PRO
 デュオ” 105
 持ちかた 13

ラ行

リチャージャブルバッテリー
 バック バッテリーへ
 リモコン 83, 117
 リモコン受光部
 113
 リレー記録 21
 レンズ 107
 レンズカバーレバー 10
 レンズカバー付きフード 9
 録画 20
 録画ボタン 20, 22
 録画ランプ 20

ワ行

ワイヤレスリモコン
 リモコンへ

A

ACアダプター/チャージャー
 11
 ACTIVE STEADYSHOT
 70
 AE RESPONSE 70
 AE SHIFT 69, 92
 AE SHIFT/ASSIGN5ボタン
 44
 AF ASSIST 71
 AGC LIMIT 68
 AREA SET 82, 92
 ASPECT 77
 ASSIGN BUTTON 44
 ASSIGNボタン 44
 ATW SENS 69
 AUDIO LEVEL DISPLAY
 78
 AUDIO LEVEL (CH1/CH2)
 ダイアル 39

AUDIO LIMIT 75
 AUDIO MANUAL GAIN
 76
 AUDIO SETメニュー 75
 AUTO IRIS LIMIT 70
 AUTO/MANUALスイッチ
 27
 AUTO/MAN (CH1/CH2)ス
 イッチ 39

B

BACK LIGHT 70, 92
 BATT RELEASEボタン 11
 BEEP 82
 BLACK FADER 72
 BLACK GAMMA 33
 BLACK LEVEL 33

C

CALIBRATION 107
 CAMERA DATA DISPLAY
 78, 92
 CAMERA SETメニュー 68
 CENTER 77
 CH1 (INT MIC/INPUT1)ス
 イッチ 38
 CH2 (INT MIC/INPUT1/
 INPUT2)スイッチ 38
 CLOCK SET 16, 82
 COLOR BAR 72, 92
 COLOR DEPTH 35
 COLOR LEVEL 34
 COLOR MODE 34
 COLOR PHASE 35
 COPY 37

D

D.EXTENDER 71, 92
 DATA CODEボタン 50
 DATE REC 82, 92
 DELETE 59
 DETAIL 36
 DF 81
 DISPLAY OUTPUT 80

DISPLAY SETメニュー 77
 DISPLAYボタン 50
 DIVIDE 58
 DOWN CONVERT TYPE
 74

E

EXPANDED FOCUS 27
 EXPANDED FOCUS TYPE
 78
 EXPANDED FOCUS/
 ASSIGN7ボタン 44

F

FADER 72, 92
 FLICKER REDUCE 70
 FOCUS DISPLAY 79
 FOCUS INFNTY 27
 FOCUS MACRO 71
 FOCUSスイッチ 26
 FREE RUN 81

G

GAIN SET 68
 GAMMA 33
 GPS 40
 GPS TIME DISPLAY 80
 GUIDEFRAME 78

H

HANDLE ZOOM 71
 HD AUDIO FORMAT 75
 HD/SD SET 23
 HEADPHONE OUT 75
 HYPER GAIN 68

I

INDOOR 30
 InfoLITHIUM/バッテリー
 105
 INPUT1 39
 INPUT1 TRIM 76
 INPUT1 WIND 76

索引(つづき)

INPUT1スイッチ	39
INPUT1端子	9
INPUT2	39
INPUT2 TRIM	76
INPUT2 WIND	76
INPUT2スイッチ	39
INPUT2端子	9
INT MIC SENS	75
INT MIC SET	75
INT MIC WIND	75
INTELLIGENT	69
IRIS RING ROTATE	69
IRISボタン	27

K

KNEE	34
------	----

L

LANGUAGE	82
LCD BACKLIGHT LEVEL	79, 92
LCD BLIGHT	79
LCD COLOR	79
LOCAL TIME	80

M

MANAGE MEDIA	62
MANU WB TEMP	30
MARKER	77, 92
MEDIA FORMAT	62
MENUボタン	16, 64
MIC+48V	39
MINUS AGC	68
MODEボタン	54
MODEメニュー	54
MOVIE DUB	60

N

NDフィルター	29
NDF	81
NTSC	101

O

one pushボタン	30
OPERATION TIME	83
OTHERSメニュー	82
OUTDOOR	30

P

PEAKING	77, 92
PHOTO CAPTURE	57
PHOTO COPY	61
PICTURE PROFILEボタン	31
PLAYLIST	56
PLAYLIST EDIT	56
POWERスイッチ	13
PROTECT	55
PUSH (レンズフード取りはずし)ボタン	10
PUSH AUTOボタン	26

R

REC BUTTON SET	22
REC CH SELECTスイッチ	38
REC FORMAT	23
REC LAMP[F]	82
REC LAMP[R]	82
REC RUN	81
REC SET	73
REC/OUT SETメニュー	73
REMAINING	80
REMOTE CONTROL	83
REPAIR IMAGE DB FILE	63
RESETボタン	116

S

SAFETY ZONE	77
SD WIDE REC	73
SDI/HDMI/COMPONENT	74
SD-SDI SET	74

SEL/PUSH EXECダイヤル	16, 64
SHUTTER DISPLAY	79
SHUTTER SPEEDボタン	28
SKINTONE DETAIL	37
SMOOTH GAIN	68
SMOOTH SLOW REC	41
SMOOTH WB	69
SPEED ZOOM	71
SPOTLIGHT	70, 92
STATUS CHECKボタン	51
STEADYSHOT	70
SUMMERTIME	82

T

TC FORMAT	81, 92
TC MAKE	81
TC PRESET	42, 92
TC RUN	81
TC/UB SETメニュー	81
TC/U-BITボタン	116
TIME	82
TONE	73

U

UB PRESET	42
UB TIME REC	81, 92
USB SELECT	84
UTC TIME	80

V

VF BACKLIGHT	79, 92
VF COLOR	80
VF POWERMODE	80
VIDEO OUT	74
VISUAL INDEXボタン	46
VISUAL INDEX/ASSIGN6ボタン	44
VOLUMEボタン	48

W

WB OUTDOOR LEVEL	69
WB PRESET	69
WB SHIFT	35
WB TEMP SET	69
WHITE FADER	72
WHT BALボタン	30


X

x.v.Color	72, 92
XLR AGC LINK	75
XLR SET	75

Z

ZEBRA	77, 92
ZEBRA/ASSIGN4ボタン	44
ZOOM DISPLAY	78
ZOOMスイッチ	25

商標について

- "NXCAM" ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、、"メモリースティック デュオ"、**MEMORY STICK Duo**、"メモリースティック PRO デュオ"、**MEMORY STICK PRO Duo**、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、**MEMORY STICK PRO-HG Duo**、"マジックゲート"、**MAGIC GATE**、"MagicGate Memory Stick"、"マジックゲート メモリースティック"、"MagicGate Memory Stick Duo"、"マジックゲート メモリースティック デュオ"はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
-  はソニー株式会社の商標です。
- "x.v.Color"はソニー株式会社の商標です。
- Dolby, ドルビー, およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- Microsoft, Windows, Windows VistaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh, Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDMI, HDMIロゴ, およびHigh Definition Multimedia Interfacelは, HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- Intel, Intel Core, Pentiumは, アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe, Adobe logo, Adobe Acrobatは, Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDXC, SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- MultiMedia Cardは, MultiMediaCard Associationの商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報エンコードするために使用する場合は、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C., (住所: 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206)より取得可能です。

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4AVC 規格に合致したビデオ信号(以下、AVC VIDEOといいますが)にエンコードすること。
- (ii) AVC Video(消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「C Library」、「Expat」、「Zlib」、「libjpeg」、「dtoa」、「pcre」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこちらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容に関しては同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROM「Content Management Utility」の「License」フォルダーにある「license1.pdf」をご覧ください。「C Library」、「Expat」、「Zlib」、「libjpeg」、「dtoa」、「pcre」の記載(英文)が収録されています。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License (以下「GPL」とします)またはGNU Lesser General Public License (以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。ダウンロードするには、以下のURLにアクセスし、モデル名HXR-NX5Jをお選びください。

<http://www.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROM「Content Management Utility」の「License」フォルダーにある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載(英文)が収録されています。

PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.adobe.com/>

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

Printed in Japan



4157877040